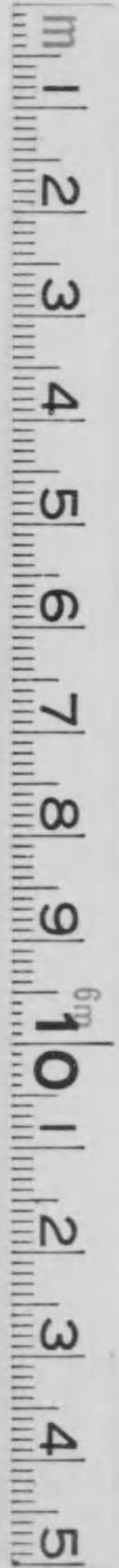


291
30



始



291
30

鹿兒島高等農林學校一覽

自
大正
九年
至
十年

鹿兒島高等農林學校

291-30

鹿兒島高等農林學校一覽

(自大正九年)

目錄

○沿革略

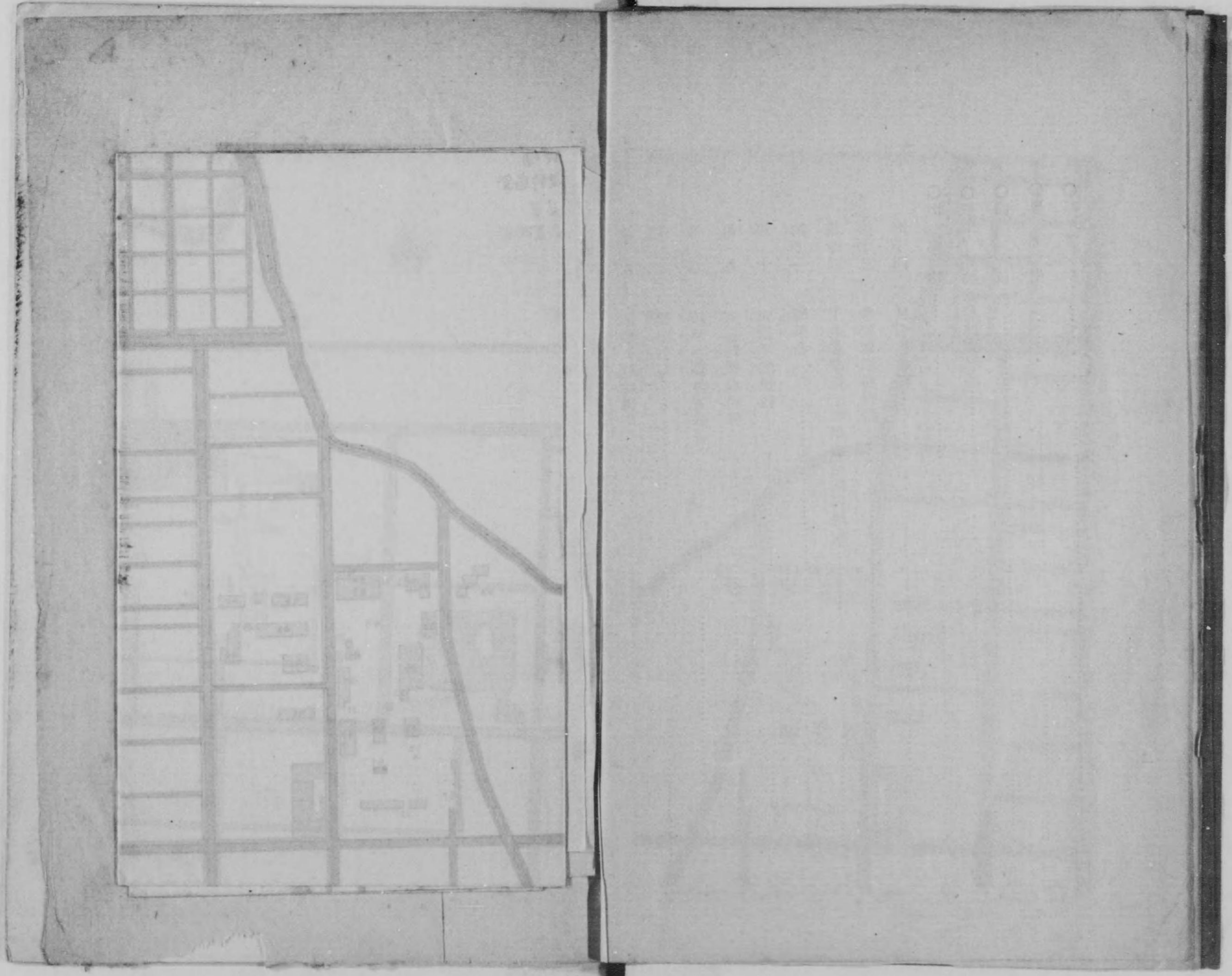
○法令

第一	文部省直轄諸學校官制抄	六
第二	文部省直轄諸學校專任職員定員令抄	八
第三	高等官官等俸給令抄	九
第四	判任官俸給令抄	三
第五	文部省直轄諸學校教官俸給ノ支給ニ關スル件	五
第六	直轄諸學校長職務規程	五
第七	文部省直轄諸學校雇外國人使用方	六
第八	文部省直轄諸學校外國人特別入學規程抄	七
第九	學生生徒身體檢查規程	八
第十	發育概評決定標準	六



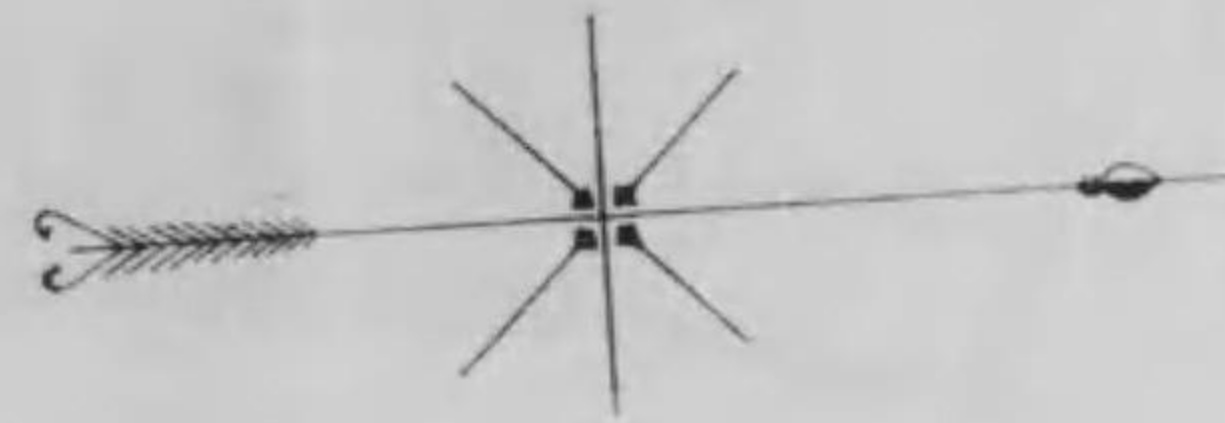
第十一	實業學校令抄	二八
第十二	專門學校令抄	二九
第十三	專門學校入學者檢定規程	三〇
第十四	甲種農業學校卒業者入學ニ關スル件	三一
第十五	二簡以上ノ學校ニ入學許可ノ場合ニ關スル件	三二
第十六	教員無試驗檢定ニ關スル指定ノ件	三二
第十七	實業學校教員養成規程抄	三三
第十八	鹿兒島高等農林學校規程	三四
○學年曆		四八
○細則		五〇
第一	學則	五〇
第二	別科規程	七四
第三	圖書館規程	七七
第四	學生心得	八一
第五	寄宿舍規則	八二

第六	通學生取締規則	八六
第七	學生制服	八七
第八	校旗ニ關スル規程	九一
第九	寄宿料徵收規程	九三
第十	非常手配規程	九五
第十一	獎學金	一〇〇
第十二	玉利農學博士獎學資金給與規程	一〇〇
第十三	學校醫職務規程	一〇一
第十四	見習生規程	一〇三
○出版物		一〇五
○敷地、建物及農林實習場		一〇九
○職員		一一〇
○學生		一四六
○卒業生		一四六

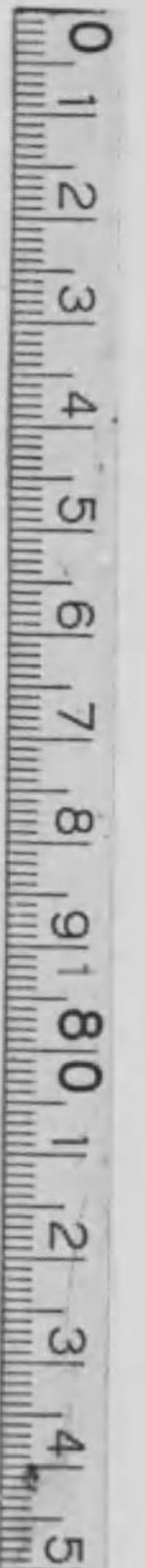


鹿兒島高等農林學校全圖

- | | | | |
|------------------|----------------|---------------|--------------|
| (1) 教室及事務室 | (21) 同盥嗽所 | (41) 製乳室 | (61) 豚舍 |
| (2) 同附屬便所 | (22) 同購所及釜場 | (42) 農產林產製造場 | (62) 鷄舍 |
| (3) 同渡り廊下 | (23) 同浴室 | (43) 調製場 | (63) 表門 |
| (4) 生徒扣所及顕微鏡室 | (24) 同食堂及配膳室 | (44) 酒精蒸溜室 | (64) 裏門 |
| (5) 同附屬便所 | (25) 同附屬渡り廊下 | (45) 篤志農夫舍 | (65) 弓射場 |
| (6) 同渡り廊下 | (26) 同購所附屬便所 | (46) 同便所 | (66) 弓的場 |
| (7) 宿直室及小便室 | (27) 瓦斯發生機室 | (47) 納屋 | (67) 水禽舍 |
| (8) 講堂兼圖書閱覽室 | (28) 瓦斯タンク | (48) 露地敷石場 | (68) 山羊細羊種畜舍 |
| (9) 書庫 | (29) 雜具置場 | (49) 收納場 | (69) 動植物學實驗室 |
| (10) 同附屬渡り廊下 | (30) 繭乾燥室 | (50) 敷物庫 | (70) 昆蟲飼育室 |
| (11) 雨天體操場及銃器庫 | (31) 給水タンク | (51) 堆肥場 | (71) 定温器室 |
| (12) 門衛所 | (32) 肥料効能試験室 | (52) 液肥貯藏室 | (72) 家畜體秤場 |
| (13) 防火用具置場 | (33) 養蠶室 | (53) 蒸置場 | (73) 養蠶科助宿舍 |
| (14) 門衛所附屬便所 | (34) 貯桑室 | (54) 畜舍 | |
| (15) ランプ置場 | (35) 養蠶室附屬渡り廊下 | (55) 飼料調製場 | |
| (16) 寄宿舍 | (36) 同附屬便所 | (56) 農車置場 | |
| (17) 同昇降口監視室及宿直室 | (37) 農場管理室及標本室 | (57) 農林夫舍 | |
| (18) 同湯浴所 | (38) 同附屬便所 | (58) 農林夫舍附屬便所 | |
| (19) 同病室及便所 | (39) 化學肥料貯藏場 | (59) 大小農具置場 | |
| (20) 同便所 | (40) 生徒實習室 | (60) 速腿室 | |



□	■	▨	⊥	⊙	▭	∥	≡	∩	○
木造	石造	鐵造	廊下	井戸	芝生	道路	溝	橋	土堤



(10) 寄宿舍

(17) 同昇降口含監室及宿直室

(18) 同湯吞所

(19) 同病室及便所

(20) 同便所

(30) 同附屬便所

(37) 農場管理室及標本室

(38) 同附屬便所

(39) 化學肥料貯藏場

(40) 生徒實習室

(50) 農具置場

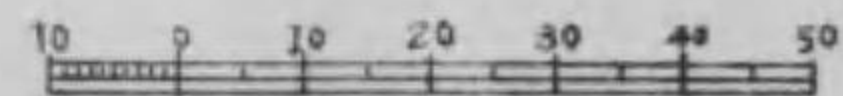
(57) 農林夫舍

(58) 農林夫舍附屬便所

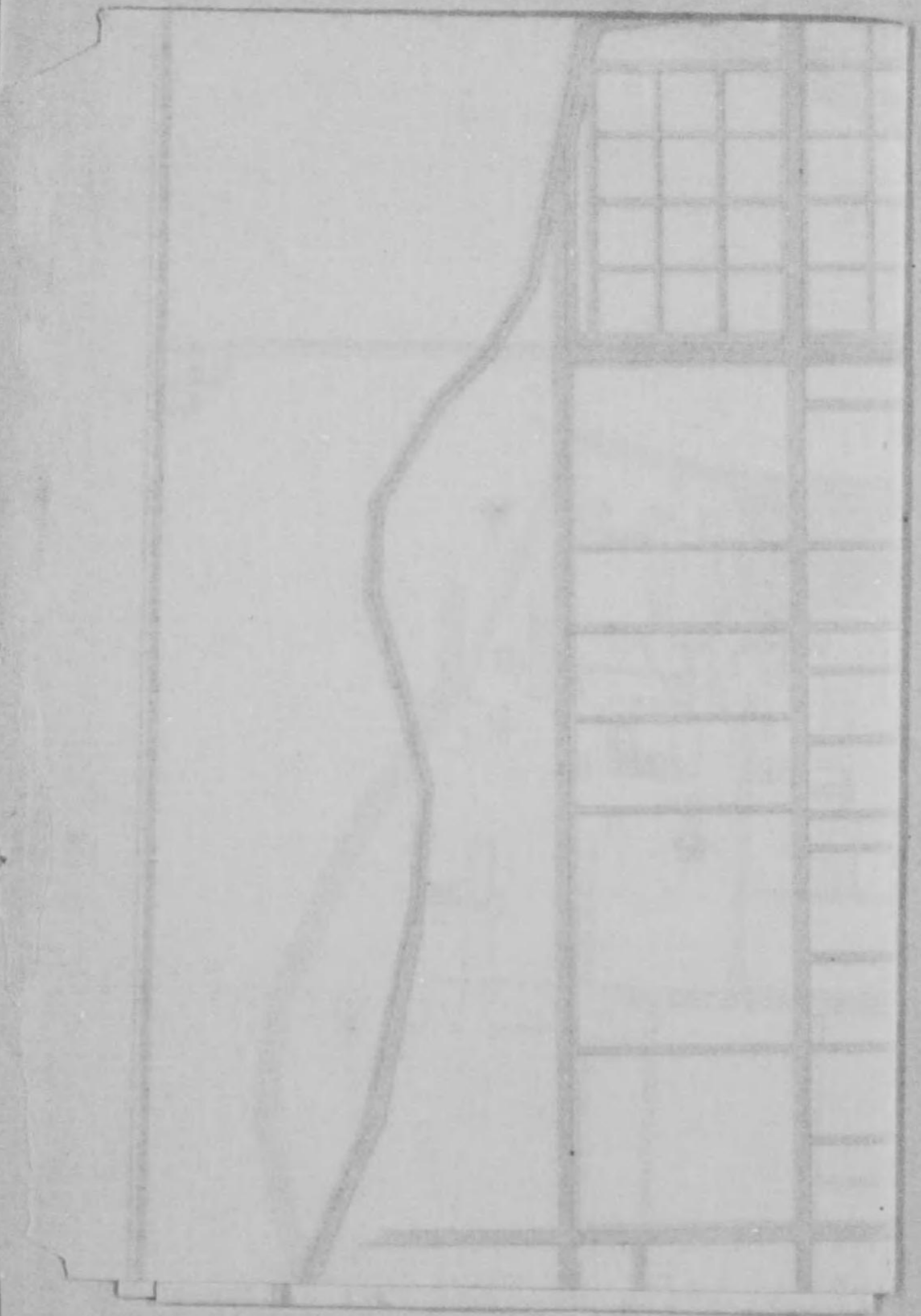
(59) 大小農具置場

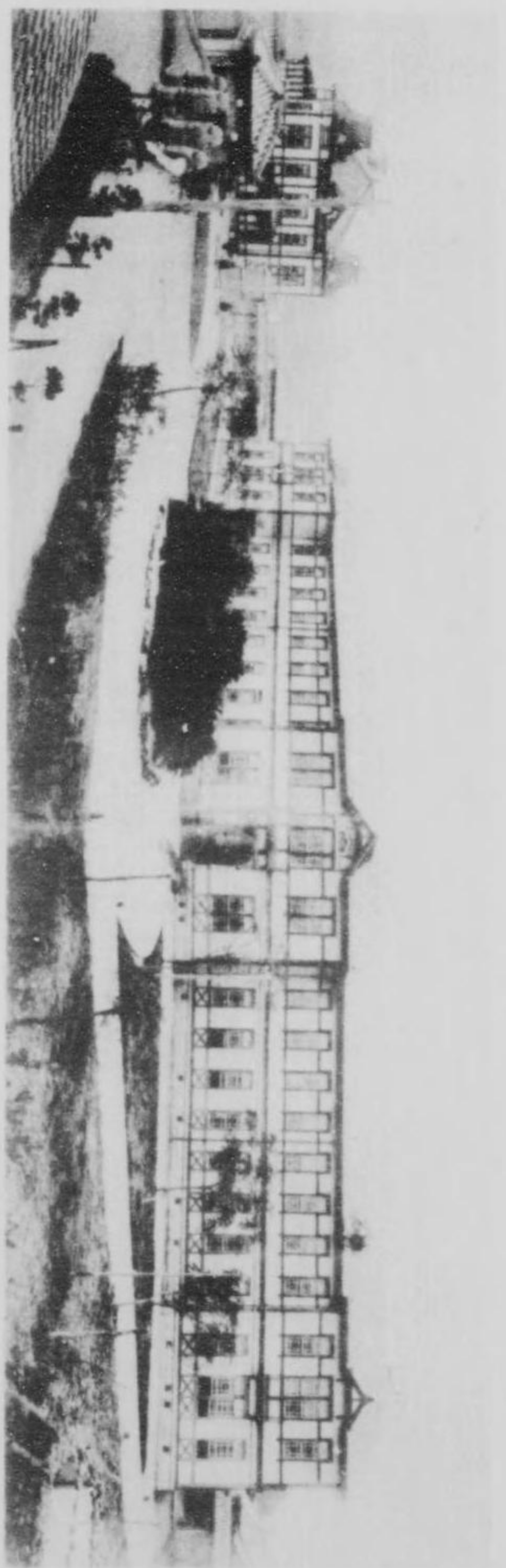
(60) 煉腿室

木 造 建 物	石 造 建 物	鐵 造 建 物	廊 下	井 戸	芝 生	道 路	溝	橋	土 堤	池



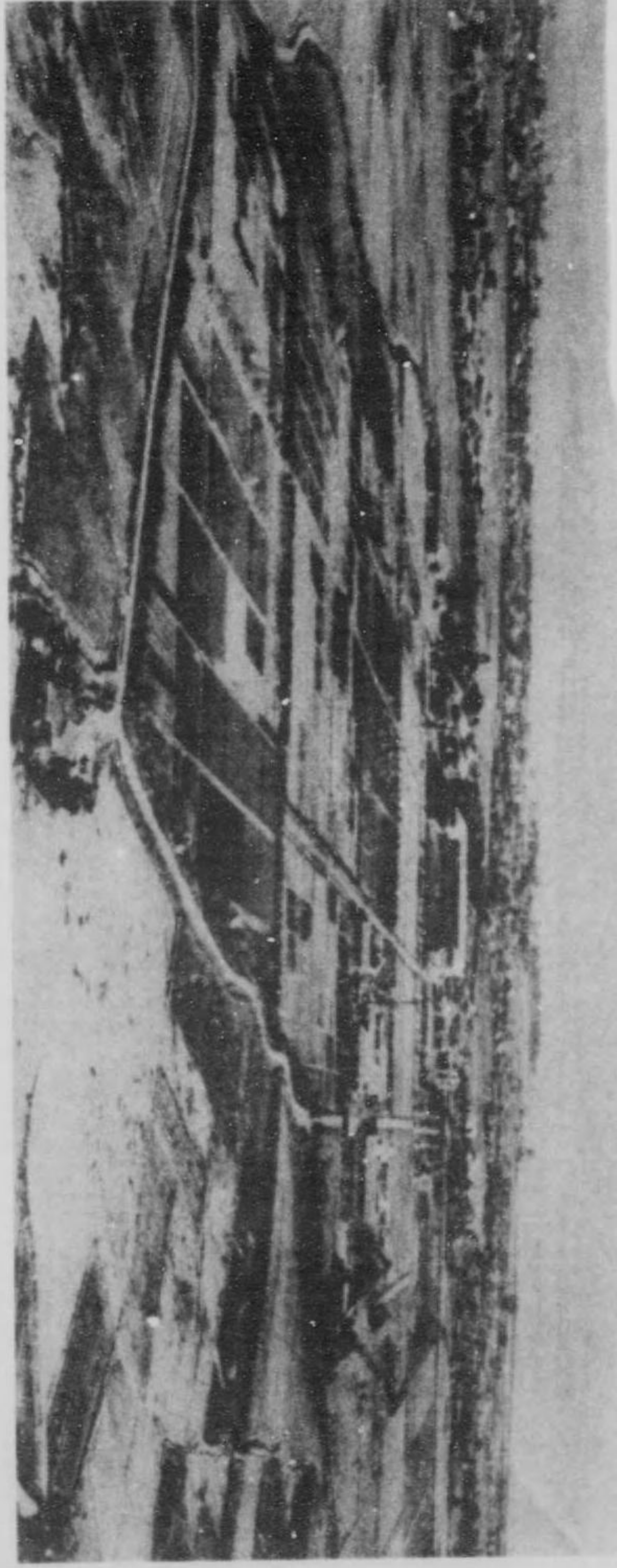
鹿兒島高等農林學校前面





新加坡海山街海山街海山街

鹿兒島高等農林學校全面



廣東省立第一中學

○沿革略

本校ハ明治四十一年三月三十日勅令第六十八號ニ依リ設置セラレ同日勅令第六十九號ヲ以テ本校

員定員令ヲ公布セララル

明治四十二年四月六日勅令第八十八號ヲ以テ本校職員定員令ヲ改正セララル

五月八日盛岡高等農林學校校長農學博士玉利喜造校長ニ任セララル

五月三十一日位置ヲ鹿兒島縣鹿兒島市荒田村ニ定メラレ同日文部省内ニ事務所ヲ設置シ事務ヲ開始

七月六日學則ヲ制定ス

七月七日文部省令第十四號專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依リ無試験檢定ヲ受クルコトヲ

得ル者ヲ指定セラレ同日農學科及ヒ林學科第一學年生徒各三十名ヲ募集ス

七月十五日文部省内本校事務所ヲ鹿兒島縣鹿兒島市ニ新設ノ本校内ニ移ス

九月二十一日入學志願者三百三十名ノ内農學科ニ三十一名林學科ニ二十八名及ヒ選科ニ清國人三名

計六十二名ニ入學ヲ許可ス

九月二十八日入學式ヲ舉行シ翌二十九日ヨリ授業ヲ始ム

十月十六日 天皇皇后兩陛下ノ御眞影竝教育ニ關スル御眞署ノ 勅語謄本ヲ拜受ス
 十一月三十日小松原文部大臣瀬戸、茨木兩視學官、黒澤祕書官等ヲ隨ヘ臨校セラル
 十二月十二日本校所屬演習林トシテ鹿兒島縣肝屬郡垂水村、牛根村及ヒ佐多村所在地積九百四十七町九畝十步ヲ農商務省ヨリ讓受ク

明治四十三年三月二十六日勅令第六十七號ヲ以テ職員ノ定員ヲ改正セラル

八月十日入學志願者三百四十三名ノ内農學科ニ三十一名林學科ニ三十名及ヒ選科ニ清國人八名計六十九名ニ入學ヲ許可ス

明治四十四年三月三十一日勅令第七十三號ヲ以テ職員ノ定員ヲ改正セラル

五月十三日大浦農務大臣、下岡農務局長、堀祕書官等ヲ隨ヘ臨校セラル

八月七日入學志願者三百五十名ノ内農學科ニ三十四名林學科ニ三十三名及ヒ選科ニ清國人八名計七十五名ニ入學ヲ許可ス

十一月二十三日本校開校式ヲ舉行ス眞野文部省實業學務局長文部大臣代理トシテ臨校セラル

明治四十五年七月十一日第一回得業證書授與式ヲ舉行シ農學科二十六名林學科二十一名ニ得業證書ヲ授與シ農學科選科二名及ヒ林學科選科一名ニ修了證書ヲ授與セリ當日眞野文部省實業學務局長文部大臣代理トシテ臨校セラル

大正元年八月六日入學志願者三百四十二名ノ内農學科ニ三十二名林學科ニ二十八名及ヒ選科ニ二名計六十二名ニ入學ヲ許可ス

十一月二十六日本校牧場敷地トシテ鹿兒島縣熊毛郡北種子村所在地積貳百六拾八町六段貳畝貳步ヲ農商務省ヨリ讓受ク

大正二年六月十三日勅令第八十三號ヲ以テ本校職員定員令ヲ改正セラル

七月十一日第二回得業證書授與式ヲ舉行シ農學科二十六名林學科二十六名ニ得業證書ヲ授與シ農學科選科一名及ヒ林學科選科二名ニ修了證書ヲ授與セリ

八月四日入學志願者三百八十七名ノ内農學科ニ三十名林學科ニ二十九名及ヒ選科ニ一名計六十名ニ入學ヲ許可ス

大正三年七月十一日第三回得業證書授與式ヲ舉行シ農學科二十九名林學科二十九名ニ得業證書ヲ授與シ農學科選科二名及ヒ林學科選科二名ニ修了證書ヲ授與セリ

八月四日入學志願者四百十五名ノ内農學科ニ三十名林學科ニ二十四名及ヒ選科ニ一名計五十五名ニ入學ヲ許可ス

十一月十日本校學則ノ一部ヲ改正ス

十一月十八日本校牧場敷地ノ一部トシテ鹿兒島縣熊毛郡北種子村所在地積壹町貳段九畝拾八步ヲ同

村ヨリ寄附セシニ付受領セリ

大正四年二月一日本校學則ノ一部ヲ改正ス

三月三十一日本校牧場敷地ノ一部トシテ鹿兒島縣熊毛郡北種子村所在地積參段七畝貳拾八步ヲ買收ス

四月十六日牧場畜舎貳百四拾貳坪ノ新築竣成シタルヲ以テ牧場ヲ開始セリ

四月二十日 勅語謄本下賜セララル

七月七日本校學則ノ一部ヲ改正ス

七月十一日第四回得業證書授與式ヲ舉行シ農學科二十六名林學科二十四名ニ得業證書ヲ授與シ農學科選科二名及ヒ林學科選科三名ニ修了證書ヲ授與セリ

八月七日入學志願者三百九名ノ内農學科ニ三十七名林學科ニ三十名及ヒ選科ニ三名計七十名ニ入學ヲ許可ス

十月十六日 天皇陛下ノ御眞影ヲ拜受ス

大正五年四月一日第五回得業證書授與式ヲ舉行シ研究科二名ニ研究證書ヲ農學科三十三名及ヒ林學科二十四名ニ得業證書ヲ授與シ農學科選科二名ニ修了證書ヲ授與セリ

四月五日入學志願者二百九十一名ノ内農學科ニ三十八名林學科ニ二十八名及ヒ選科ニ二名計六十八

名ニ入學ヲ許可ス

四月十五日本校學則中學科課程ヲ改正ス

五月八日高田文部大臣樞秘書官ヲ隨へ臨校セララル

六月十日文部省告示第九十四號ヲ以テ明治三十六年文部省告示第三十號教員無試驗檢定ニ關スル指定中改正セララル

大正六年三月十六日第六回得業證書授與式ヲ舉行シ研究科一名ニ研究證書ヲ農學科二十三名及ヒ林學科二十三名ニ得業證書ヲ授與シ農學科選科一名ニ修了證書ヲ授與セリ

三月二十九日入學志願者二百五十六名ノ内農學科ニ四十名林學科ニ三十名及ヒ選科ニ一名計七十一名ニ入學ヲ許可ス

大正七年三月十六日第七回得業證書授與式ヲ舉行シ農學科三十一名及ヒ林學科二十三名ニ得業證書ヲ授與シ農學科選科一名及ヒ林學科選科一名ニ修了證書ヲ授與セリ

四月五日入學志願者二百八十七名ノ内農學科ニ三十九名林學科ニ三十三名及ヒ選科ニ四名計七十六名ニ入學ヲ許可ス

十月三日指宿植物試驗場ヲ開設ス

大正八年三月十五日第八回得業證書授與式ヲ舉行シ農學科三十四名(内支那人二名)及ヒ林學科二十

五名ニ得業證書ヲ授與シ農學科選科一名ニ修了證書ヲ授與セリ
三月二十八日入學志願者二百六十名ノ内農學科ニ四十三名林學科ニ三十三名及ヒ選科ニ一名計七十
七名ニ入學ヲ許可ス

大正九年二月七日日本校學則中學科課程改正養蠶學科増設セララル

三月十四日第九回得業證書授與式ヲ舉行シ農學科三十五名(内支那人一名)及ヒ林學科二十五名ニ得
業證書ヲ授與セリ

三月二十六日 皇太子殿下本校ニ行啓器械標本等ヲ臺覽アラセラレ校庭ニ記念樹ヲ御手栽遊ハサル
四月六日入學志願者三百三十五名ノ内農學科ニ三十八名林學科ニ二十九名養蠶學科ニ十三名及ヒ選
科ニ二名計八十名ニ入學ヲ許可ス
五月三十一日勅令第百八十號ヲ以テ本校職員定員令ヲ改正セララル

○法 令

第一 文部省直轄諸學校官制抄 (明治二十六年勅令第八十六號)

第一條 文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ
東京高等師範學校 廣島高等師範學校 東京女子高等師範學校

奈良女子高等師範學校	盛岡高等農林學校	鹿兒島高等農林學校
上田蠶絲專門學校	東京高等蠶絲學校	京都高等蠶業學校
神戸高等商業學校	長崎高等商業學校	山口高等商業學校
小樽高等商業學校	第一高等學校	第二高等學校
第三高等學校	第四高等學校	第五高等學校
第六高等學校	第七高等學校造士館	第八高等學校
新潟高等學校	松本高等學校	山口高等學校
松山高等學校	水戸高等學校	山形高等學校
佐賀高等學校	千葉醫學專門學校	岡山醫學專門學校
金澤醫學專門學校	長崎醫學專門學校	新潟醫學專門學校
東京高等工業學校	大阪高等工業學校	京都高等工藝學校
名古屋高等工業學校	熊本高等工業學校	米澤高等工業學校
桐生高等工業學校	橫濱高等工業學校	廣島高等工業學校
秋田鐵山專門學校	神戸高等商船學校	東京外國語學校
東京美術學校	東京音樂學校	東京盲學校

東京醫學學校

第六條 文部省直轄學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長 教授 生徒監
助教授 書記

第七條 校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條 教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條 生徒監ハ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒監ハ校長ノ指揮ヲ受ケ専ラ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ従事ス

第十七條 專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スベキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ

若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條 文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

第二 文部省直轄諸學校專任教員定員令抄 (明治三十五年勅令第九十九號)

鹿兒島高等農林學校	校長	一	教授	一	助教授	三	書記	六
-----------	----	---	----	---	-----	---	----	---

第三 高等官官等俸給令抄 (明治四十三年三月勅令第三百三十四號)

第一條 親任式ヲ以テ敍任スル官ヲ除クノ外高等官ヲ分テ九等トス親任式ヲ以テ敍任スル官及ヒ一等官二等官ヲ勅任官トシ三等官乃至九等官ヲ奏任官トス

第三條 高等官ノ官等ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外別表第一表ニ依ル(別表略ス)

官制上他ノ官ニ在ル者ヲ以テ兼任セシムル官ニシテ別ニ官等ヲ定メサルモノハ本官ノ官等ニ依ル

第四條 初メテ高等文官ニ任セララル者ノ官等ハ六等以下トス

高等文官ニシテ退官シタル者再ヒ高等文官ニ任セララル場合ニ於テハ其ノ官等ハ前官ノ官等以下トス

但シ前官官等在職年數二年ヲ超エタル者ハ前官ノ官等ニ一等ヲ進ムルコトヲ得

前官ノ官等七等以下ナルトキハ前項ノ規定ニ拘ハラス陞シテ六等官ニ至ルコトヲ得

第五條 高等文官ノ官等ハ別ニ進級ノ例ヲ定メタルモノ及ヒ七等以下ノモノヲ除キ在職二年ヲ超ユ

ルニ非サレハ陸級スルコトヲ得ス

第九條 勅任文官(親任式ヲ以テ敍任スル文官ヲ除ク)ニシテ五年以上其ノ官ノ最高俸ヲ受ケテ在職シ功績顯著ナル者ニ

ハ特ニ七百圓以内ノ年功加俸ヲ給スルコトヲ得

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ勅任文官(親任式ヲ以テ敍任スル文官ヲ除ク)ノ在職年數ニシテ現官ノ最高俸額以上ノ俸給ヲ受ケタル年數ハ之ヲ現官ノ最高俸ヲ受ケタル在職年數ニ通算ス

前項ノ規定ニ依リ在職年數ヲ通算シ五年以上ニ及フ者ヲ勅任文官ニ任スル際ハ特ニ第一項ノ年功加俸ヲ給スルコトヲ得

第九條ノ二 高等官二等ヲ最高官トスル勅任文官ニシテ三年以上高等官二等ニ在職シ功績顯著ナル者ハ特ニ高等官一等ニ陸級スルコトヲ得

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ高等官一等又ハ高等官二等ヲ最高官等トスル勅任文官ノ高等官二等以上ノ在職年數ハ之ヲ現官ノ高等官二等ノ在職年數ニ通算ス

前官高等官一等ノ勅任文官ニ在リタル者ヲ高等官二等ヲ最高官トスル勅任文官ニ任スル場合ニ於テハ特ニ高等官一等ニ敍スルコトヲ得

第十條 (抄出) 文部省直轄諸學校教授ニシテ五年以上高等官三等ニ在リ功績アル者ハ二十七人ヲ限リ高等官二等ニ陸級スルコトヲ得

但シ各校二人ヲ超ユルコトヲ得ス

第十二條 奏任文官ノ俸給ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外別表第二表各號ノ一ニ依ル

第十三條 別表第二表第一號ニ依ル官ノ官等ハ高等官三等乃至七等同第二號ニ依ルモノハ高等官四等乃至八等、同第三號ニ依ルモノハ高等官五等以下トス

第十四條 別表第二表第一號ニ依ル諸官左ノ如シ(抄)

文部省直轄學校教授

第十九條 別表第二表第一號乃至第三號又ハ別表第五表ニ依ル奏任文官ニシテ五年以上各其ノ官ノ

一級俸ヲ受ケテ在職シ功績顯著ナル者ニハ特ニ七百圓以内ノ年功加俸ヲ給スルコトヲ得

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ高等文官ノ在職年數ニシテ現官ノ一級俸額以上ノ俸給ヲ受ケタル年數ハ之ヲ現官ノ一級俸ヲ受ケタル在職年數ニ通算ス

前項ノ規定ニ依リ在職年數ヲ通算シ五年以上ニ及フ者ヲ奏任文官ニ任スル際ハ特ニ第一項ノ年功加俸ヲ給スルコトヲ得

第二十一條 第九號ノ二第二項及前條第二項ノ規定ニ依リ在職年數ヲ通算シテ官等ヲ陸級スル場合ニ於テハ第五條第一項ノ規定ノ適用ヲ妨ケス

第二十三條 高等文官死亡シタルトキハ在職最終年俸三分ノ一ノ額ニ相當スル死亡賜金ヲ其ノ遺族

ニ給ス

前項遺族ト稱スルハ配偶者、子、父母、孫、祖父母及ヒ兄弟、姉妹ニシテ同一戸籍内ニ在ル者ヲ謂フヲ、

第一項ノ死亡賜金ヲ受クヘキ遺族ノ順位ハ前項ニ掲ケタル順序ニ依リ同順位内ニ在リテハ家督相續人ハ其ノ他ノ者ニ男ハ女ニ、長ハ幼ニ先ツ

終身官ニ付テハ其ノ在職中死亡シタル場合ニ限り前三項ノ規定ヲ適用ス

第二十四條 年俸ハ十二分シテ毎月之ヲ支給ス

第二十五條 俸給ハ新任増俸減俸トモ總テ發布ノ翌日ヨリ計算ス

休職又ハ待命ヲ命セラレ年俸全額ヲ給セサル場合ハ減俸ト看做シ前項ノ規定ヲ適用ス

第二十七條 廢官退官退職及ヒ死亡ノトキハ年俸ヲ月割計算トシ當月分ノ全額ヲ給ス

第二十八條 休職廢官退官ノ者事務引繼殘務調理ノ爲特ニ命ヲ受ケ事務ニ從事スル場合ニ於テハ其ノ間仍從前ノ年俸ヲ給ス

第二十九條 病氣ノ爲執務セサルコト九十日ヲ超ユル者及ヒ私事ノ故障ニヨリ執務セサルコト三十日ヲ超ユル者ハ俸給ノ半額ヲ減ス

但シ公務ノ爲傷痕ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ又ハ服忘ヲ受クル者及ヒ特旨ニ由リ賜暇休養スル

者ハ此ノ限ニ在ラス

第一表 第一號

奏任文官年俸表 (文部省直轄諸學校 教授ハ本表ニ依ル)

一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級	十二級
四、五〇〇	四、一〇〇	三、八〇〇	三、五〇〇	三、一〇〇	二、七〇〇	二、三〇〇	一、九〇〇	一、五〇〇	一、一〇〇	七〇〇	三〇〇

第五表

官名	級	一級	二級	三級	四級	五級
文部省直轄 諸學校長		五、一〇〇	四、八〇〇	四、五〇〇	四、一〇〇	三、八〇〇
奏任タルモノ但シ東 京育學校長東京雙 葉學校長ヲ除ク		四、五〇〇	四、一〇〇	三、八〇〇	三、五〇〇	三、一〇〇

第四 判任官俸給令抄 (明治四十三年三月 勅令第三百三十五號)

第一條 判任官ノ月俸ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外別表ニ依ル

第三條 判任文官ハ每級在職一年以上ニ至ラサレハ増給スルコトヲ得ス

但シ六級俸以下ノ者ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 判任文官ニシテ一級俸ヲ受ケ五年ヲ超エ事務熟練優等ナル者ハ特ニ二百圓迄ヲ給スルコトヲ得

第五條 判任文官ノ俸給ハ月俸七十五圓未満ノ者ニ限リ級俸ニ拘ハラズ適宜ノ金額ヲ定メ之ヲ支給スルコトヲ得

但シ各所定ノ最低俸給額ヲ下ルコトヲ得ス

第十二條 前四條ノ判任文官最上級俸ヲ受ケ三年ヲ超エ事務熟練優等ナル者ハ特ニ月額十圓以内ヲ加給スルコトヲ得

第十三條 判任官死亡シタルトキハ在職最終月俸三箇月分ノ額ニ相當スル死亡賜金ヲ其ノ遺族ニ給ス

前項遺族ト稱スルハ配偶者、子、父母、孫、祖父母及ヒ兄弟姉妹ニシテ同一戸籍内ニ在ル者ヲ謂フ

第一項ノ死亡賜金ヲ受クヘキ遺族ノ順位ハ前項ニ掲ケタル順序ニ依リ同順位内ニ在リテハ家督相續人ハ其ノ他ノ者ニ男ハ女ニ、長ハ幼ニ先ツ

第十四條 月俸ハ毎月下旬之ヲ支給ス

前項ノ外俸給ノ支給ニ關シテハ高等官官等俸給令ノ例ニ依ル

(別表)

級	俸	一級俸	二級俸	三級俸	四級俸	五級俸	六級俸	七級俸	八級俸	九級俸	十級俸	十一級俸
月	額	一六〇 ^円	一三五 ^円	一二五 ^円	一〇〇 ^円	八五 ^円	七五 ^円	六五 ^円	五五 ^円	五〇 ^円	四五 ^円	四〇 ^円

第五 文部省直轄諸學校教官俸給ノ支給ニ關スル件 (明治四十三年三月勅令第百五十四號)

第一條 文部省直轄諸學校教官ノ俸給ハ其ノ授業ノ時間又ハ學科ノ難易輕重ニ依リ最低額以下ヲ給スルコトヲ得

第二條 文部省直轄諸學校教官ニシテ一校又ハ數校ノ教官ヲ兼任スル者ニハ本官及ヒ兼官ニ於ケル授業ノ時間又ハ學科ノ難易輕重ニ依リ其ノ俸給額ヲ分割シテ各學校ヨリ給スルコトヲ得

第三條 文部省直轄諸學校ノ囑託講師ニハ教官俸給額ノ中ヨリ相當ノ手當ヲ給スルコトヲ得

第四條 前三條ノ規定ハ東北帝國大學農科大學附屬大學豫科、土木工學科、林學科、水産學科又ハ隨時教員養成所ノ教授又ハ講師ニ之ヲ準用ス

附 則

本令ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第六 直轄諸學校長職務規程 (大正二年六月二十三日文部大臣訓令)

第一條 校長ハ判任官ノ進退ヲ具狀シ及ヒ高等官ノ進退ニ付意見ヲ具ヘテ文部大臣ニ稟申スルコトヲ得

第二條 校長事故アルトキハ文部大臣ノ許可ヲ經テ高等官ヲシテ其ノ事務ヲ代理セシムルコトヲ得

第三條 左ノ事項ハ校長之ヲ專行スヘシ

但シ第六號及ヒ第八號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ

第一 教官ノ學科擔任及ヒ事務員ノ分課ヲ定ムルコト

第二 規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコト

第三 俸給月額八十五圓以下ノ雇員ノ進退ニ關スルコト

第四 教官以下ノ内國各地出張ニ關スルコト

第五 教官以下ノ除服出仕請暇ニ關スルコト

第六 講師ノ解嘲及ヒ其ノ報酬減額ニ關スルコト

第七 經費中ノ目ヲ流用スルコト

第八 三日以内ノ臨時休業ヲ爲スコト

第四條 前條ニ掲ケタルモノノ外文部大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ

第七 文部省直轄諸學校雇外國人使用方 (明治二十六年勅令第九十六號)

第八 文部省直轄諸學校外國人特別入學規程抄 (明治四十三年文部省令第十五號)

帝國大學官立大學及ヒ文部省直轄諸學校ニ於テ學科教授ノ必要アルトキハ帝國大學總長官立大學長及ヒ直轄諸學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ雇外國人ヲシテ教官ノ職務ニ當ラシムルコトヲ得

第一條 外國人ニシテ文部省直轄諸學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若クハ數科ノ教科ヲ受ケムトスル者ハ外務省在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限り特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケムトスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若クハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條 帝國大學總長若クハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限り之ヲ許可スヘシ

但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限りニ在ラス

第四條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケムトスル者ニハ試験ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試驗料入學料及ヒ授業料ヲ徵收セサルコトヲ得

第六條 帝國大學總長及ヒ學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

第九 學生生徒兒童身體檢查規程 (大正九年七月文 部省令第十六號)

第一條 學生生徒兒童身體檢查ハ毎年四月ニ於テ之ヲ施行スヘシ 但シ止ムヲ得サル場合ハ五月ニ於テ之ヲ施行スルコトヲ得

監督官廳又ハ學校長ニ於テ必要ト認ムルトキ又ハ學校醫ニ於テ必要ト認メ學校長ノ同意ヲ得タルトキハ身體檢查ノ全部若ハ一部ヲ臨時施行スルコトヲ得

第二條 身體檢查ハ學校醫ヲシテ之ヲ行ハシムヘシ

學校醫ナキ場合若ハ學校醫ガ身體檢查ヲ行ヒ難キ事情アルトキハ他ノ醫師ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

學校職員又ハ他ノ適當ナルモノヲシテ身體檢查ノ一部ヲ助ケシムルコトヲ得

第三條 身體檢查ハ左ノ項目ニ就キ施行スヘシ

- 一、發育(身長、體重、胸圍、概評)
 - 二、榮養
 - 三、脊柱
 - 四、視力及屈折狀態
 - 五、色神
 - 六、眼疾
 - 七、聽力
 - 八、耳疾
 - 九、齒牙
 - 十、其ノ他ノ疾病及異常
 - 十一、監察ノ要否
- 前項目ノ外必要ト認メタル事項ハ特ニ檢查ヲ行フコトヲ得

色神檢查ハ在學中一回行ヒタルトキハ其ノ後之ヲ省略スルコトヲ得

以下畧ス

第四條 身體檢查ハ左ノ各號ニ準據シテ施行スヘシ

- 一 檢查ノ表記ニハ度ハ尺、衡ハ貫ヲ以テ單位トシ四捨五入法ヲ用ヒテ度ハ分、衡ハ分ニ止ムヘシ
- 二 身長ヲ測定スルニハ足袋、靴等ヲ脱セシメ兩踵ヲ密接シテ直立シ兩上肢ヲ鉛直ニ垂レ頭部ヲ正位ニ保タシムヘシ又女子ニシテ髒アル者ハ小程ヲ髒下ニ水平ニ挿入レテ測定スヘシ
- 三 體量ノ著衣ノ儘測定シタルトキハ其ノ著衣ノ重量ヲ全重量ヨリ除去スヘシ
- 四 胸圍ハ起立ノ姿勢ニ於テ兩上肢ヲ自然ニ垂レシメ乳頭ノ水平線ニ沿ヒ普通呼氣ノ終レル時ヲ測定スヘシ
- 乳房ノ下垂セル女子ニ在リテハ乳線上第四肋間ノ水平線ニ於テ測定スルモノトス
- 五 發育ノ概評ハ別ニ定ムル標準ニ據リ甲、乙、丙ノ三ニ分ツモノトス
- 六 榮養ハ甲、乙、丙ニ分チ其ノ佳良ナルヲ甲トシ不良ナルヲ丙トシ其ノ中間ナルヲ乙トス
- 七 脊柱ハ正、左彎、右彎、前彎、後彎ヲ區別シ彎ニ就テハ凡テ其ノ凸側ニ依リテ前後左右ノ方向ヲ表示スルモノトス其ノ程度ハ之ヲ強弱ノ二種ニ區別シ自己ノ意思ニ依リ容易ニ矯正シ

得ルモノヲ弱トシ然ラサルモノヲ強トス

八 視力ハ萬國式試視力表ニ就キ兩眼ヲ各別ニ検査シ裸眼視力ヲ記入スヘシ

裸眼視力一、〇以上ナルヲ正視眼トス

屈折機ノ異常アルモノハ其ノ種別ヲ記入スヘシ

弱視、失明等モ兩眼ニツキ各別ニ記入スヘシ

九 色神ハ其ノ異常アルモノニ就キ色盲及色弱ヲ區別スヘシ

十 聽力ハ其ノ障礙ノ有無ヲ検査スヘシ

十一 齒牙ハ齶齒ニ就キ検査スヘシ

十二 其ノ他ノ疾病及異常ハ検査ノ際發見シタルモノヲ記入スヘシ殊ニ結核性疾患、腺病、肋膜炎、心臟疾患及機能障礙、貧血、脚氣、傳染性皮膚病、腺樣增殖症及扁桃腺肥大「ヘルニヤ」、神經衰弱、精神障礙ニ注意スヘシ

十三 監察ノ要否ハ検査ノ結果身心ノ健康狀態不良ニシテ學校衛生上特ニ繼續的ニ監察ヲ要スト認ムル者ヲ「要」トシ記入スルモノトス

第五條 第一條第一項ノ身體検査ヲ施行シタルトキハ其ノ結果ヲ身體検査票ニ記入シ本人同一種類ノ學校ニ在學中連年之ヲ繼續スヘシ

但シ程度ヲ異ニスル科學部類ヲ有スル學校ニ在リテハ其ノ部類毎ニ別標ヲ用フルモノトス

第一條第二項ノ臨時身體検査ノ際必要ト認ムル事項ヲ發見シタルトキハ之ヲ身體検査標ノ裏面ニ記入スルモノトス繼續的監察ノ場合亦同シ

他校ヨリ轉入シタル者アルトキハ學校長ハ前ノ學校ヨリ其ノ身體検査標ノ交付ヲ受ケ使用スヘシ身體検査標ハ學校長ニ於テ保管スヘシ

第六條 身體検査ヲ施行シタルトキハ學校長ハ其ノ結果ヲ本人若ハ其ノ保護者ニ示スヘシ授業免除就學猶豫、就學免除、休學、退學又ハ治療保護矯正等ヲ要スヘキモノアルトキハ本人若クハ其ノ保護者ニ對シテ特ニ注意ヲ與ヘ其ノ他必要ナル處置ヲ取ルヘシ

第七條 第一條第一項ノ身體検査ヲ施行シタルトキハ學校長ハ身體検査統計表ヲ調製シ其ノ年六月限り文部省直轄學校長及公立大學長ニ在リテハ文部大臣ニ其ノ他ノ學校ニ在リテハ地方長官ニ報告スヘシ

地方長官ハ前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ取纏メ其ノ年七月限り文部大臣ニ報告スヘシ

第八條 幼稚園ニ於テハ本令中尋常小學校第四學年以下ノ兒童ノ身體検査ニ關スル規定ヲ準用ス但シ胸圍及脊柱ノ検査ヲ省略スルコトヲ得

第九條 特別ノ事情アル場合ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ本令ノ身體検査ヲ行ハサルコトヲ得

附 則

本令ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
 明治三十三年文部省令第四號ハ之ヲ廢止ス

身 體 檢 査 票

發		年 檢		學 年		年 齡		氏 名		學校名	
體 重	身 長	年 月 日	查 査	年	年	年	年	男 女	年 月 日 生	家 業	

↑一寸五分 ↓一寸五分 ↓一寸五分 ↓一寸五分 ↓一寸五分 ↓一寸五分 ↓一寸五分
 ←七分→

(注意事項)
 一 用紙ノ大サハ幅八寸長
 サ一尺二寸トシ綴込用
 孔ハ本圖ニ示セル如シ
 二 横ノ區劃ハ全學年數ヨ
 リ二欄多クシ尙足ラサ

要 監 察 否	其ノ他ノ 疾病異常	齒 牙	耳 疾	聽 力	眼 疾	色 神	視力及 屈折 狀 態		脊 柱	榮 養	育 概 評		胸 圍
							右	左					

ルトキハ符箋ヲ以テ之ヲ補フヘシ
 三 學校名欄ニハ本規程第五ノ學科部類名ヲモ併セ記入スヘシ移轉先學校名ハ適宜學校名欄ノ餘白ニ記入スヘシ
 四 疾病其ノ他ノ爲検査ヲ受ケサル場合ハ當該區劃ニ其ノ旨記入スヘシ

童身體檢查統計表 (男女) (大正 年 月 検査)

年	年	年	年	年	年	年	年

検査醫師	備考	本人ニ對 スル注意

(校名) 學生生徒兒

年	年齢		年	年
身長	總長	平均		
體重	總重	平均		
胸圍	總長	平均		
發育	甲	乙	丙	
營養	甲	乙	丙	
脊柱	正	彎		
視力及屈折状態	兩眼	正視		
	兩眼	遠視		
	兩眼	近視		
	兩眼	其他		
	兩眼	異常		
色眼	異常	検査人員		
	トホ	ホー		
耳	聾者	其他		
	耳疾			
齒牙	齲齒	アル者		
其ノ他ノ疾病異常				
監督	要スル者	検査人員		
備考				

- 一 本表ハ男女別學科部類別ニ調製スヘシ
- 一 年齢ハ四月一日ノ計算ニ依リ滿六年一日以上滿七年迄ノ者ヲ七年トシ其他之ニ準ス
- 一 身長、胸圍ニ係ル總長、體重ニ係ル總重ノ各欄ニハ執レモ同一年齡ニ於ケル各検査人員ノ身長、胸圍又ハ體重ノ各合計ヲ掲ケ平均ノ各欄ニハ其検査人員ヲ以テ總長又ハ總重ヲ除シタル商ヲ掲ケヘシ
- 一 視力及屈折状態ニ就テハ兩眼ノ欄ニハ兩眼トモ正視、遠視、近視若ハ亂視及ヒ其他ノ者ノ人員ヲ掲ケ一ノ欄ニハ一ノ眼ノミ正視、遠視、近視若ハ亂視及ヒ其ノ他ノ者ノ人員ヲ掲ケヘシ
- 一 色神ニ就テハ異常者ノ數及ヒ検査人員ヲ記スヘシ

- 一 尋常小學校第四學年以下ノ兒童及幼稚園幼兒ニ在リテハ視力及屈折、狀態、色神竝聽力ハ之ヲ本表ニ計入スルヲ要セス
- 一 其ノ他ノ疾病異常欄ニ不足ヲ生シタルトキハ附箋ヲ以テ之ヲ補フヘシ
- 一 前項ノ外本表ニ記入スヘキ項目ノ一部ノ検査ヲ缺キタル者ハ之ヲ表中ニ計入スヘカラス
- 一 外國人ニ係ルモノハ之ヲ計入スヘカラス
- 一 備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ關シ説明ヲ要スル事項其ノ他特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ
- 一 本表ノ成績ニ關シ學校醫ニ於テ學校衛生上意見アルトキハ之ヲ表末ニ附記スヘシ

第十 發育概評決定標準

學生生徒兒童及幼兒ノ發育概評ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ムルモノトス

一、七年ヨリ十八年マテノ男子、七年ヨリ十六年マテノ女子ニ在リテハ被檢者ノ身長、體重、身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商ノ三者ガ何レモ左記發育標準表ニ照シテ當該年齡ヨリ一年々長ノモノノ標準以上ナルヲ甲トシ之ニ該當セスシテ一年々少ノモノノ標準以上ナルヲ乙トシ甲乙何レニモ該當セサルモノヲ丙トス

表中ニ掲ケサル年少者ニ關シテハ右ニ準シテ推定スルモノトス

二、十九年以上ノ男子ニアリテハ身長五尺三寸、體重十四貫三百匁、身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商カ二、七〇以上ナルヲ甲トシ之ニ該當セスシテ身長五尺一寸八分體重十三貫匁身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商カ二、五一以上ナルヲ乙トシ、甲乙何レニモ該當セサルヲ丙トス

十七年以上ノ女子ニアリテハ身長四尺九寸、體重十二貫五百匁身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商カ二、五五以上ナルヲ甲トシ、之ニ該當セスシテ身長四尺七寸五分、體重十貫五百匁、身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商カ二、二一以上ナルヲ乙トシ、甲乙何レニモ該當セサルヲ丙トス

發育概評決定標準表

年 齡	男			女		
	身長	體重	身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商	身長	體重	身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商
七 年	三、五二	四、六〇	一、三二	三、四八	四、五〇	一、二九
八 年	三、六七	五、三〇	一、四〇	三、六二	四、九〇	一、三六
九 年	三、八一	五、六〇	一、四七	三、七七	五、三八	一、四三
十 年	三、九七	六、一〇	一、五四	三、九二	五、九〇	一、五一
十一年	四、二二	六、六五	一、六一	四、〇八	六、四八	一、五九

十二年	四、二五	七、三三〇	一、七〇	四、二四	七、一〇〇	一、七〇
十三年	四、四一	七、九七〇	一、八一	四、四六	八、二〇〇	一、八四
十四年	四、六〇	八、九七〇	一、九五	四、六〇	九、二六〇	二、〇一
十五年	四、八三	一〇、三三〇	二、一四	四、七五	一〇、三九〇	二、一九
十六年	五、〇四	一一、八六〇	二、三五	四、八四	一一、三九〇	二、三五
十七年	五、一八	一二、八五〇	二、四八	四、八八	一二、〇三〇	二、四七
十八年	五、二五	一三、五三〇	二、五八			
十九年	五、二九	一四、〇一〇	二、六五			

第十 實業學校令抄 (明治三十二年 勅令第二十九號)

- 第一條 實業學校ハ工業農業商業等ノ實業ニ從事スル者ニ須要ナル教育ヲ爲スヲ以テ目的トス
- 第二條 實業學校ノ種類ハ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校及ヒ實業補習學校トス實業學校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校トス
- 實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル
- 實業學校、山林學校及ヒ水産學校等ハ農業學校ト看做ス

徒弟學校ハ工業學校ノ種類トス

- 第八條 實業學校ノ修業年限、學科、學科目及ヒ其ノ程度ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム
- 第十四條 實業學校ニ於テハ授業料ヲ徴收スルコトヲ得
- 第十五條 本令施行ノ爲メニ必要ナル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十一 專門學校令抄 (明治三十六年 勅令第六十一號)

- 第一條 高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校ト稱ス
- 專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ
- 第五條 專門學校ノ入學資格ハ中學校若クハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之レヲ定ムヘシ
- 但シ美術音樂ニ關スル學術技藝ヲ教授スル專門學校ニ就テハ文部大臣ハ別ニ其ノ入學資格ヲ定ムルコトヲ得

前項檢定ニ關スル規定ハ文部大臣之ヲ定ム

- 第六條 專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス
- 第七條 專門學校ニ於テハ豫科、研究科及ヒ別科ヲ置クコトヲ得
- 第八條 官立專門學校ノ修業年限、學科、學科目及ヒ其ノ程度並豫科、研究科及ヒ別科ニ關スル規

程ハ文部大臣之ヲ定ム

公立又ハ私立ノ專門學校ノ修業年限、學科、學科目及ヒ其ノ程度並豫科、研究科及ヒ別科ニ關スル規程ハ公立學校ニ在リテハ管理者、私立學校ニ在リテハ設立者文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム

第十二條 第一條ニ該當セサル學校ハ專門學校ト稱スルコトヲ得ス

第十二條 專門學校入學者檢定規程 (明治三十六年文部省令第十四號)

第一條 專門學校ノ本科ニ入學セムトスル者ニシテ中學校若クハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業セサル者ハ此ノ規程ニ依リ檢定ヲ受クヘキモノトス

第二條 檢定ヲ受ケムトスル者ハ左ノ資格ヲ具備スルコトヲ要ス

- 一 年齢男子ハ滿十七年以上女子ハ滿十六年以上ナルコト
- 二 身體健全ナルコト
- 三 品行方正ナルコト
- 四 現ニ中學校若クハ高等女學校ニ在學セサルコト

第三條 檢定ヲ分テ試験檢定、無試験檢定ノ二トシ試験檢定ハ官立、公立ノ中學校若クハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ニ於テ便宜之ヲ行ヒ無試験檢定ハ當該專門學校ニ於テ生徒入學ノ際之ヲ行フ

第四條 試験檢定ノ學科目及ヒ其ノ程度ハ中學校若クハ修業年限四箇年ノ高等女學校ノ各學科目及ヒ其ノ卒業ノ程度トス

但シ中學校若クハ高等女學校ニ於テ加除シ又ハ課セサルコトヲ得ル學科目ハ之ヲ省ク

第五條 官立公立ノ中學校若クハ高等女學校ニ於テハ試験檢定ニ合格シタル者ニハ試験檢定合格證書ヲ交付スヘシ

第六條 官立、公立ノ中學校若クハ高等女學校ニ於テハ試験檢定ノ問題、答案及成績表ハ五ケ年以上保存スヘシ

第七條 官立、公立ノ中學校若クハ高等女學校ハ試験檢定手数料ヲ徴收スルコトヲ得

第八條 左ニ掲ケル者ハ無試験檢定ヲ受クルコトヲ得

- 一 文部大臣ニ於テ專門學校ノ入學ニ關シ中學校若クハ修業年限四箇年ノ高等女學校ノ卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定シタルモノ
- 二 明治三十五年文部省告示第八十二號ニ依リ高等學校入學ノ豫備試験ニ合格シタル者

第十三條 甲種農業學校卒業生入學ニ關スル件

文部省告示第二百三號 (明治四十二年)

明治三十六年文部省令第十四號專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依リ無試験檢定ヲ受クルコトヲ得ルモノヲ指定スルコト左ノ如シ

一 鹿兒島高等農林學校ノ入學ニ關シテハ甲種農業學校卒業者

第十四 二箇以上ノ學校ニ入學許可ノ場合ニ關スル件

文部省告示第二百十三號 (明治四十三年)

同一人ニシテ東京帝國大學農科大學農學實科、同林學實科、同獸醫學實科、東北帝國大學農科大學大學豫科、同附設農學實科、同附設土木工學科、同附設林學科、同附設水產學科並文部省直轄諸學校中ノ二個以上ノ學科若ハ學校ニ入學ヲ出願シタル者ハ其最前ニ入學ヲ許可セラレタル學科若ハ學校ニ入學スヘキモノトス

但シ同時ニ二個以上ノ學科若ハ學校ニ入學ヲ許可セラレタル者ノ入學スヘキ學科若ハ學校ハ本人ノ撰擇ニ任ス

第十五 文部省告示第九十四號 (大正五年)

明治三十六年文部省告示第三十號教員無試験檢定ニ關スル指定中左ノ通改正ス
盛岡高等農林學校ノ次ニ左ノ如ク加フ

鹿兒島高等農林學校

農學科、農業、化學 (大正八年三月以後ノ卒業者ニシテ農藝化學ヲ修メ其ノ成績優等ノ者ニ限ル)

第十六 實業學校教員養成規程抄 (大正四年) (文部省令第七號)

第一條 東京帝國大學農科大學附屬教員養成所、東京高等商業學校附設商業教員養成所及ヒ東京高等工業學校附設工業教員養成所ノ生徒ニハ授業料ヲ徴收セス

前項養成所ノ研究生ニハ一箇月拾圓以内ノ學費ヲ補給スルコトアルヘシ
帝國大學及ヒ文部省直轄諸學校ノ學生生徒ニシテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ從事セントスル者ニハ授業料ヲ免除スルコトヲ得

第二條 前條養成所ノ生徒及ヒ前條第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者ハ卒業ノ日ヨリ左ノ期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ從事スヘキ義務ヲ有ス

但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ教職ニ從事スルノ義務ヲ負ハシムル事アルヘシ
一 養成所ノ生徒ハ其ノ在學期間ノ二分ノ一
二 養成所ノ生徒ニシテ學費ノ補給ヲ受ケタル者ハ其ノ補給ヲ受ケタル年限ニ第一號ノ期間ヲ加ヘタル期間
三 授業料ヲ免除セラレタル者ハ其ノ免除セラレタル期間ノ二分ノ一

第三條 前條ノ義務期間内ニ於テ學校ニ入學シ若ハ外國ニ留學セントスル者アルトキハ時宜ニ依リ

之ヲ許可スルコトアルヘシ
前項ニ依リ許可ヲ受ケタル者ノ當該學校ニ在學中若ハ外國留學中ノ期間ハ前條ノ義務期間ニ算入セス

第四條 第二條ノ義務期間内ニ於テ文部大臣ノ指定ヲ受ケサルカ爲任意就職シタル者ハ其ノ旨直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ其ノ就職ヲ罷メ又ハ之ヲ變更シタルトキ亦同シ
前條ノ許可ヲ受ケタル者學校ヲ卒業又ハ退學シ若ハ歸朝シタルトキハ直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ

第五條 第一條養成所ノ生徒及同條第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ授業費學費又ハ授業料ヲ償還セシム

但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ
一 退學ヲ命セラレ又ハ自己ノ便宜ニ依リ退學シタルトキ
二 實業學校教員タルノ志望ヲ變更シタルトキ
三 第二條ノ義務ヲ盡サス又ハ第三條第一項ノ許可ヲ受ケスシテ入學若ハ留學シタルトキ
前項授業費ノ額ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ各教員養成所ニ於テ之ヲ定ム

第十七 鹿兒島高等農林學校規程 (明治四十二年七月七日 日文科省令第十八號)

第一條 鹿兒島高等農林學校ノ修業年限ハ三箇年トス

第二條 學科ハ分チテ農學科、林學科及養蠶學科トス

第三條 各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ

但シ農學科ノ生徒ニシテ第二學年以上ニ於テ主トシテ農藝化學ヲ修メントスル者ハ甲號表農藝動植物學ヲ修メントスル者ハ乙號表ニ依ル
實習又ハ實驗等ノ都合ニ依リ每週教授時數ヲ隨時増減スルコトアルヘシ

農學科

學科目	第一學年			第二學年			第三學年		
	每週	教授	時數	每週	教授	時數	每週	教授	時數
修身	一			一			一		
體操	一			一			一		
外國語(英語)	四			四			四		
物理學及氣象學	三			三			(三)		
化學	三			三			(三)		

修身	學科		甲號表	農場實習回數	合計	教育學	植民政策	獸醫學 又八林學	農業工學	測量學	及農政學	農業經濟學	細菌學	
	第一學期	第二學期												
一	第一學期	每週	表	四	(三)二五									
	第二學期	授時		四	(三)二五									
	第三學期	數年		四	(三)二五									
一	第一學期	每週	表	三	(六)三								(三)	
	第二學期	授時		三	(六)三									(三)
	第三學期	數年		四	(三)二〇	(一)	(一)	一	二		(一)二			
一	第一學期	每週	表	四	(三)二〇	(一)	(一)	一	二		(一)二			
	第二學期	授時		四	(三)二〇	(一)	(一)	一	二		(一)二			
	第三學期	數年		四	(三)二〇	(一)	(一)	一	二		(一)二			

農產製造學	生理化學	肥料學及土壤學	熱帶農學	畜產學	園藝學	作物學	養蠶學	農學總論	經濟學及法律學	植物病學及植物學	昆蟲學及動物學	地質學及礦物學
											(三)二	二
										(三)二	二	二
											二	二
											二	二
											二	二
											二	二
											二	二
											二	二
											二	二
											二	二
											二	二
											二	二
											二	二

體操	修身	學年			農場實習回數	合計	教育學	植民政策	機械工學	農業經濟學及農政學	細菌學	農產製造學
		第一學期	第二學期	第三學期								
—	—	第一學期	第二學期	第三學期	三	(六)九						
—	—	第一學期	第二學期	第三學期	二	(九)九						
—	—	第一學期	第二學期	第三學期	二	(九)九						
—	—	第一學期	第二學期	第三學期	不定	(四)七	(二)	(二)	—	二	—	二
—	—	第一學期	第二學期	第三學期	不定	(四)九	(二)	(二)	—	二	(三)一	二
—	—	第一學期	第二學期	第三學期	不定	(四)七	(二)	(二)	—	二	(三)一	二

乙 號 表

食品化學	分析化學	生理化學	鑑定學	肥料製造及學	土壤學及肥料學	畜產學	作物學	經濟學及法律學	植物病學及植物學	化學	物理學及氣象學	外國語(英語)	體操
	—				二	—	二	二	—	二	(六)	四	—
	(六)一				二	—	二	二	—	二	(三)	四	—
	(九)一				二	—	二	二	—	二		四	—
	(二)一	二	二		(二)					二		二	—
二	(三)一	二	二		(三)					二		二	—
二	(三)一	二	二		(三)							二	—

學科	學年	修身	體操	外國語 (英語 獨逸語)	數學	物理學及 氣象學	學目		
							第一學期	第二學期	第三學期
林學科	第一學年	每週	一	一	二	三	第一學期	二	二
		教授	一	一	二	三	第二學期	二	二
		時數	一	一	二	三	第三學期	二	二
	第二學年	每週	一	一	一	(二)		第一學期	二
		教授	一	一	一	(二)		第二學期	二
		時數	一	一	一			第三學期	不定
	第三學年	每週	一	一	一			第一學期	不定
		教授	一	一	一			第二學期	不定
		時數	一	一	一			第三學期	不定

農場實習回數	合計	教育學	植民政策	農業經濟學及農政學
三	(六)〇			二
三	(九)〇			二
三	(六)〇			二
不定	(四)(五)七	〇	〇	二
不定	(四)(五)七	〇	〇	二
不定	(四)(五)七	〇	〇	二

細菌學	農產製造學	生理化學	肥土學及肥料學	畜產學	園藝學	作物學	養蠶學	法律及經濟學	植物病學及植物學	昆蟲學及動物學	化學	外國語(英語)
			二	一	一	二	一	二	(三)二	一	(三)	四
			二	一	一	二	一	二	(六)二	(三)一		四
			二	一	一	二	一	二	(三)二	(三)一		四
一	二	二			(三)	二			(九)二	(六)二		二
(三)一	二	二			(三)	二			(六)二	(六)二		二
(三)一	二	二			(三)	二			(六)二	(六)二		二

養蠶學科

事務見習	習林實習	學實習回数	計	教育學	植民政策	農學	機械工學	狩獵	林政學	森林法律及森林管理學
		二	二七							
		二	(三)二七							
		二	元							
	不定	四	(二)元					一		
	不定	四	(二)二七					一		
	不定	四	(三)元						二	
不定	不定	五	(三)二七	(一)	(一)	三	一		二	二
不定	不定	五	(三)二七	(一)	(一)	三	一		三	二
不定	不定	五	(三)三	(一)	(一)	三	一		三	三

森林經理學	森林數學	治林土木及水學	林產製造學	森林利用學	造林學及森林保護學	森林測量學	法律及行政大意	經濟及財政學	森林植物學及樹病學	森林昆蟲學	土地質學及土壤學	化學
						二		二	二	二		
						三		二	(三)二	二	二	
					二	三		二	二	二	二	
	三	二		二	二	一	二	二				三
	三	二		二	二	一	二	一	二			三
三		二		二	二	一	二	一	二			(三)三
三		二		二	三		二					
二		二		二	三		二					
二							二					

學科 學目	第一學年			第二學年			第三學年		
	每週 授時 數	每週 授時 數	每週 授時 數	每週 授時 數	每週 授時 數	每週 授時 數	每週 授時 數	每週 授時 數	
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	
體操	一	一	一	一	一	一	一	一	
外國語 (英語 佛語)	三	三	三	三	三	三	四	四	
物理學及 氣象學	三	三	三	三	三	三	四	四	
化學	三	三	三	三	三	三	四	四	
土壤學及 肥料學	三	三	三	三	三	三	四	四	
生理化學									
動物學		二	二						
植物學		二	二						
昆蟲學		二	二						
微生物學		二	二						
法律及經濟學				二	二	二	二	二	

農業經濟學及 農政學									(1)	(1)	(1)
遺傳學											
蠶業汎論	一										
栽桑學		一									
養蠶學		二									
蠶種學		五									
蠶體解剖學及 蠶體生理學		四									
蠶體病理學及 消毒論											
殺菌論及 乾繭論											
製絲學											
絹絲化學											
蠶繭論及 纖維學											
農學汎論											

作物學	園藝學	畜產學	教育學	合計	物理學實驗	化學實驗	動物學實驗	植物學實驗	微生物學實驗	養蠶學實驗	蠶體解剖學及蠶體生理學實驗	蠶體病理學及消毒論實驗
				五								
				三	不定		三	三		不定	三	
				三	不定		三	三			三	
				五						不定	三	
				三					三			三
				三					三			
()	()	()	()	(七)三								三
()	()	()	()	(九)四								
()	()	()	()	(九)三								

製絲學實驗	各期蠶兒飼育實習	殺蛹乾繭實習	蠶具製造實習	消毒法實習	製絲法實習	屑物整理實習	桑園實習	農場實習
	不定		不定		(回数)		不定	
	不定		不定				不定	不定
	不定		不定				不定	不定
	不定	不定	不定	不定			不定	
	不定			不定			不定	
	不定			不定			不定	不定
	不定	不定					不定	
不定	不定						不定	
不定	不定						不定	

備考 各學科教授時數中括弧()ヲ附スルモノハ實驗ノ時數トシ括弧()ヲ附スルモノハ隨意科目ノ時數トス

第四條 卒業者ニシテ既習ノ學科ニ就キ更ニ研究セムトスル者ハ研究生トシテ二箇年以内在學セシムルコトヲ得

第五條 各學科ノ學科目中一科目若クハ數科目ヲ選擇シテ學修セムトスル者ハ選科生トシテ入學セ

シムルコトヲ得

第六條 本校ニ別科ヲ置クコトヲ得

第七條 別科ニ關スル規程ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ學校長之ヲ定ム

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ第二學年以上ニ在學スル生徒ニ課スヘキ學科目及其ノ程度ハ其ノ卒業ニ至ル迄仍從前ノ規定ニ依ル

○學 年 歴

四月三日	休業(神武天皇祭)
四月七日	春季休業終ル
四月八日	第一學期授業始ル
七月十日	第一學期授業終ル
七月十一日	夏季休業始ル
七月三十日	休業(明治天皇祭)
八月三十一日	休業(天長節)

九月十日 夏季休業終ル

九月十一日 第二學期授業始ル

秋分ノ日 休業(秋季皇靈祭)

十月十七日 休業(神嘗祭)

十月三十一日 休業(天長節祝日)

十一月二十三日 休業(新嘗祭、開校記念)

十二月二十四日 第二學期授業終ル

十二月二十五日 冬季休業始ル

一月十日 冬季休業終ル

一月十一日 第三學期授業始ル

二月十一日 休業(紀元節)

春分ノ日 休業(春季皇靈祭)

三月二十四日 第三學期授業終ル

三月二十五日 春季休業始ル

○細則

第一學則

第一章 總則

第一條 本校ハ農林業ニ必要ナル高等ノ教育ヲ施ス所トス

第二條 本校ニ農學科、林學科及養蠶學科ヲ置キ之ヲ本科トシ別ニ研究生及ヒ選科生ヲ置クコトアルヘシ

前項ノ外特ニ別科ヲ置クコトアルヘシ但シ別科ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第三條 農學科、林學科及養蠶學科ノ修業年限ハ三箇年トス

第四條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第五條 學年ヲ分チテ三學期トシ第一學期ハ四月一日ヨリ七月十日ニ至リ第二學期ハ七月十一日ヨリ十二月三十一日ニ至リ第三學期一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第六條 休業日ハ左ノ如シ但シ休業中ト雖實習又ハ實驗ヲ課スルコトアルヘシ

- 一日 曜日
- 一大祭祝日

一 開校紀念日 十一月二十三日

一 春期休業 (自四月二十五日)

一 夏期休業 (自七月十一日)

一 冬期休業 (自十二月二十五日)

第七條 研究生、選科生及ヒ別科生ニ關シテハ特ニ定ムルモノ、外本科學生一般ノ規定ヲ準用ス

第二章 學科目、授業時數

第八條 各學科ノ學科目及ヒ其程度ハ左ノ如シ但シ農學科ノ學生ニシテ第二學年以上ニ於テ其志望ニ依リ主トシテ農藝化學ヲ修メントスル者ハ甲號表農藝動物學ヲ修メントスル者ハ乙號表ニ依ル

實習又ハ實驗等ノ都合ニ依リ毎週教授時數ヲ臨時増減スルコトアルヘシ

農學科

修身	第一學年			第二學年			第三學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
學科	1	1	1	1	1	1	1	1	1
年	1	1	1	1	1	1	1	1	1
學目	1	1	1	1	1	1	1	1	1
身	1	1	1	1	1	1	1	1	1

農場實習回數	合計	教育學	植民政策	獸醫學又 林學	農業工學	測量學	農業經濟學及 政學	細菌學	農產製造學	生理化學	土壤學及 肥料學	熱帶農學
四	(三)五											
四	(三)五											
四	(三)五											
四	(三)三					一	二				二	二
三	(六)三					一	二	(三)			二	二
三	(六)三					一	二	(三)			二	二
四	(三)三	(一)	(一)	一	二		(一)二		二	二		一
四	(三)三	(一)	(一)	一	二		(一)二		二	二		一
四	(三)三	(一)	(一)	一	二		(一)二		二	二		一

畜產學	園藝學	作物學	養蠶學	農學總論	法律及 經濟學	植物病理學 及植物學	昆蟲學 及動物學	地質學 及礦物學	化學	物理學 及氣象學	外國語 (英語)	體操
	一	一	二	一	二	二	(三)二	二	三	三	四	一
	一	一	二	一	二	(三)二	二	二	三	三	四	一
	一	一	二	一	二	二	二	二	三	(三)三	四	一
三	一	二			二	一		(三)			四	一
三	一	二			二	(三)一					四	一
三	一	二			二	(三)一					四	一
二	(一)二	(一)二									二	一
二	(一)二	(一)二									二	一
二	(一)二	(一)二									二	一

甲 號 表

學 科 目	第 一 年			第 二 年			第 三 年		
	第 一 學 期	每 週	時 數	第 二 學 期	每 週	時 數	第 三 學 期	每 週	時 數
修 身		一	一		一	一		一	一
體 操		一	一		一	一		一	一
外 國 語 (英 語)	四		四	四		四	四		四
物 理 學 及 象 學	(六)		(三)						
化 學	二		二	二		二	二		二
植 物 病 理 學 及 植 物 學	一		一	一		一	一		一
法 律 學 及 經 濟 學	二		二	二		二	二		二
作 物 學	二		二	二		二	二		二
畜 產 學	一		一	一		一	一		一
土 壤 學 及 肥 料 學	二		二	二		二	二		二
肥 料 製 造 學 及 鑿 定 學									

乙 號 表

學 科 目	第 一 年			第 二 年			第 三 年		
	第 一 學 期	每 週	時 數	第 二 學 期	每 週	時 數	第 三 學 期	每 週	時 數
生 理 化 學		一	一		一	一		一	一
分 析 化 學		一	一		一	一		一	一
食 品 化 學		一	一		一	一		一	一
農 產 製 造 學		二	二		二	二		二	二
細 菌 學		二	二		二	二		二	二
農 業 經 濟 學 及 農 政 學		二	二		二	二		二	二
機 械 工 學		一	一		一	一		一	一
植 民 政 策		二	二		二	二		二	二
教 育 學		二	二		二	二		二	二
合 計	(六)	一	一	(九)	一	一	(九)	一	一
農 場 實 習 回 數	三		三	二		二	二		二

體操	修身	學科	學年	第一學期每週授時數	第二學期每週授時數	第三學期每週授時數	第一學期每週授時數	第二學期每週授時數	第三學期每週授時數	第一學期每週授時數	第二學期每週授時數	第三學期每週授時數	農場實習回數	合計	教育學	植民政策	農業經濟學及農政學	細菌學	農產製造學	生理化學	
																					第一學期
—	—	林學科	第一學年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—		第二學年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(六)二〇	—	—	—	—	—	—	—
—	—		第三學年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(九)二〇	—	—	—	—	—	—	—
—	—		第一學年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—		第二學年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(六)二〇	—	—	—	—	—	—	—
—	—		第三學年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不定	(四)二七	(二)	(二)	—	—	—	—	—
—	—		第一學年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不定	(四)二七	(二)	(二)	—	(三)一	—	—	—
—	—		第二學年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不定	(四)二七	(二)	(二)	—	—	—	—	—
—	—		第三學年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不定	(四)二七	(二)	(二)	—	(三)一	—	—	—

肥土肥料學及土壤學	畜產學	園藝學	作物學	養蠶學	法律及經濟學	植物病理學及植物學	昆蟲學及動物學	化學	外國語(英語)	體操	修身	學科	學年	第一學期每週授時數	第二學期每週授時數	第三學期每週授時數	第一學期每週授時數	第二學期每週授時數	第三學期每週授時數	
																				第一學期
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第一學年	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第二學年	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第三學年	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第一學年	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第二學年	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第三學年	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第一學年	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第二學年	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第三學年	—	—	—	—	—	—	—

演習林實習	林學實習回數	合計	教育學	植民政策	農學	機械工學	狩獵	林政學	森林法律及森林管理學	森林經理學	森林數學	森林土木學及治水學
	二	二毛										
	二	(三)毛										
	二	二元										
不定時	四	(二)元					一				三	二
不定時	四	(二)毛					一				三	二
不定時	四	(三)元						二		三		二
不定時	五	(三)毛	(三)	(三)	三	一		二	二	三		二
不定時	五	(三)毛	(三)	(三)	三	一		三	二	二		二
不定時	五	(三)毛	(三)	(三)	三	一		三	三	二		二

林產製造學	森林利用學	造林學及森林保護學	森林測量學	法律及行政大意	經濟及財政學	森林植物學及樹病學	森林昆蟲學	土地質學及土壤學	化學	物理學及氣象學	數學	外國語 (英語 獨逸語)
			二		二	二	二	二		三	四	二六
			三		二	(三)二	二	二		三	三	二六
			二	三	二	二	二	二		三	三	二六
			二	二	二	二			三	(二)		一五
			二	二	一	二			三	(二)		一五
			二	二	一	二			(三)三			一五
			二	三	二							一四
			二	三	二							一四
			二		二							一四

製絲學	乾繭論及	殺菌論及	消毒論及	蠶體病理學及	蠶體生理學及	蠶體解剖學及	蠶種學	養蠶學	栽桑學	蠶業汎論	遺傳學	農業經濟學及	農政學	法律及經濟學	微生物學	昆蟲學
					四			五		一						
					二			二	一	一						
					二			二	一	一						
			二									二		二	二	
	一	二							二		二	二	二	二	二	
	一	二							二		二	二	二	二	二	
二											(一)		二			
二							二					(一)	二			
一							二					(一)	二			

六一

植物學	動物學	生理化學	肥料學及	土壤學及	化學	物理學及	氣象學	外國語(英語) (佛語)	體操	修身	學科	學年	養蠶學科	森林事務見習
								三	一	一	第一學期	第一學年		
								三	一	一	第二學期	第二學年		
二	二			三	三	三	三	三	一	一	第三學期	第三學年		
二	二			三	三	三	三	三	一	一	第一學期	第一學年		
								三	一	一	第二學期	第二學年		
				二				三	一	一	第三學期	第三學年		
				二				三	一	一	第一學期	第一學年	不定時	
		二						四	一	一	第二學期	第二學年	不定時	
		二						四	一	一	第三學期	第三學年	不定時	
		二						四	一	一			不定時	

六〇

農場實習	桑園實習	屑物整理實習	製絲法實習	消毒法實習	蠶具製造實習	殺蛹乾繭實習	各期蠶兒飼育實習	製絲學實驗	蠶體病理學及消毒論實驗	蠶體解剖學及蠶體生理學實驗	養蠶學實驗
	不定	(回數)	(回數)		不定		不定				
不定	不定				不定		不定			三	不定
不定	不定				不定		不定			三	
	不定			不定	不定	不定	不定			三	不定
	不定			不定			不定		三		
不定	不定						不定				
不定	不定					不定	不定		三		
	不定	一	一				不定	不定			
	不定						不定	不定			

微生物學實驗	植物學實驗	動物學實驗	化學實驗	物理學實驗	合計	教育學	畜產學	園藝學	作物學	農學汎論	蠶繭論及纖維學	絹絲化學
					二五							
	三	三		不定	三							
	三	三		不定	三							
					二五							
三			三		三							
三					三							
					(七)三	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)		
					(九)四	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)
					(九)二	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)

各學科教授時數中括弧()ヲ附スルモノハ實驗ノ時數トシ括弧()ヲ附スルモノハ隨意科目ノ時數トス

第三章 學 生

第一 入學、在學、退學

第九條 入學ノ期ハ每學年ノ始トス但シ臨時入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十條 本校ニ入學ヲ許可スヘキ者ハ品行端正身體強壯年齡滿十七歲以上ノ男子ニシテ左ノ各號一

ニ該當シ入學試驗ニ及第シタル者タルヘシ

一 中學校ヲ卒業シタル者

二 甲種農業學校ヲ卒業シタル者

三 專門學校入學者檢定規程ニ依レル試驗檢定ニ合格シタル者

四 專門學校入學者檢定規程第八條第一號ノ指定ヲ受ケタル學校ヲ卒業シタル者

第十一條 入學試驗ノ學科目ハ國語及ヒ漢文、英語、(林學科ニ入學志願ノ者ハ)數學、物理、化學、動物

植物トシ中學校卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行ヒ別ニ體格檢査及ヒ口頭試問ヲ行フ

第十二條 入學手数料ハ金參圓トス入學志願書ト共ニ納付スヘシ

入學手数料ハ一旦納付ノ後ハ何等ノ事由アリト雖之ヲ返付セス

第十三條 本校學生ハ校長ノ許可ヲ經ルニアラサレハ他ノ學校ニ入り又ハ他ノ學校若クハ官署ニ於ケル各種ノ試験ニ應スルコトヲ得ス

第十四條 入學志願者ハ左式ノ入學願書及ヒ履歷書ニ入學志願前六箇月以内ニ撮影シタル寫眞(脱帽半身手札形)及ヒ當該學校長ノ卒業證明書並學業成績表又ハ專門學校入學者試驗檢定合格證明書ヲ添ヘテ差出スヘシ但シ農學科ニ入學志望ノ者ハ本文ノ外本人又ハ父兄ノ所有地反別ノ調書ヲ差出スヘシ

入學願書式(用紙美濃紙)

入 學 願 書

私儀今般御校何學科ニ入學志願ニ付御許可相成度別紙履歷書並入學手数料相添へ此段相願候也

族籍住所(戶主又ハ誰何男又ハ弟等)

年 月 日

氏 名 印

生 年 月 日

鹿兒島高等農林學校校長氏 名殿

履歷書式(用紙美濃紙)

履歷書

族籍(戶主又ハ誰何男又ハ弟等)

氏名印

生年月日

學業

- 一 何年何月ヨリ何年何月マテ何地何學校ニ入り又ハ何某ニ就キ何學修業
- 一 何年何月何學校ニ於テ何課程卒業
- 一 何年何月何學校ニ於テ專門學校入學者檢定規程ニ依リ試験檢定合格證書ヲ受ク（卒業證書及ヒ試験檢定合格證明書寫ヲ添付スヘシ）

賞罰

- 一 何年何月何處ニ於テ何賞罰ヲ受ク

第十五條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ二十日以内ニ保證人二名ヲ立テ左式ノ證書及ヒ戶籍謄本ヲ差出スヘシ

證書式（用紙美濃紙）

三錢入紙收印

證書

私儀今般御校へ入學許可相成候ニ付テハ御規則堅ク相守リ猥リニ退學等致間敷候乃テ證書如此候也

族籍住所

氏名印

生年月日

右何某在學中御規則等堅ク相守ラセ候事ハ勿論退學後タリトモ同人在學中ニ係ル一切ノ事件ハ拙者共ニ於テ引受申候此段保證候也

族籍住所

本人トノ關係

職

保證人

族籍住所

本人トノ關係

職

保證人

族籍住所

本人トノ關係

職

保證人

族籍住所

本人トノ關係

職

保證人

族籍住所

鹿兒島高等農林學校長氏 名殿

第十六條 入學ノ許可ヲ得タル者ニハ入學ノ際宣誓ヲ行ハシム

第十七條 保證人ハ本人ノ父兄若クハ丁年以上ノ近親ニシテ相應ノ資産ヲ有スル者タルヘシ

前項ノ父兄親族アラサルトキハ學生ノ身上ニ關シ一切引受クルニ足ルヘキ者ヲ以テ保證人ト爲スコトヲ得

第十八條 保證人死去若クハ前條ノ資格ヲ失ヒタルトキ又ハ學校ニ於テ不適當ナリト認メタルトキハ更ニ保證人ヲ定メ直ニ證書ヲ本校ニ差出スヘシ

第十九條 保證人改姓、改名、改印、轉居等ヲ爲シタルトキハ速ニ届出ツヘシ

第二十條 學生疾病又ハ事故ニヨリ開課セムトスルトキハ豫メ事由ヲ具シ届出ツヘシ但シ疾病ノ爲五日以上ニ亙ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第二十一條 學生疾病又ハ事故ニ依リ退學セムト欲スルトキハ其ノ事由ヲ具シ願出ツヘシ但シ疾病ノトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第二十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ學籍ヲ除名ス

- 一 無届ニテ二箇月以上引續ニ開課シタル者

二 學業不進歩ニシテ成業ノ見込ナシト認ムル者

三 授業料ヲ納付セザル者

四 病氣又ハ事故ノ爲メ同一學級ニ於テ休學ニ學年ヲ超ユル者但シ第二十九條ノ場合ヲ除ク
第二十三條 學生校規命令ニ違背シ其ノ他學生タルノ本分ヲ失フ者ハ其ノ輕重ニ依リ戒飭、謹慎、停學又ハ放校ニ處スヘシ

第二 特 待 生

第二十四條 學術優等品行方正ナル學生ヲ選拔シ特待生ト爲ス但シ特待生ニハ授業料ヲ徴收セス

第二十五條 特待生ノ資格ヲ失フト認ムルトキハ直ニ其ノ特待生タルノ待遇ヲ止ム

第三 休 學

第二十六條 學生疾病又ハ事故ニ依リ二箇月以上修學スルコト能ハサルトキハ許可ヲ得テ該學ニ間休學スルコトヲ得但シ疾病ノトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第二十七條 休學ノ許可ヲ得タル者ハ次學年ヨリ其ノ原級ニ復スルモノトス

第二十八條 休學ノ期限内ト雖其ノ事故消滅シタルトキハ出願ニ依リ詮議ノ上休學ヲ解除スルコトアルヘシ

第二十九條 學生ノ陸軍現役ニ服スル者及ヒ召集中ノ者ハ校長ノ許可ヲ得テ其ノ間休學シ現役又ハ

召集終レハ直ニ其ノ原級ニ復スルコトヲ得

第四 試験、得業及ヒ稱號

第三十條 試験ヲ分チテ臨時試験及ヒ學年試験ノ二種トス

第三十一條 臨時試験ハ學年中教官ノ見込ヲ以テ臨時ニ之ヲ行ヒ學年試験ハ學年ノ終ニ於テ之ヲ行フモノトス

第三十二條 試験ハ教官ノ見込ニ依リ口述、筆記又ハ實驗ヲ以テ之ヲ行ヒ其ノ成績ヲ按シ之ニ評點ヲ付ス

第三十三條 評點ハ之ヲ學科點ト實習點トニ分チ學科點ハ一科目一百ヲ最高點トシ實習點ハ一學年間ノ實習ノ成績ヲ按シ一百ヲ最高點トス

第三十四條 各學科目學年評點ハ臨時試験評點ノ和ヲ其ノ採點回数ヲ以テ除シタルモノニ學年試験評點數ヲ加ヘ二分シテ定ムルモノトス

第三十五條 學年ノ成績ハ學科點實習點及ヒ平素ノ勤惰、行狀等ヲ參酌シテ之ヲ定メ其ノ及落ヲ決ス

第三十六條 試験ニ闕席シタル者ハ零點ヲ附ス但シ疾病又ハ事故ノ爲ニ闕席シタル者ハ詮議ノ上追試験ヲ行フコトアルヘシ

第三十七條 第三學年ノ終ニ於テ各自修得ノ主要學科ニ就キ得業試問ヲ行フ

第三十八條 各學年ノ成績及ヒ得業試問ノ成績ヲ按シ其ノ適當ナリト認メタル者ニハ得業證書ヲ授與ス

本校得業生ハ其ノ學科ニ從ヒ農學得業士林學得業士ト稱スルコトヲ得

第一項ノ場合ニ於テ不適當ト認メタルコト引續キ二回ナルトキハ願ニ依リ其ノ學科ニ對シ修了證書ヲ附與スルコトアルヘシ

第五 服 制

第三十九條 學生ハ本校制定ノ制服制帽ヲ着用スヘシ

第四章 研 究 生

第四十條 本校得業生中學業優良ナル者ニシテ既習ノ學科ニ就キ更ニ研究セムト欲スル者ニハ出願ニ依リ研究生トシテ在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十一條 研究生ノ在學期ハ二箇年トス

第四十二條 研究生ハ在學期ノ終ニ於テ研究報文ヲ作り指導教官ヲ經テ之ヲ校長ニ提出スヘシ

第四十三條 研究報文ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ研究證書ヲ授與ス

第五章 選 科 生

第四十四條 本校學科ノ一科目若クハ數科目ヲ選擇專修セムトスル者アルトキハ選科生トシテ在學セシムルコトアルヘシ

第四十五條 選科生ハ教授上差支ナキ場合ニ限リ學年ノ始ニ於テ試驗ノ上入學ヲ許可スルモノトス

第四十六條 選科生ニシテ修學中ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與ス

第六章 授 業 料

第四十七條 授業料ハ一學年本科學生金參拾五圓選科生金貳拾圓トシ研究生ニハ之ヲ徵收セス

外國人ニシテ特別ニ入學ヲ許可シタル者ニハ一學年本科ハ金五拾五圓選科ハ金參拾五圓ヲ徵收ス

第四十八條 授業料ハ一學年ヲ左ノ三期ニ分チテ徵收ス

第一學期 一學年分ノ十分ノ三

第二學期 一學年分ノ十分ノ四

第三學期 一學年分ノ十分ノ三

第四十九條 授業料徵收期日ハ四月、九月及ヒ一月ノ二十六日、二十七日、二十八日ノ三日間トス

但シ期中休業日アルトキハ之ヲ順延ス

第五十條 授業料ハ一旦納付ノ後ハ何等ノ事由アリト雖之ヲ返付セス

第五十一條 大正四年三月文部省令第七號實業學校教員養成規程ニ依リ得業後實業學校ノ教職ニ從

事セムトスル者ニシテ文部大臣ノ認可ヲ經タル者ハ授業料ヲ徵收セス

前項出願者ニ對シテハ其ノ決定ニ至ル迄其ノ期ノ授業料徵收ヲ猶豫ス

第一項ノ選定ヲ得タル者ハ得業ノ日ヨリ授業料ヲ免除セラレタル期間ノ二分ノ一實業學校ノ

教職ニ從事スル義務アルモノトス

第五十二條 停學ヲ命セラレタル者又ハ休學ノ許可ヲ得タル者ハ其ノ期間内授業料ヲ徵收セス但シ

各學期始業後授業料徵收期日以前ニ退學停學又ハ休學シタルトキハ其ノ月ノ授業料ハ一學年分ノ十分ノ一トシ指定ノ日ニ於テ之ヲ納付スヘシ

第五十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ其ノ月ヨリ一箇年一學年分ノ十分ノ一ノ割ヲ以テ次ノ授

業料納付期ノ前月迄ノ授業料ヲ指定期日内ニ納付スヘシ但シ第二號又ハ第三號ニ該當スル者ニ

シテ既ニ其ノ期ノ授業料納付済ノ者ハ此ノ限リニ在ラス

一、特待生タルノ資格消滅シタル者

二、停學ヲ解除セラレ就學シタル者

三、休學ノ事故止ミ就學シタル者

第五十四條 授業料ハ定日ニ納付スヘキ其ノ定日以後ニ入學シタル者ハ入學許可ノ日ヨリ五日以内

ニ之ヲ納付スヘキモノトス

第五十五條 授業料ヲ定日ニ納付セサルトキハ本人ニ之ヲ催告シ尙納付ヲ怠ルトキハ第二十二條ニ依リ處分ス

附 則

第五十六條 第四十七條ノ改正ハ大正八年ノ入學者ヨリ之ヲ適用シ其ノ以前ニ入學シタル學生ニ對シテハ從前ノ規定ニ據ルモノトス

第五十七條 第一條、第二條、第三條及第三十八條ノ改正ハ大正九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二 別 科 規 程

第一條 別科ニ於テハ短期ニ専門ノ學術技藝ヲ授クルモノトス

第二條 別科ニ於テ授ケル學科目左ノ如シ但變更又ハ取捨スルコトアルヘシ

農 學 別 科

農學總論、育種、作物、園藝、土壤及肥料、畜産、農産製造、病蟲害、農業經濟、實驗及實習、

林 學 別 科

測量、測樹及森林經理、造林、森林保護、森林利用、森林法及林政、實驗及實習

學校長ハ生徒ノ願ニ依リ前項ノ學科目中一科目又ハ數科目ノ選擇專修ヲ許可スルコトアルヘシ

第三條 別科ノ修業年限ハ一箇年トシ九月十一日ニ始マリ翌年九月十日ニ終ル但シ時宜ニ依リ四十

日ノ期間内ニ於テ延長又ハ短縮スルコトアルヘシ

第四條 別科ニ入學シ許可スヘキモノハ甲種農業學校卒業程度以上ノ學力ヲ有シ入學檢定口頭試問

身體檢査ニ合格シタル者タルヘシ

第五條 入學檢定料ハ金貳圓トス入學願書ト共ニ納付スルモノトス

第六條 授業料ハ一人一箇月金貳圓トシ毎月五日迄ニ納付スルモノトス

第七條 別科ノ課程ヲ修了シタル者ニハ其成績ヲ按シ適當ナリト認メタルトキハ修業證書ヲ授與ス

入學願書ハ別記ノ書式ニ依リ履歷書相添ヘ本年十月五日迄ニ本校ニ到着スル様提出スヘシ入學試
驗期日ハ追テ通知ス

入學願書書式

入 學 願 書

私儀今般御校農學別科ニ入學志願ニ付御許可相成度別紙履歷書並入學手数料相添ヘ此段相願候也

族籍住所(戸主又ハ誰何男又ハ弟等)

年 月 日

氏 名 印

鹿兒島高等農林學校長玉利喜造殿

履歷書書式

履 歷 書

生 年 月 日

七六

族籍(戸主又ハ誰何男又ハ弟等)

氏

名 印

生 年 月 日

學 業

一 何年何月ヨリ何年何月マデ何地何學校ニ入り又ハ何某ニ就キ何學修業

一 何年何月何學校ニ於テ何課程卒業

職 業

一 何年何月何日何々職(官)拜命(奉職中)

一 何年何月何日何々職(官)退職(官)

賞 罰

一 何年何月何處ニ於テ何賞罰ヲ受ク

以 上

第 二 圖 書 館 規 程

總 則

第一條 鹿兒島高等農林學校圖書館ハ本校ノ圖書ヲ貯藏スル所トス

第二條 圖書ヲ分テ左ノ二種トス

第一種 普通圖書

第二種 貴重圖書

第三條 本校職員及ヒ學生ハ圖書ヲ閱覽シ又ハ借受クルコトヲ得

第四條 諸官廳若クハ公私團體及ヒ其ノ役員ハ學校長ノ許可ヲ經テ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得

第五條 本館員ノ外圖書ノ出納ヲ爲スコトヲ許サス

第六條 第一種ノ辭書諸學科ニ通スル參考書閱覽室備付ノ圖書及ヒ第二種ノ圖書ヲ借受ケムトスル

トキハ學校長ノ許可ヲ受ヘキモノトス

圖 書 貸 付

第七條 圖書ヲ借受ケムトスル者ハ定式ノ證書用紙ニ番號書名、著者氏名及ヒ年月日ヲ詳記シ捺印

ノ上圖書館員ニ差出スヘシ

第八條 貸付シタル圖書ハ他人ニ轉貸スルコトヲ得ス

第九條 參考用トシテ借受クルコトヲ得ヘキ圖書ノ冊數ハ左ノ如シ

一 教 官 二十五冊(十五部)

一 助 手 三 冊

一 其ノ他ノ職員 二 冊

冊數ハ洋裝ノモノニ就キ之ヲ定メ和漢裝ノモノハ三冊ヲ以テ洋裝ハ一冊ニ充テ其ノ他ノモノハ一個ヲ以テ一冊ト定ム又裝釘セサル逐次刊行ノ書ニシテ數號ヲ以テ完冊ヲ爲スモノハ其ノ一完冊ヲナス迄ノ若干號ヲ合セテ一冊トス

但シ逐次刊行書ハ十日以内ニ閱了シ逐號返納セシム

第十條 各學科主任ハ參考上必要ノ圖書ヲ借用シ之ヲ教員室若クハ特別教室ニ備付ケ又各課ニ於テハ課長ハ事務上必要ノ圖書ヲ借用シ之ヲ其ノ室ニ備付ケ使用スルコトヲ得

第十一條 學生ハ教務上差支ナキモノ一冊ヲ限り借受クルコトヲ得

但シ主任教官ノ證明アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 冬夏期休業中圖書ヲ借受ケムトスルトキハ職員ハ更ニ借受ケノ手續ヲナシ學生ハ教官ノ承認ヲ經テ冬期休業ニハ二冊夏期休業ニハ五冊ヲ限り借受ルコトヲ得

圖書貸付期限

第十三條 第十一條ニ依リ貸付シタル圖書ハ一週間以内ニ返納スヘシ若シ引續キ借受クル必要アル

トキハ主任教官ノ證明ヲ受クヘシ職員ニシテ免職轉任等ノ場合及ヒ生徒ニシテ退學、休學等ノ場合ニハ其ノ事由ノ生シタル日ヨリ三日以内ニ返納スヘシ

第十四條 借受ケタル圖書ハ毎學年ノ終ニ於テ指定ノ期日迄ニ悉皆返納スヘシ

但シ必要アル場合ハ臨時之ヲ返納セシムルコトアルヘシ

圖書閱覽

第十五條 閱覽室ハ休業日ヲ除ク外毎日之ヲ開ク

但シ開閉ノ時限ハ時々之ヲ揭示スヘシ

第十六條 學生閱覽室ニ入ラムトスルトキハ閱覽票ヲ圖書館員ニ渡シ置キ退場ノ際之ヲ受取ルヘシ

但シ毎年九月圖書館ヨリ之ヲ交付ス

第十七條 圖書ヲ借覽セムトスルトキハ目錄ニ就キ其ノ圖書ヲ檢出シ規程ノ用紙ニ書名番號氏名年

月日等ヲ詳記シ館員ニ差出シ之ヲ借受ケ閱覽シ了レハ直ニ返納スヘシ

但シ閱覽冊數ハ一時ニ二冊ヲ過クルヲ得ス

第十八條 圖書閱覽ハ閱覽室ニ於テ爲スヘシ

閱覽室備付ノ參考書及ヒ定期刊行物ハ定メタル席ニ於テ閱覽シ閱覽シ了レハ直ニ所定ノ位置ニ

納メ置クヘシ

八〇

第十九條 閱覽室ニ在リテハ喫煙音讀談話等ヲ爲スコトヲ得ス

第二十條 閱覽室ニハ圖書文房具ノ外他ノ物品ヲ携帯スルコトヲ得ス

第二十一條 閱覽票ハ人ニ轉貸スルコトヲ得ス

第二十二條 閱覽票ヲ亡失毀損シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ圖書館主事ニ届出更ニ閱覽票ノ交付ヲ請フヘシ

第二十三條 第四條ニ依リ學校長ヨリ圖書閱覽ノ特許ヲ得タル者ニハ定式ノ閱覽票ヲ交付ス

圖書檢索

第二十四條 左ニ掲ケタル者ハ書庫内ニ入り圖書ヲ檢索スルコトヲ得

一 教官主事及ヒ課長

二 右ノ外圖書館主事ノ許可ヲ得タル者

第二十五條 圖書ヲ檢索スル者ハ圖書ノ位置ヲ錯亂スヘカラス

制 裁

第二十六條 圖書ヲ亡失毀損若クハ汚染シタルモノハ其ノ損害ノ多少ニ依リ同一ノ圖書ヲ以テ償ハシメ又ハ修補セシム

但シ時宜ニ依リ修理費用又ハ相當代價ヲ以テ辨償セシムルコトアルヘシ

第二十七條 本則ニ違背シタル者ハ其ノ輕重ニ從ヒ一定ノ期限又ハ無期限ニ圖書ノ閱覽及ヒ借受ヲ禁スルコトアルヘシ

圖書保管

第二十八條 借受ケタル圖書ハ借受人ニ於テ其ノ保存ノ責ニ任シ亡失毀損若クハ汚染シタルトキハ借受者ヨリ其ノ趣ヲ書面ニテ圖書館主事ヲ經テ校長ニ開申スヘシ

第二十九條 何人ヲ問ハス書庫中ニ於テ一切火器ヲ使用スルヲ得ス若シ燈火ヲ必要トスル場合ニ於テハ覆付ノ燭火ニ限り之ヲ使用スルコトヲ得

第四 學生心得

第一條 本校學生タル者ハ常ニ左ノ要項ヲ服膺格守スヘシ

一 常ニ我國體ノ精華ヲ發揮スル様心掛ケ學業ヲ勵ミ苟モ學生タルノ體面ヲ汚スカ如キ舉動アルヘカラス

二 信義ヲ重シ恭儉自重ヲ旨トシ職員ニ對シテハ勿論學生相互ニ禮讓ヲ厚クスヘシ

三 華ヲ去リ實ニ就キ勤儉ヲ旨トシ常ニ神身ノ修養ニ務ムヘシ

四 校則ヲ遵守シ總テ長上ノ命令ニ服従スヘシ

八一

- 第二條 告示ハ之ヲ揭示シタル日ヨリ一般ニ知了シタルモノト認ムルヲ以テ常ニ能ク注意スヘシ
- 第三條 校舎内ヲ疾走シ或ハ高聲ニ誦讀談笑スル等渾テ喧囂ノ行爲アルヘカラス
- 第四條 本校學生タル者ハ飲酒スヘカラス
- 第五條 疾病又ハ事故ニヨリ關課スルトキハ其ノ當日ノ授業時間前ニ事由ヲ詳記シテ届出ツヘシ
- 第六條 授業時間ニハ遲滞ナク教室ニ入り直ニ所定ノ席ニ就クヘシ若シ遲參スルトキハ受持教官ノ指揮ヲ受クヘシ
- 第七條 授業時間中ハ受持教官ノ許可ヲ得スシテ教室ニ出入スヘカラス
- 第八條 校内ノ建物、物品、樹木ヲ汚染毀損スヘカラス
- 第九條 學生間猥リニ金錢物品ノ貸借ヲ爲スヘカラス
- 第十條 常ニ衛生ニ注意シ身體及ヒ衣服等清潔ナルヲ要ス
- 第十一條 諸願届書類ハ校長ニ宛テ通學生ニアリテハ生徒監ヲ寄宿舎生ニアリテハ寮長及ヒ生徒監ヲ經由スヘシ
- 第十二條 自宅ヨリ通學スル者ノ外ハ總テ寄宿舎ニ入ルヲ要ス

第五 寄宿舎規則

- 第一條 寄宿舎内ニ寮長、副寮長、室長ヲ置ク

第二條 寮長ハ生徒監及ヒ學生課員ノ指揮ヲ承ケ其ノ寮内一般ノ風紀取締ニ任シ兼テ命令其ノ他ノ事項ヲ傳達スルコトヲ掌ル

第三條 副寮長ハ寮長ヲ補佐シ寮長事故アルトキハ其ノ任務ヲ代理ス

第四條 室長ハ室内掃除整理ノ責ニ任ス

第五條 起床、就褥、喫飯、人員點檢及自修時間ノ始終ハ喇叭其ノ他ノ時間ハ半鐘又ハ整拆ヲ以テ之ヲ報ス

第六條 起床號報ニテ速ニ寢具ヲ片付ケ室内ヲ掃除シ就褥號報ニ燈火ヲ滅シ就褥スヘシ

第七條 人員點檢ハ臨時ニ之ヲ行フ

第八條 人員點檢ノ際ハ所定ノ場所ニ整列シ生徒監又ハ學生課員ノ點呼ニ應スヘシ

第九條 就褥後ハ談話、發聲等安眠妨害ノ所爲アルヘカラス

第十條 燈火及ヒ煖爐等ノ取扱ニ注意シ危險ノ所爲アルヘカラス

第十一條 舎内ニ談話室ヲ設ケ一定ノ時間ニ於テ其ノ室内ニ出入スルヲ許ス

第十二條 談話室ニ關スル規則ハ別ニ之ヲ定ム

第十三條 談話室ノ外猥リニ他室ニ往來シ又他ノ自修ニ妨アル舉動ヲ爲スヘカラス

第十四條 食堂ニハ定時ノ外猥リニ出入スヘカラス若シ定時外喫飯ヲ要スルトキハ生徒監ノ許可ヲ

受クヘシ

第十五條 入浴ハ定時間内ニ於テ之ヲ爲スヘシ若シ定時外入浴ヲ要スル者ハ生徒監ノ許可ヲ受クヘシ

第十六條 疾病ニ罹リタル者アルトキハ本人又ハ室長ヨリ生徒監ニ届出テ指揮ヲ受クヘシ

第十七條 火災其ノ他非常ノ事變アル場合ニハ生徒監及ヒ課員ノ指揮命令ニ從ヒ危害ヲ防止スルコトニ盡カスヘシ

第十八條 外來人ニ面會スルニハ應接所ニ於テシ決シテ室内ニ誘引スヘカラス但シ病氣其ノ他止ムヲ得サル場合ニハ願出ニ依リ許可スルコトアルヘシ

第十九條 室内ノ物品ヲ毀損又ハ亡失シタルトキハ之ヲ辨償セシム若シ毀損者、亡失者判明セザルトキハ寮内又ハ室内ノ一同ヲシテ辨償セシムルコトアルヘシ

第二十條 談話室外諸室ニ於テ飲食スヘカラス但シ湯水及ヒ疾病ノ爲メ特ニ許可ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條 舍内ニ於テ金錢物品ノ紛失シタルトキハ速ニ生徒監ニ届出ツヘシ

第二十二條 修業上必要ノ書類及ヒ物品ノ外ハ生徒監ノ許可ヲ得ルニアラサレハ携帯スルヲ許サス

第二十三條 荷物ヲ門外ニ持ち出サムトスルトキハ生徒監ノ許可證ヲ受クヘシ

第二十四條 沐浴及ヒ衣服ノ洗滌等ヲ怠ルヘカラス

第二十五條 喫飯及ヒ入浴中ハ殊ニ靜肅ニシテ決シテ喧囂ノ舉動アルヘカラス

第二十六條 盥嗽ハ必ス一定ノ場處ニ於テ爲スヘシ

第二十七條 舍内ニ於テ不潔汚穢ノ所爲ヲ爲シ又窓ヨリ流動物其ノ他ノ物品ヲ投棄スヘカラス

第二十八條 被服書籍其ノ他ノ物品ハ總テ所定ノ場處ニ整頓スヘシ

第二十九條 外出時間ハ左ノ如シ

一 平日 放課後ヨリ夕食時マテ

一 水、土曜日 放課後ヨリ午後九時マテ

一 休業日 朝食後ヨリ夕食時マテ

但シ時宜ニ依リ伸縮スルコトアルヘシ

第三十條 臨時外出、歸省又ハ外泊セムトスル者ハ生徒監ノ許可ヲ受クヘシ但シ外泊シタル場合ニハ歸校ノトキ宿泊先ヲ届出ツヘシ

第三十一條 闕課シタル者及ヒ疾病ニ罹リタル者ハ其ノ當日ハ外出ヲ許サス但シ生徒監ノ許可ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス

第三十二條 受業外出等自室ヲ離ルル場合ニハ室内ノ取締特ニ火ノ元ニ注意スヘシ

第三十三條 外出中止ムヲ得サル事故ノ爲歸舍時限ニ遅レタルトキハ事實ヲ認メ得ヘキ證明書ヲ生徒監ニ差出シ指揮ヲ受クヘシ

第三十四條 外出ノ際ハ自己ノ名札ヲ門衛ニ渡シ置キ歸舍ノ際ハ之ヲ受取り舍内所定ノ場所ニ掲ケ置クヘシ

第三十五條 起床、就褥、喫飯、自修、人員點檢及ヒ入浴ノ時間ハ別ニ之ヲ定ム

第三十六條 食料及ヒ諸雜費ハ毎月末日限り炊事委員ニ於テ取纏メ賄方請負人ニ支拂フヘシ但中途退學ノ場合ハ其ノ際支拂フヘシ

第三十七條 疾病ニ罹リタルトキハ校醫ノ診斷ニ依リ病室ニ於テ治療セシム但シ輕症ノ者ハ此ノ限ニ在ラス

第三十八條 病室ニ於テ治療スル者一週間ヲ經ルモ全治セス又重病及ヒ傳染病ニ罹リタルトキハ最奇病院ニ入ラシムルコトアルヘシ

第六 通學生取締規程

第一條 通學生班ヲ分チテ若干組トナス

第二條 通學生班ニ班長及ヒ組長ヲ置ク

第三條 班長ハ生徒監及ヒ學生課員ノ指揮ヲ受ケ通學生全般ノ風紀取締ニ任シ兼テ命令其ノ他ノ事項ヲ傳達スルコトヲ掌ル

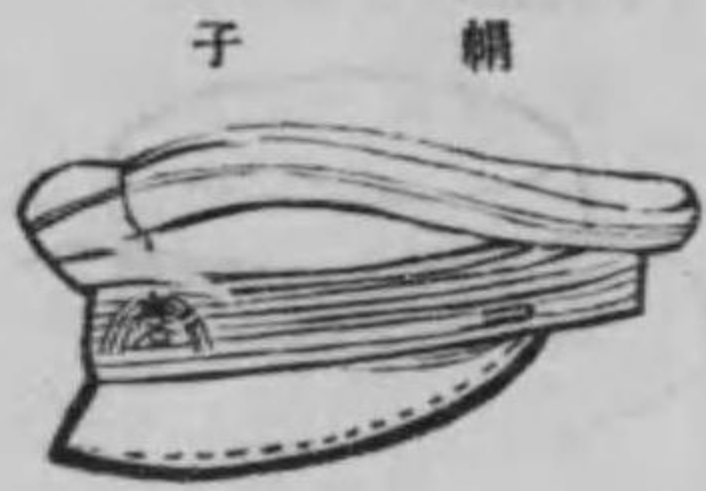
第四條 組長ハ班長ヲ補佐シ其ノ組ノ取締ニ任ス

第五條 通學生ハ本校所定ノ標札ヲ其ノ宿所ノ門外ニ掲クヘシ但シ不用トナリタルトキハ速ニ學生課ニ返納スヘシ

第六條 通學生ハ轉宿歸省旅行其ノ他ノ異動ニ際シテハ總テ班長ヲ經テ願出ツヘシ

第七 學生制服

第一條 學生ノ制服ハ左ノ如シ



前章 (色金)

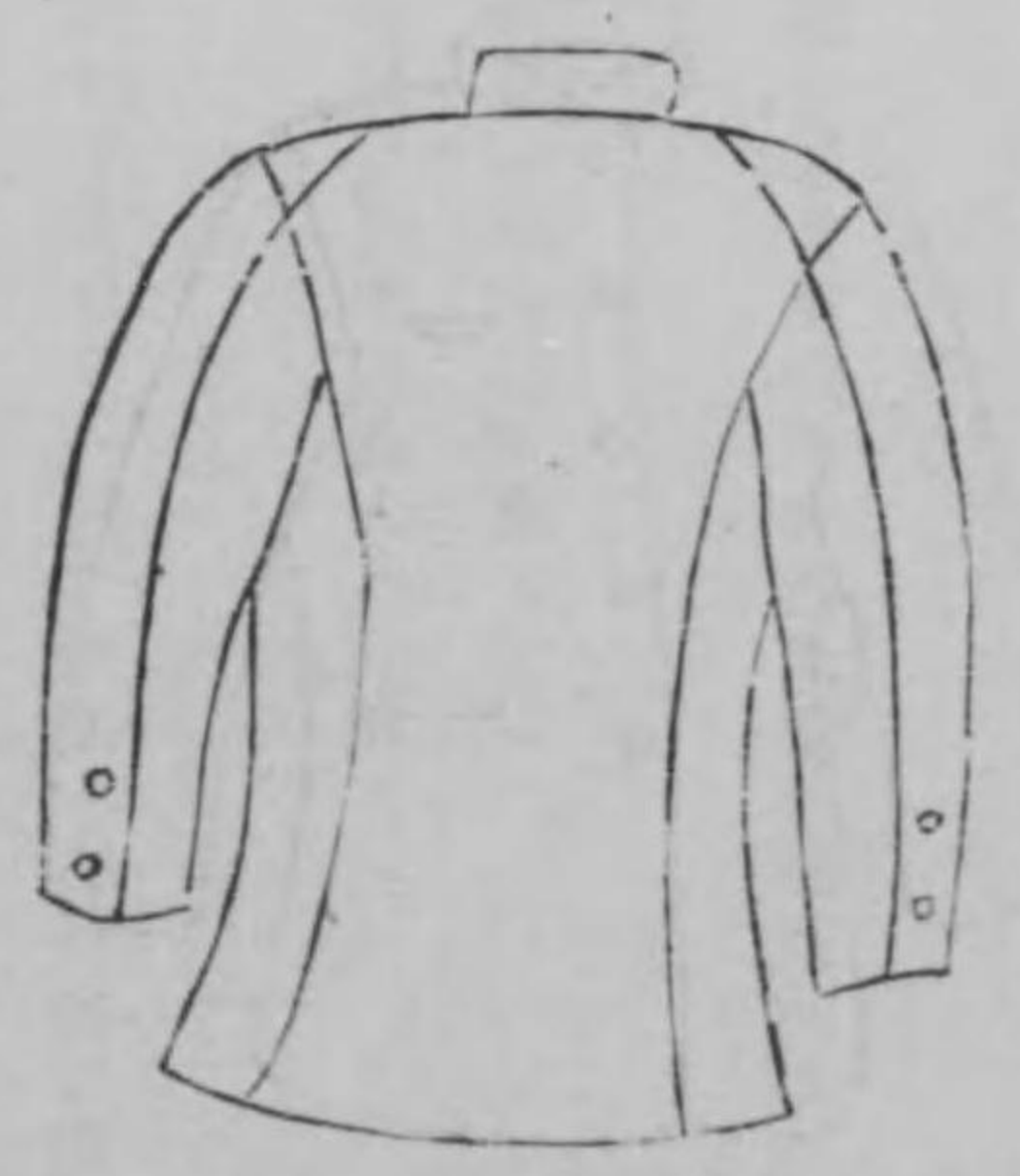
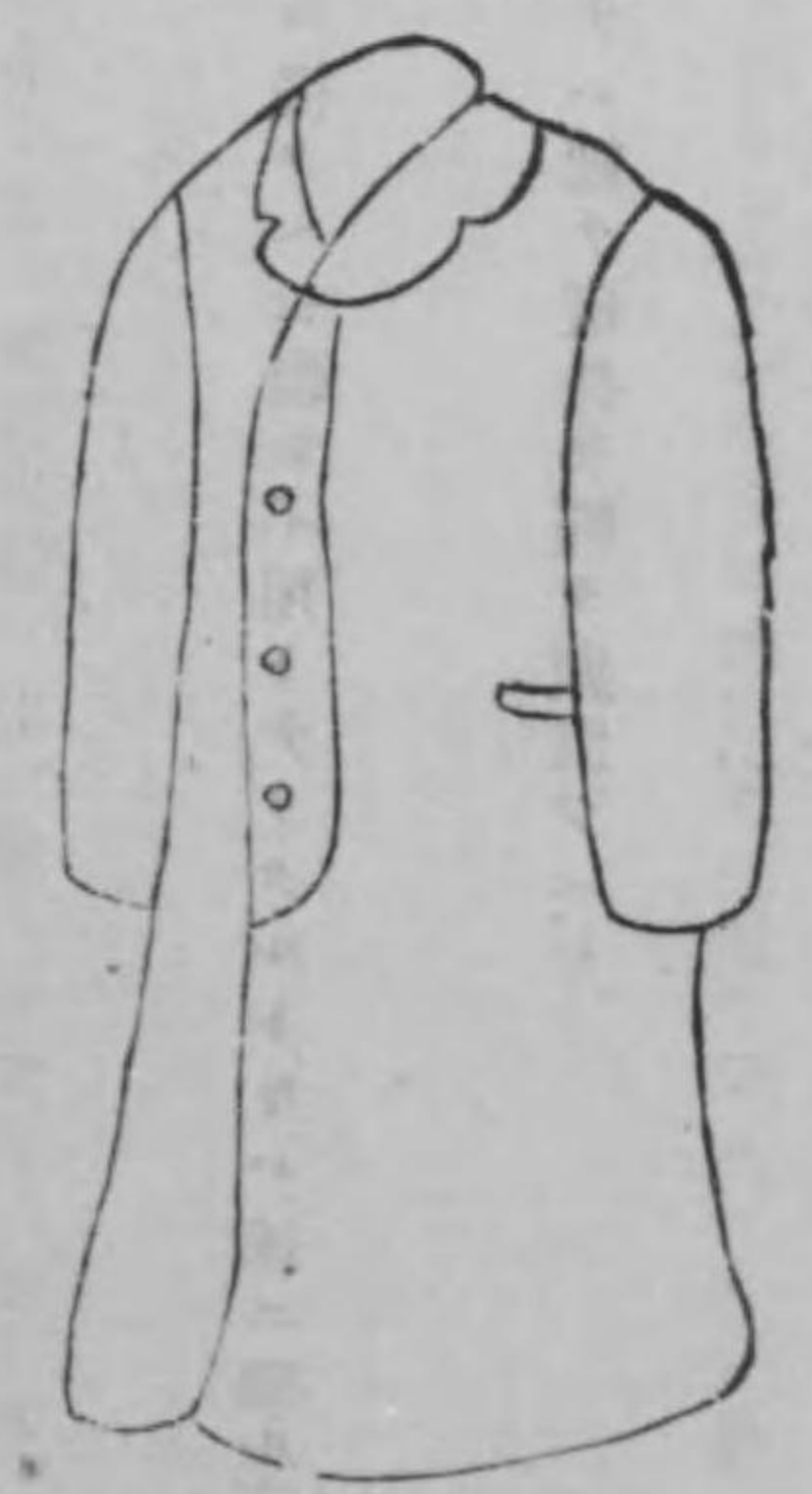
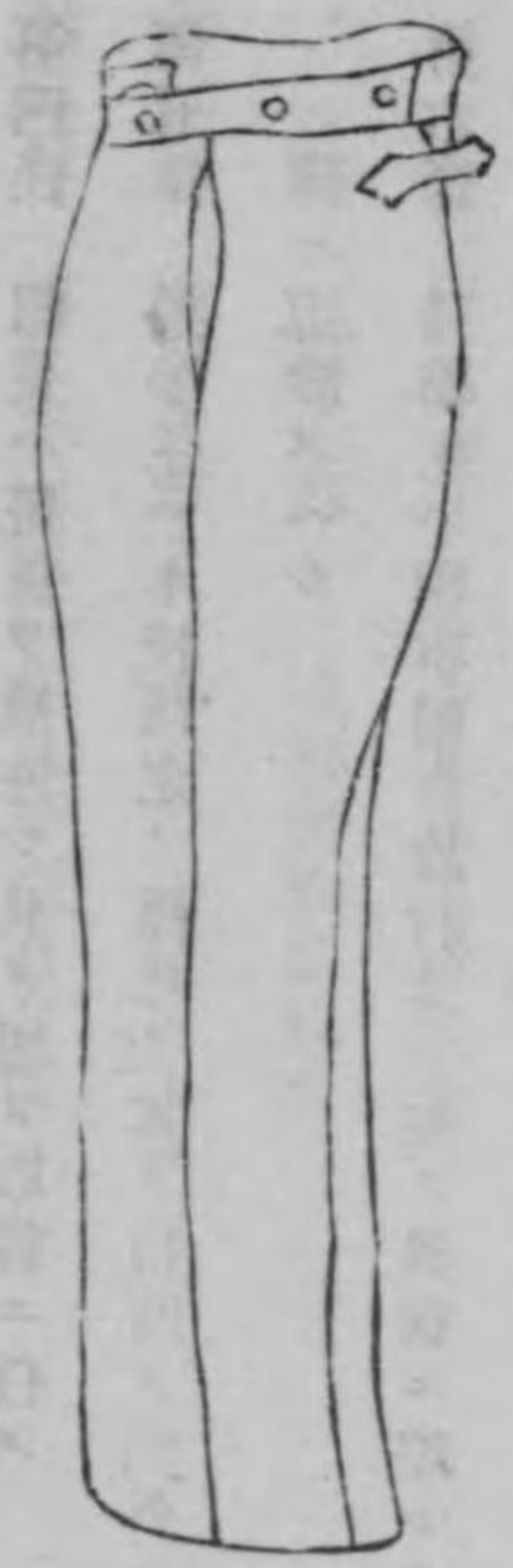


衣 (面前)



衣 地 質 制 鈕 頤 眼 前 地 質

黑 如 金 黑 黑 金 黑
 絨 圖 色 革 革 色 如 絨
 又ハ黒小倉但シ夏服ハ「セル」小倉又ハ麻



釦

金色 如圖

襟章

左襟ニ農學科A、林學科ハE、養蠶學科ハS
右ニハ第一學年生ハI、第二學年生ハII、
第三學年ハIIIノ金字ヲ附ス

袖章

金色圓形校章入二個付

制式

如圖

袴

地質

衣ニ同シ

制式

如圖

第二條 制服ヲ着用スヘキ場合ハ左ノ如シ

一、課業ヲ受ケルトキ

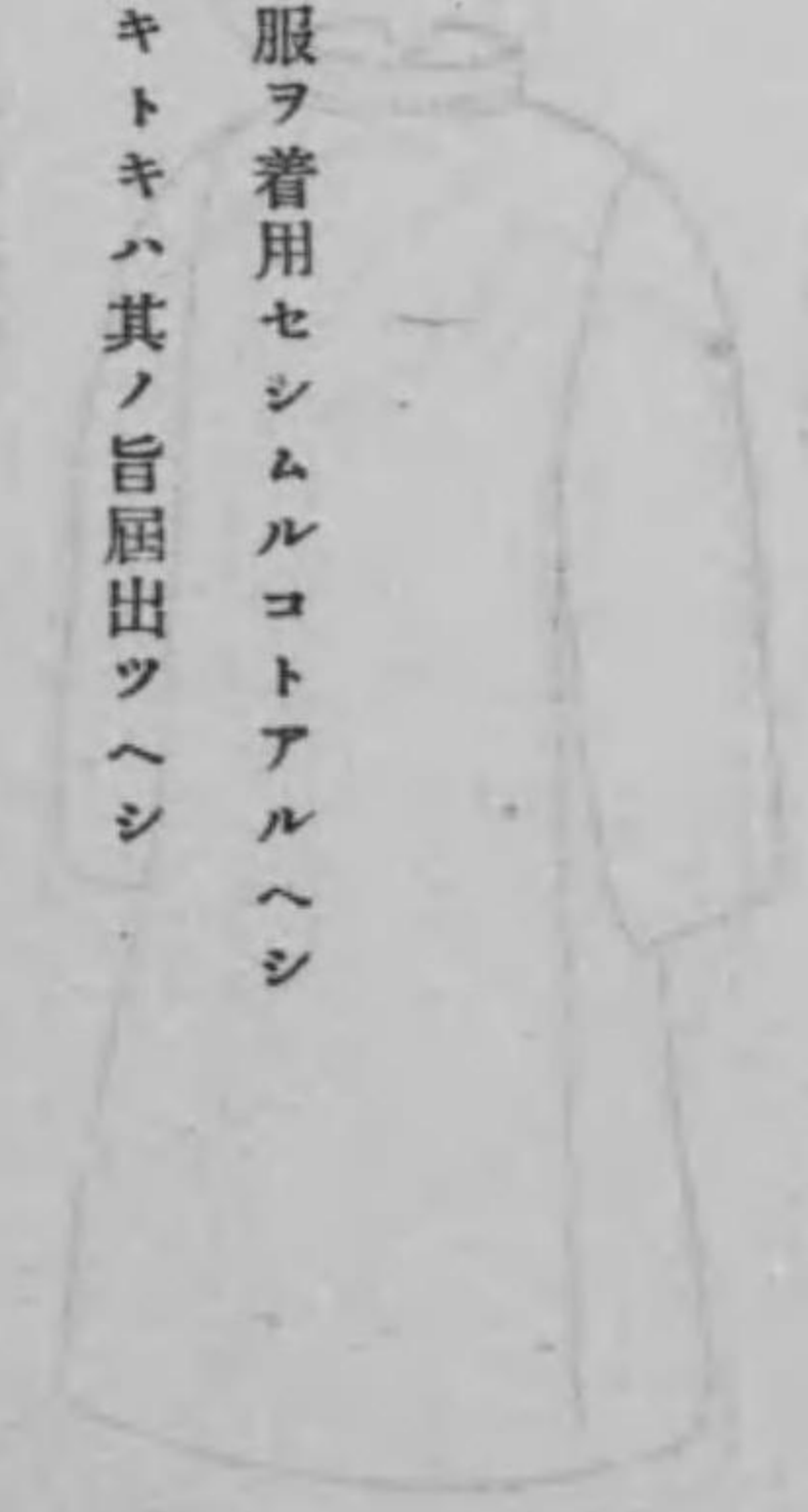
二、本校學生タルヲ表示スルトキ

三、其他本校ヨリ特ニ指定セラレタルトキ

第三條 實習實驗等ニ從事スルトキハ所定ノ作業服ヲ着用セシムルコトアルヘシ

第四條 疾病其ノ他ノ事故ニヨリ制服ヲ着用シ難キトキハ其ノ旨届出ツヘシ

第五條 冬服及夏服用期間ハ左ノ如シ



但シ場合ニヨリ特ニ服種ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

夏服

自五月十一日
至十月三十一日

冬服

自十一月一日
至四月三十日

第六條 夏服ヲ着クル際ニハ略帽ヲ着用スルコトヲ得

第七條 新入學生ハ五月一日迄ニ制服及實習服ヲ調製着用スヘシ

第八條 學生外出スルトキハ制服制帽又ハ制帽及袴ヲ着用スヘシ

第九條 研究生並ニ選科生ノ制服ハ學生ニ準ス

但シ襟章ノ數字ヲ附セサルモノトス

第十條 制服ハ常ニ清潔ニシ見苦シカラサル様手入スヘシ

第八 校旗ニ關スル規程

校旗ノ保護

第一條 校旗ハ校長室ニ置クモノトス

第二條 校旗ニ對シテハ職員生徒ハ敬虔ノ念ヲ以テ常ニ之ヲ尊重擁護スヘシ

第三條 非常ノ場合ニ於テハ本校職員並旗手ハ校旗ニ對シ臨機ノ處置ヲナスモノトス

旗手ノ任命

第四條 旗手ハ各學科上級生ニ就キ教官會議ニ諮リ校長之レヲ命ス

第五條 旗手ヲ分チテ正副トシ正旗手ハ校旗ノ捧持ヲ掌リ副旗手ハ常ニ正旗手ニ伴ヒ必要ノ場合ハ正旗手ニ代リテ校旗ノ捧持ヲ掌ル

第六條 正旗手ハ學年ノ變更毎ニ各學科交番ニ之レニ當ル

校旗ノ迎送

第七條 校旗ハ學校長若クハ學校長代理者ノ面前ニ於テ迎送スルモノトス

第八條 校旗ヲ迎フルニハ學生課員一名旗手ヲ引率シ校長室ニ至リ旗手ヲシテ校旗ヲ持セシメ之レヲ誘導スルモノトス

第九條 校旗ヲ送ルニハ旗手ヲシテ校旗ヲ持セシメ學生課員一名旗手ヲ引率シ之レヲ校長室ニ誘導スルモノトス

校旗ノ出動

第十條 校旗ヲ捧持スヘキ場合左ノ如シ

- 一 學校ノ全行行動シ學校ヲ表示スルトキ
 - 二 本校ニ於ケル重要ナル儀式舉行ノトキ
 - 三 其ノ他學校長ノ特ニ適當ト認メタルトキ
- 第十一條 校旗ヲ捧持シテ出動スル場合ニハ職員學生ハ之レニ隨從スルモノトス但シ止ムヲ得サル

事由アルトキハ途中ノ隨從ヲ省略スルコトヲ得校旗ヲ收メテ携帯スルトキハ此ノ限リニアラス

校旗ニ對スル敬禮

第十二條 職員並ニ學生ハ校旗ニ對シ姿勢ヲ正シ注目(着帽ノ場合ニハ脱帽)ノ敬禮ヲナスモノトス

第十三條 學生ノ整列ノ場合ニアリテハ指揮官ノ號令ヲ以テ敬禮ナスモノトス

第十四條 校旗ニ上覆ヲ附シタルトキハ前項ノ敬禮ヲナスニ及ハス

校旗ノ持方及ヒ其ノ敬禮

第十五條 旗行列中ニ在リテ停止或ハ行進スルトキハ校旗ヲ持ツニハ旗鍬ヲ右ノ臑骨上ニ當テ右肘

ヲ後ロニシテ旗頭ハ僅ニ前方ニ傾カシムルモノトス

第十六條 校旗ノ敬禮ハ皇室並神前其ノ他特ニ指定セラレタル場合ニ限ル

第十七條 校旗ノ敬禮ヲ行フヘキトキハ次ノ方法ニ從フヘシ校旗受敬禮者ヲ距ル六歩ノ所ニテ旗手

ハ右手旗竿ニ沿ヒテ眼ノ高サニ上ケ旗鍬ヲ右臑骨ヨリ離スコトナク右手ヲ充分前方ニ伸ハシ始ムト旗竿ヲ水平ニス而シテ受禮者ヲ過ル六歩ノ所ニ至レハ校旗ヲ起立シ定規ノ持方ニ復ス

第九 寄宿料徴收規程

第一條 本校寄宿舍及ヒ演習林寄宿舍ニ入舍スルモノハ寄宿料ヲ納付スヘシ

但シ特待生ニハ之ヲ徴收セス

第二條 寄宿料ハ一箇年金拾貳圓トス

第三條 寄宿料ハ壹箇年ヲ左ノ三期ニ分テ每期ノ始メニ於テ之ヲ徴收ス

第壹期 自四月 至七月 金四圓

第貳期 自八月 至十二月 金五圓

第參期 自一月 至三月 金參圓

第四條 寄宿料ハ第壹期ハ四月十六日ヨリ同二十日迄第貳期ハ八月一日ヨリ同五日迄第參期ハ一月十一日ヨリ同十五日迄ニ納付スヘシ

第五條 其ノ期ノ半途ニ於テ入舍スルモノハ壹箇月金壹圓ノ割合ヲ以テ次ノ寄宿料納付期ノ前月迄ノ寄宿料ヲ入舍ノ日ヨリ五日以内ニ納付スヘシ

第六條 寄宿料徴收期日以前ニ退舍シタルモノハ壹ヶ月金壹圓ノ月割ヲ以テ直テニ納付スヘシ

第七條 本校ヨリ校外宿泊ヲ命シタルモノニシテ便宜上一時寄宿舎ニ宿泊セシムル必要アルモノハ七日以内無料入舍ヲ許可スルコトアルヘシ

第八條 本校寄宿舎及ヒ演習林寄宿舎間ヲ轉舎シタル者ノ寄宿料ハ共通トス

第九條 平素ハ通學生ニシテ演習林ニ於テ演習ノ爲メ演習林寄宿舎ニ入舍シタルモノハ入舍ノ日ヨ

リ退舍ノ前日迄一日參錢ノ割合ヲ以テ寄宿料ヲ徴收ス

此ノ寄宿料ハ本校ニ歸着ノ日ヨリ五日以内ニ納付スヘシ

第十條 一旦納付シタル寄宿料ハ半途ニ退舍スルト雖モ之ヲ返付セス

第十一條 寄宿料ヲ定日ニ納付セサルモノアルトキハ本人ニ催告シ尙納付ヲ怠ルトキハ本校學則第三章第二十二條ニ準シ處分ス

第十 非常手配規程

第一條 本校失火若クハ近火等事變ノ節ハ守衛又ハ小使其ノ他之ヲ知リタル者ヨリ執務時間内ハ庶務課、會計課及ヒ學生課ニ其ノ他ハ當直員ニ急報スヘシ

第二條 庶務課、會計課、學生課及ヒ當直員ニ於テ前條ノ報ニ接シタルトキハ直ニ手後レナキ様相當ノ手配ヲ爲シ特ニ 御眞影並 勅語謄本ノ保安ニ留意スヘシ但シ當直員ニ在リテハ同時ニ急使ヲ以テ學校長、課長、主事及ヒ學生課員ニ報知スヘシ

第三條 事變ノ節多人數ノ手配ヲ要スト認ムル場合ニ於テハ前條職員ハ守衛補ヲシテ火災ハ火災號音ヲ其ノ他ノ事變ハ集合ノ號音ヲ吹奏セシムヘシ

第四條 前條信號ヲ報シタルトキハ職員以下諸備人ニ至ル迄各自常詰所ニ在リテ上官ノ指揮ヲ受クヘシ

學生ハ寄宿舎立關前庭ニ南北四列横隊ニ集合シ學生課員ノ指揮ヲ受クヘシ
但シ寄宿舎失火ノ際ハ學生課員ニ於テ臨機ノ處置ヲ爲スヘシ

第五條 非常手配ヲ分チテ左ノ三掛トシ非常事變ノ節夫々分掌ノ手配ニ從事スルモノトス

一 警 戒 掛

二 防 火 掛

三 運 搬 掛

第六條 警戒掛ノ分掌ヲ定ムルコト大要左ノ如シ

一 表裏門共直ニ之ヲ閉鎖ス出入者アルトキハ小脇門ヲ開閉スヘシ

二 一名宛各門ノ内側ニ立チ嚴重ニ出入ヲ監視シ本校其ノ他官衙ノ職員及ヒ警官消防夫並本校諸備人若クハ出入ノ諸商人職工等ノ外ハ通門ヲ禁示スヘシ

三 始終校内ヲ巡邏シテ盜賊等ヲ戒ムヘシ

四 表立關ニ見張シテ出入ヲ監視シ且ツ駆付人氏名等ヲ書留置クヘシ

五 校内ヲ巡邏シ窓ノ外戸ヲ閉チ風孔ヲ塞キ倉庫ハ目塗ノ用意ヲ爲シ物品運搬濟ノ上又ハ運搬ヲ待タス直ニ入口非常戸ヲ締切ル等適宜ノ手配ヲ爲スヘシ

六 夜中ニ在リテハ當直員ノ指揮ヲ受ケ表門及ヒ立關等ニ高張提灯ヲ點シ其ノ他要所ニ點燈

シ又各所入口開扉ノ用意ヲ爲スヘシ

七 暖爐點燈其ノ他一般火氣ノ存スル所ニハ特ニ警戒ヲ加ヘ其ノ必要ト認メタルモノノ外ハ

總テ消滅スヘシ

第七條 防火掛ノ分掌ヲ定ムルコト大要左ノ如シ

一 校内失火ノ節ハ直ニ備付ノ唧筒及ヒ消火器ヲ使用シ専ラ消防ヲ爲スヘシ

二 近火ノ節ハ適宜ノ場所ニ唧筒ヲ引キ出シ防禦ノ用意ヲナシ若シ延燒ノ虞アルトキハ水ヲ建物ニ注キ充分ノ豫防ヲ爲スヘシ

第八條 運搬掛ノ分掌ヲ定ムルコト大要左ノ如シ

一 校内失火シテ消止メ難キカ或ハ近火ニシテ延燒ノ虞ヲリト認ムルトキハ書類圖書其ノ他ノ物品ヲ安全ノ場所ニ運搬スヘシ

二 物品ヲ運搬スルニハ火元最寄ノ個所ヨリ始メ且ツ貴重品及ヒ書類ヨリ先ニシ次ニ圖書其ノ他一般ノ物品ニ及フヘシ

三 物品ヲ運搬スルニハ先以テ倉庫ニ入ルルハ勿論ナリト雖倉庫ニ入ルルヲ得サルトキハ延燒ノ虞ナキ場所ニ運フヘシ但シ河レモ監視者ヲ附シテ嚴重ニ取締ヲ爲スヘシ

第九條 校内教室附近ニ於テ失火シタル場合ニハ庶務課、會計課、學生課其ノ他當直員ニ於テ先ツ

御眞影並 勅語謄本ヲ構内安全ノ場所ニ奉遷警護シ上官ノ指揮ヲ俟ツヘシ

第十條 非常手配掛員ハ別ニ指定ス但シ掛員駐付ケサル間ハ在校者ニ於テ上官ノ指揮ヲ受ケ夫々手配ニ從事ヌヘシ

第十一條 左ノ非常用具ハ各掛員ニ於テ夫々整頓シ唧筒消火器其ノ他ハ時々之ヲ使用シテ其ノ具合ヲ試ミ常ニ支障ナカラシメムコトヲ要ス

- (一) 唧筒
- (二) 消火器
- (三) 消火栓用筒先及ホース
- (四) 立蕃桶
- (五) ツツク水桶
- (六) 梯子
- (七) 又
- (八) 齋口
- (九) 斧
- (十) 鋸
- (十一) 金杆
- (十二) 扞

第十二條 倉庫ノ入口及ヒ窓ノ非常戸等ハ掛員ニ於テ時々閉鎖ヲ試ミテ其ノ完備ヲ計リ目塗用土ハ

常ニ所定ノ場所ニ整頓シ臨時使用ニ差支ナキ様注意スヘシ

第十三條 隔月一回寄宿舎學生ヲシテ唧筒使用ノ演習ヲ爲サシムヘシ但シ本文演習ノ外第三條ノ信

號ヲ報シ臨時ニ演習セシムルコトアルヘシ

第十四條 事變ノ際ニ於ケル寄宿舎學生ノ部署ヲ定ムルコト左ノ如シ但學生課員ヲ以テ各其ノ指揮者トス

- 一 警戒手配
 - 寄宿舎南寮 (若干人)
 - 寄宿舎北寮 (同)
 - 教舎 (同)
 - 講堂及ヒ圖書閱覽室 (同)
- 二 防火手配
 - 唧筒掛長 (若干人)
 - 同筒先 (同)
 - 同運轉手並運搬手 (同)
- 三 運搬手配
 - 第一組 (若干人内一人ハ搬出品監視)
 - 第二組 (同)
 - 第三組 (同)

第四組 (同)

第十五條 前條各手配員ノ配當ハ毎年九月學生課ニ於テ之ヲ定ム但シ臨時變更スルコトアルヘシ

第十一 獎勵金

玉利農學博士獎學資金

右ハ大正五年拾貳月玉利農學博士還曆祝賀記念ノ爲メ有志者ニ於テ釀集シ帝國政府四分利公債證券額面參千五百圓ヲ寄附セルモノニシテ其ノ利子ヲ以テ學術研究及獎勵ノ費途ニ充ツベキモノトス

農藝化學研究獎學資金

右ハ合名會社鹿兒島化學研究所代表社員宮原稻若ヨリ大正六年十一月金六百圓、大正七年四月金四百圓全年十月金四百圓ヲ寄附セシモノニシテ農藝化學研究費ニ充ツベキモノトス
恒藤農學博士獎學資金

右ハ農學博士恒藤規隆ヨリ金貳千五百圓ヲ寄附シ大正七、八、九、十、十一年ノ五年度ニ涉リ毎年金五百圓ヲ分納スルモノニシテ甲種農學校出身ノ本校學生中學術優等品行方正ナル者ノ貸費ニ充ツヘキモノトス

第十二 玉利農學博士獎學資金給與規程

第一條 玉利農學博士獎學資金ヨリ生スル利子ハ本校在學生中學術優良、實習並演習勵精、心身鍛鍊精進ヲ怠ラサル者等青年學生ノ模範ト爲スニ足ル者ヲ獎勵スル爲メノ費途ニ充ツルモノトス

第二條 獎勵金ノ給與ヲ受クベキ者ノ選定ハ教官會議ニ於テ決定スルモノトス

第三條 獎勵金ハ左ノ標準ニ依リ毎年各等通シテ二十人以内トス

- 甲號 貳拾圓 以內 學術優良實習並演習勵精心身鍛鍊ヲ勉ムル者
- 乙號 拾圓 以內 同上ニ準スベキ者
- 丙號 五圓 以內 同上ノ一部ニ勵精ナル者
- 特別賞 參圓 以內 特待生ニ交付スル者

第十三 學校醫職務規程

第一條 本校ニ學校醫二人ヲ置キ一人ヲ顧問醫ト爲シ一人ヲ治療醫ト爲ス

第二條 顧問醫ノ職務ハ左ノ如シ

- 一 學校衛生及ヒ醫務上ニ關シ學校長ノ顧問タルコト
- 二 學生及ヒ入學試驗受験者ノ身體検査ニ關スルコト

第三條 治療醫ノ職務ハ左ノ如シ

- 一 學生ノ疾病治療ニ關スルコト

- 二 學生及ヒ入學試驗受験者ノ身體検査ニ關スルコト
- 三 寄宿舎ノ衛生ニ關スルコト

第四條 顧問醫ハ學生ノ疾病ニ付治療醫ノ請求アル場合ニハ立會診察シ共ニ治療ニ從事シ若シ病院ニ於テ治療スルノ必要アル場合ニハ入院其ノ他ニ關シ便宜ヲ與フヘシ

第五條 顧問醫ハ毎月一回以上登校シ一般衛生ニ關スル視察ヲ遂ケ意見ヲ學校長ニ具申スヘシ

第六條 治療醫ハ毎日午前ニ登校シ學生ノ疾病ニ罹レルモノヲ診察シ及ヒ寄宿舎ノ衛生ニ關スル視察ヲ爲スコト

學生ノ疾病ニ罹レル者ニシテ重患者ト認メタル時ハ顧問醫ニ立會ヲ求メ共ニ診察治療スヘシ

第七條 學校醫ニ於テ學生ノ疾病ニ罹レル者ヲ診察治療スルニハ校内診察室ニ於テシ病症ノ如何ニ依リ左ノ如ク取扱フヘシ

- 一 輕症ナル者ハ自己ノ室内ニ在リテ靜養セシムルコト
- 二 稍々重症ナル者又ハ傳染病ノ疑アル者ハ校内ノ病室ニ入り靜養セシムルコト
- 三 重症者ノ及ヒ傳染病患者ハ最寄病院ニ入ラシメ又ハ便宜ノ方法ヲトルコト
- 四 治療上ニ要スル藥品及ビ其ノ他ノ用品ハ治療醫ニ於テ供給シ相當代價ヲ患者ヨリ徴收スヘシ

第八條 學校醫ハ臨時ニ起リタル衛生上ノ事件又ハ學生ノ急病ニ關シ學校長又ハ學生監ノ通知アリタル場合ニハ直ニ登校シ相當處理スヘシ

第九條 學校醫ニ於テ學生及ヒ入學試驗受験者ノ身體検査ヲ爲スニハ明治三十三年文部省令第四號學生生徒身體検査規程ニ依リ身體検査表ヲ調製スヘシ

第十條 學校醫登校シタルトキハ視察ノ要項及ヒ學生疾病ノ概況ヲ日誌ニ記入スヘシ

第十四 見習生規程

第一條 本校ニ見習生若干ヲ置ク

第二條 見習生ハ農業蠶業若クハ林業ヲ實習スルモノトス

第三條 農業ヲ修メムトスルモノハ農場ニ於テ蠶業ヲ修メムトスルモノハ養蠶室若クハ桑園ニ於テ林業ヲ修メムトスルモノハ實習地若クハ演習林ニ於テ執業スルモノトス

第四條 見習生タラムト欲スルモノハ乙種農業學校卒業程度以上ニシテ年齡滿十七歲以上品行方正身體健全實地ノ勞働ニ堪ユル者ニ限ル

第五條 見習生ノ實習年限ハ各貳箇年トス

第六條 見習生タラムト欲スル者ハ書式ノ願書ニ履歷書ヲ添ヘ差出スヘシ

第七條 授業料ハ徴收セス

- 第八條 自宅ヨリ通學スル者ノ外ハ見習詰所ニ宿泊セシム
- 第九條 見習生ハ農場又ハ養蠶室ニ於テ宿直ヲ命スルコトアルヘシ
- 第十條 實習ノ爲メ使用スル材料ハ場合ニ依リ自辨セシムルコトアルヘシ
- 第十一條 執業中ハ總テ掛員ノ指揮ニ從フヘシ
- 第十二條 疾病其ノ他ノ事故アリテ執業スル能ハサルトキハ始業時刻迄ニ其ノ旨掛員ニ届出ツヘシ
- 第十三條 怠惰ニシテ上達ノ見込ナキ者品行不良ノ者又ハ屢關業スル者ハ之ヲ除名ス
- 第十四條 實習年限満期ニ至リ成績適當ト認ムル者ニハ證明書ヲ與フ但シ實習年限内ト雖其ノ成績優良ノ者ニハ特ニ證明書ヲ與フルコトアルヘシ

書式

見習生志願者

私儀〔農業 蠶業 林業〕見習生志願ニ付御許可相成度御採用ノ上ハ御規則堅ク遵守可致別紙履歷書相添ヘ此段相願候也

年月日

現住所

本籍（戸主ニアラサレハ何某男或ハ弟等）

何 某 印

生 年 月 日

鹿兒島高等農林學校長 氏 名殿

證明書書式

證 明 書

道府縣族籍

何 某

生 年 月 日

右者本校見習生規程ニ依リ〔農業 蠶業 林業〕ヲ修業シタル者ナルコトヲ證ス

年 月 日

鹿兒島高等農林學校長 氏 名 印

○ 出 版 物

學 術 報 告 第 壹 號

一植物體中有機鹽基特ニ「ペタイン」・「ブリン塩基」及ビ「コリン」ノ分布ニ就テ……………教授 農學博士 吉 村 清 尙

一 乾鱈ノ窒素化合物ニ就テ……………教授 農學博士 吉村清尙

一 鱈煎汁中ノ窒素化合物ニ就テ……………助教授 農學得業士 金井眞澄

一 鱈鱈中有機鹽基ノ存在ニ就テ……………教授 農學博士 吉村清尙

一 青椿象ノ突素化合物ニ就テ……………助教授 農學得業士 金井眞澄

一 椎茸ノ成分ニ就テ……………教授 農學博士 吉村清尙

一 合成「ペタイン」ニ就テ……………助教授 農學得業士 金井眞澄

一 薯蕷ノ窒素化合物ニ就テ……………教授 農學博士 吉村清尙

一 吐喝喇群島殊ニ中之鳥及寶島ノ植物ニ就テ……………教授 農學博士 吉村清尙

一 Phragmidium 屬ノ一新種ニ就テ(豫報)……………教授 農學博士 河越重紀

學術報告 第貳號

一 食用植物ノ化學的研究(第一報)……………教授 農學博士 吉村清尙

一 食用植物ノ化學的研究(第二報)……………教授 農學博士 吉村清尙

一 食用植物ノ化學的研究(第三報)……………教授 農學博士 吉村清尙

一 鳥賊 Phosphatides ニ就テ……………教授 農學士 竹内徳三郎

一 降水中所含窒素化合物ノ側定成績……………農學得業士 足立彌八

一 尿中ノ窒素化合物ニ就テ……………農學得業士 福谷君眞

一 小麥麩及ヒ大豆ノ加水分解ニ就テ……………農學得業士 足立彌八

一 本校演習林ニ於ケル雲霧結量ノ一觀測……………教授 農學士 淵野旭子

一 種子島牧場植物誌……………助教授 農學得業士 岡積眞人

一 種子島牧場植物誌……………農學得業士 内藤

一 鹿兒島縣下ニ於ケル蝶類ノ分布ニ就テ……………農學得業士 岩田收二

學術報告 第參號

一食用植物ノ化學的研究(第四報)..... 教授 農學博士 吉村清尚

一ゲンノショウコ(牝牛兒苗)ノ成分ニ就テ..... 教授 農學博士 吉村清尚

一殘滓ヨリ燐ウオルフラム酸ノ回收ニ就テ..... 助教 農學得業士 足立彌八

一煙草莖ノ利用ニ關スル研究(第一報)..... 教授 農學博士 吉村清尚

一蘇鐵ノ成分ニ就テ(第一報)..... 教授 農學博士 福谷君貞

一ウレアーゼ及び其應用ニ關スル研究..... 教授 農學士 竹内德三郎

一ヌルデノ種實中ニ存スル鹹味物質ニ就テ..... 教授 農學士 淵野旭子

一櫻島噴出物礫砂礫ニ就テ..... 農學得業士 福谷君貞

一占領南洋諸島產植物考察..... 教授 農學士 河越重紀

一薏苡仁ノ成分ニ就テ..... 教授 農學博士 吉村清尚

學術報告 第四號

一橙果ノ利用ニ關スル研究..... 教授 農學博士 吉村清尚

一蘇鐵ノ成分ニ就テ(第二報)..... 教授 農學博士 吉村清尚

一蘇鐵ノ成分ニ就テ(第三報)..... 教授 農學博士 吉村清尚

一カラスウリ(王瓜)ノ成分ニ就テ..... 教授 農學博士 吉村清尚

一胡麻ノ成分ニ就テ..... 教授 農學博士 吉村清尚

一棟實ノ利用ニ關スル研究..... 教授 農學博士 吉村清尚

一農學得業士 古賀藤次郎

一農學得業士 伊豆直吉

一山岳ニ於ケル森林ガ水源ヲ涵養スル作用ヲ論ズ..... 教授 農學士 淵野旭子

○敷地、建物及農林實習場

本校ノ敷地ハ鹿兒島縣鹿兒島市上荒田町及鹿兒島縣鹿兒島郡中郡宇村ニ跨リ其實測面積八萬九千三百十坪七合五勺ニシテ之レニ建設セル建物ノ總坪數ハ貳千四百八坪七合二才ナリ又本校所屬果樹園ハ鹿兒島縣鹿兒島郡中郡宇村及西武田村ニ跨リアルモノ其面積四町八反八畝二十三歩ナリ演習林ハ

鹿兒島縣肝屬郡牛根及同郡垂水村ニ跨リアルモノ其ノ實測面積參千五百町貳反壹畝壹步ニシテ建物ノ總坪數ハ百拾七坪七合五勺ナリ農林實習場ハ同郡佐多村ニアルモノ其實測面積參百拾六町四反八畝貳拾壹步ナリ又牧場ハ鹿兒島縣熊毛郡北種子村西之表ニアリテ其實測面積ハ四百貳拾八町七反八畝二十八步ニシテ建物ノ總坪數ハ貳百四拾貳坪貳合五勺ナリ尙植物試驗地ハ鹿兒島縣掛宿郡指宿村ニアリテ其面積壹町六反三步ニシテ建物ノ坪數ハ六十坪五合ナリ

職員

(大正十年一月二十日現在)

校長

農學博士農學士 玉利喜造 鹿兒島

教授

英語、作物學

農學科主事、農場主事
別科主事

農學士 重松達一郎 愛媛

造林及森林保護學 林産製造學、狩獵、英語

學生課長 林學士 淵野旭子 大分

肥料學、農産製造學、食品化學、肥料製造及鑑定

教務課長 農學博士農學士 吉村清尙 福岡

生理化學、分析化學、化學實驗

陸軍砲兵中尉 農學士 岡島銀次 福岡

動物及昆蟲學、養蠶學、動物實驗、細菌學、細菌實驗

理學士 伊豆直吉 福岡

物理學及氣象學、物理實驗

陸軍歩兵軍曹

森林數學、森林經理學、森林數學實習

林學實習場主事

化學、分析化學、生理化學、化學實驗

植物園主事

植物學、植物病理學、森林植物學

陸軍歩兵中尉

及樹病學、植物學實驗

林學科主事

森林法律及森林管理學、林政學、獨逸語

農學士 川島明八 巖手

外學留學

農學士 谷口熊之助 愛媛

農業經濟及農政、農學總論、植民政策

農學士 小出滿二 兵庫

畜産學、農學

農學士 米山豐 靜岡

法律及經濟學、財政學、行政大意

農學士 横山三穂 山口

園藝學、農業工學、熱帯農學

農學士 草野嶽男 鹿兒島

修身、教育學、英語、獨逸語

農學士 黒木重也 鹿兒島

養蠶學、蠶體解剖及蠶體生理、養蠶實驗、

農學士 岩崎行高 東京

蠶體解剖及蠶體生理實驗

農學士 關口吉次郎 群馬

裁草論學

農學士 安齋眞宮 城

農場實習(園藝)

農學別科主任

農場實習(作物)

農學得業士

養蠶實驗及動物實驗

農學得業士

農學得業士

農學得業士

農學得業士

農學得業士

農學得業士

農學得業士

土木及治水學、土木實習、造林實習

養蠶學、細菌實驗

礦物及地質學、地質及土壤學

農場實習(園藝)

農場實習(作物)

講師 (就職順)

地質及土壤學、肥料學

英語

植民政策

測量學、森林測量學、林學、測量實習

化學、分析化學、化學實驗

機械工學

森林土木學

獨逸語

體操

林學別科主任 林學得業士

農學得業士

農學得業士

農學得業士

農學得業士

農學博士 農學士

マスターオブアーツ

林學得業士

農學士

熊本高等工業學校教授

山林技師

陸軍歩兵少佐

一一一

野口盛夫 福岡

田尻矩次郎 福岡

西田孝太郎 福岡

光保正信 廣島

伊藤耕太郎 福岡

恒藤規隆 東京

星野賀七郎 鹿兒島

松岡正男 青森

西力造 島根

三須英雄 山口

大脇策市 大分

磯崎恒男 德島

谷山國隆 鹿兒島

弓削滿二 鹿兒島

陸軍歩兵中尉

勝龍太郎 鹿兒島

木脇寅熊 鹿兒島

佐々木正宜 茨城

松岡萬次郎 熊本

廣川知思 新潟

淵野旭子 前出

岡島銀次 前出

井口虎次郎 鹿兒島

新穂新吉 鹿兒島

木原眞男 大分

川越全平 宮崎

濱田政芳 鹿兒島

西村利明 鹿兒島

一一三

體操

養蠶實習、製造實習、桑園實習、蠶具實習、農村實習

擊劍

柔道

生徒監

書記

會計課長 主任收入官吏、物品會計官吏
歳入歳出外納官吏

庶務課長兼教務課

會計課

教務課兼庶務課

會計課兼圖書館

雇員

高隈演習林

指宿植物試驗場
 會計課
 庶務課兼教務課
 農場
 會計課
 會計課
 園藝學教室
 種子島牧場
 圖書館
 寄宿舍兼教務課庶務課
 會計課
 農場
 養蠶教室
 林學教室
 圖書館

一二四
 岩切捨之 鹿兒島
 川口健男 鹿兒島
 新納生夫 鹿兒島
 村山藤八郎 鹿兒島
 今村四郎 鹿兒島
 川崎弘道 鹿兒島
 白濱重寛 鹿兒島
 植村榮 鹿兒島
 有村矢太郎 鹿兒島
 吉村吉次 鹿兒島
 長山登 鹿兒島
 二川政吉 鹿兒島
 橋原茂樹 鹿兒島
 妹尾兼輝 鹿兒島
 東幸平 鹿兒島

化學教室
 養蠶學教室
 化學教室
 化學教室

學校醫
 囑託

醫學士
 植村政治 鹿兒島
 吉村直 鹿兒島
 村田豐作 佐賀
 衛藤克己 大分
 陳方濟 中國
 橋口武彦 鹿兒島

○學生

(大正十年一月二十日現在)

第一學年氏名
 本科
 農學科 第三學年
 第一部

(◎ハ特待生)

◎渡邊文巍 中、福岡

富永三郎 中、長崎

武藏政雄 中、熊本

大和武七 中、福岡

猪俣實 中、宮崎

木多要 農、長崎

上田信行 中、鹿兒島

下川泰資 中、福岡

上村格次 中、福岡

佐藤忠之助 中、山形

立山糸生 中、宮崎

平林文雄 中、宮崎

黑岩秀雄 中、鹿兒島

第二部

◎元村純二郎 農、長崎

◎藤本信義 農、熊本

瀧口義資 農、福岡

田中英大郎 中、鹿兒島

足利義名 中、廣島

江崎喜與治 農、福岡

原尻誓之 中、福岡

中村清次 中、佐賀

石原元章 中、熊本

花田好定 中、山口

長野祐隆 中、鹿兒島

增崎治 中、福岡

本多智五郎 中、長崎

泉清 農、宮崎

勝田常芳 中、鹿兒島

佐藤一男 中、長野

村田吉熊 中、鹿兒島

朝岡清吉 農、愛知

第三部

堀浩 中、福岡

衣笠修六 農、兵庫

平峰元治 中、鹿兒島

安田貞雄 中、京都

農學科 第二學年

第一部

橋口辰吉 農、宮崎

佐伯納 中、福岡

神野岐利 師、鹿兒島

星野辰次郎 中、福岡

矢船良雄 農、和歌山

眞鍋半兵衛 農、愛媛

末田實彦 農、鹿兒島

兒玉覺 中、鹿兒島

佐々木網紀 中、鹿兒島

丸林讓一 農、廣島

本橋正太郎 農、東京

久保惠 農、鹿兒島

岸敏彦 農、廣島

石崎政次 中、福岡

山下 實 中、鹿兒島
 有馬 正純 中、鹿兒島
 岸本 哲雄 中、大阪
 中村 三八夫 中、山口
 小川 廣作 農、長崎
 阿部 敏郎 中、福岡
 有里 榮 中、鹿兒島
 竹迫 橘彌 中、鹿兒島
 本田 輝政 檢、愛媛

第二部

井之上 深 中、鹿兒島
 前田 淺三 中、鹿兒島
 黑田 健次郎 中、佐賀
 大庭 秀景 中、山口
 箱崎 喜春 中、愛媛
 難波 薰 中、鹿兒島
 内山 堯 中、長崎
 藤井 七郎 中、山口

◎馬場 勝 中、大阪

幡鎌 芳三郎 農、靜岡
 武田 貞三 中、大阪
 稻田 繁夫 中、熊本

第三部

石田 政吉 中、鹿兒島
 中村 威 中、熊本
 宮本 邦彦 中、長野

農學科 第一學年

岩下 等 中、宮崎
 山本 圓治 中、福岡
 竹内 恭介 中、廣島
 谷村 俊助 中、兵庫
 鹿島 猛 農、鹿兒島
 大前 恒二 中、德島
 川瀬 重雅 中、宮崎
 青山 平一郎 農、愛知
 西 信 孝 中、鹿兒島
 德久 佑 農、佐賀

平井 稔 農、愛媛
 山田 濟 中、熊本

恒吉 義雄 中、鹿兒島
 福岡 弘吉 中、福岡
 入江 信雄 中、福岡
 仁禮 貞良 中、鹿兒島
 宮崎 瑳二郎 農、佐賀
 大寺 穆 中、鹿兒島
 田村 信雄 中、福岡
 佐伯 等 中、福岡
 丁 圭一 農、宮崎
 松永 松之助 中、佐賀

篠崎 勳 中、福岡
 井浦康二郎 中、福岡
 中原直治 中、長野
 松下初重 農、愛知
 黒木福松 農、宮崎
 惠藤唯實 農、福岡
 田中勝之助 中、島根
 永友繁雄 農、宮崎
 大塚 護 中、熊本
 山北又三郎 農、三重
 中西一郎 中、熊本

林學科 第三學年

◎重松義則 農、愛媛

高須 力 中、鹿兒島
 有馬直矢 中、鹿兒島

高木義浩 中、福岡
 宇野勝正 中、大分
 小野隆一 中、岡山
 岡本善久 農、島根
 平古場多四郎 農、長野
 杉山正榮 中、熊本
 脇岡重徳 中、鹿兒島
 飯沼廉策 中、岐阜
 廣瀬恒久 中、熊本
 永山將忠 中、鹿兒島
 桐原正一 中、鹿兒島
 麻生 誠 中、大分
 石場秀道 中、福岡

湊川重春 中、鹿兒島
 能勢 泉 中、高知
 入部俊夫 農、鹿兒島
 中山一二 中、熊本
 有村常清 中、鹿兒島
 堺 勝馬 中、福岡
 福田 貢 中、福岡
 竹下福一 農、愛知
 郷田恕介 中、鹿兒島
 合屋正孝 中、大分
 高橋重吏 中、京都
 副島善二 中、佐賀
 鶴田 亮 中、佐賀

林學科 第二學年

◎宮崎周郁 中、山形

大國三郎 中、兵庫
 高須 新 中、愛知
 小林平藏 中、福岡
 八木久左衛門 中、長崎
 中村正美 中、大分
 宮竹 透 中、鹿兒島
 野村 徹 農、愛媛
 中村甚之助 農、京都
 廣瀬一範 農、大分
 藤原直喜 中、大分
 山崎家徳 中、熊本
 福島利武 中、鹿兒島

今村真郷 農、長野

柴山 榮 中、大分
 黒井雄三 農、岐阜
 彌富秀次郎 中、熊本
 荒川五郎 農、宮城
 川上忠光 中、鹿兒島
 古園萬吉 中、鹿兒島
 蝶野勝四郎 農、愛媛
 田中賢治 農、山梨
 川又憲治 農、新潟
 首藤武農 大分
 宮村倉藏 農、新潟
 内野榮藏 中、鹿兒島
 大田虎雄 中、鹿兒島
 本間貞三 中、新潟
 田丸三吾 中、福岡

物部 清 中、愛知
 森川均一 農、三重
 砂野 仁 中、京都
 高木喜藏 農、大分
 堀 徹 平 農、新潟
 平田滿穂 農、三重
 永松 豊 中、福岡
 日高史郎 中、宮崎
 原田盛重 中、福岡
 松田 操 中、鹿兒島
 田島文雄 農、大分
 河野醇一 中、大分
 兒玉 直 農、大分
 川畑清憲 中、鹿兒島
 廣瀬康三郎 農、岐阜

林學科 第一學年

猪俣 尙 中、宮崎
 羽月喜助 中、鹿兒島
 八木卓志 中、鹿兒島
 大坪龜太郎 中、鹿兒島
 江草紀一 中、廣島
 山本信一 中、和歌山
 平塚 弘 中、大分
 八瀬尾武義 中、鹿兒島
 鬼塚 林 中、鹿兒島
 山田正夫 中、靜岡
 牧山義郎 中、東京
 荒川 潔 農、宮崎
 竹市 貢 中、熊本
 猿渡 茂 中、福岡

和田 巖 中、鹿兒島
 川添正雪 中、鹿兒島
 武田 全 中、鹿兒島
 長井常強 中、鹿兒島
 和田常次郎 山、岐阜
 宮崎 榊 中、高知
 村田一男 中、佐賀
 宮原秀夫 中、鹿兒島
 帖佐富徳 中、鹿兒島
 藤園 丸 中、鹿兒島
 江島義光 農、熊本
 吉田錦彌 中、慶知
 黒田常三郎 中、兵庫

山田 保農、鳥取
崎田 善七、農、佐賀
中村 武久、中、東京
河島 雅剛、中、鳥取

甲斐 正行、農、宮崎
中村 昇、農、新潟
權藤 良彦、中、福岡

養蠶學科 第一學年

永田 茂、中、鹿兒島
木尾 包義、中、鹿兒島
古川 正己、中、佐賀
小野 二郎、農、鹿兒島
佐川 爲義、農、宮崎
江藤 烈義、中、大分
渡邊 靜雄、中、宮崎

增山 節、中、鹿兒島
草場 九、中、福岡
田代 虎雄、中、熊本
新川 善助、中、沖繩
國府 榮藏、農、宮崎
去川 衍、中、宮崎

選科生

農學科

大正七年入學

湯 錫 福 中華民國江蘇省

朱 鳳 美 中華民國江蘇省

林學科

大正七年入學

張 福 仁 中華民國浙江省

農學科

大正八年入學

戶越 佐太郎 鹿兒島

農學科

大正九年入學

党 庠 周 中華民國奉天省

林學科

大正九年入學

久米 彌吉 愛媛

農學別科生

井田 末喜 甲、熊本

石川 昇 一、乙、愛知

今泉國雄 乙、福岡
 西小野重德 甲、鹿兒島
 千代島廣次 實補、福岡
 川島藤市 乙、福岡
 山口長至 甲、鹿兒島
 松岡傳 甲、鹿兒島
 新井福太郎 甲、群馬
 北村源助 農補、熊本
 宮田照 實補、鹿兒島
 長谷部唯丸 中、大分
 額田寛夫 甲、岡山
 中野善岐 甲、鹿兒島
 黑田茂作 乙、宮崎
 森田義徳 乙、福岡

稻留純清 甲、鹿兒島
 西俣秀彦 中修、鹿兒島
 神川義彦 甲修、鹿兒島
 永井金吾 甲、熊本
 山之内種光 甲、鹿兒島
 天達平 甲、鹿兒島
 有滿秀彦 實補、鹿兒島
 湯地平治 甲、宮崎
 日高靖吾 乙、鹿兒島
 花田主計 乙、福岡
 中原篤志 甲、鹿兒島
 中野一徳 甲、熊本
 山下高男 甲、鹿兒島

第二 在學學生年齡 (大正九年十月調)

類	別	年			平均
		最	高	低	
農學科	第一年	二十四年十箇月	十七年八箇月	十九年十一箇月	
	第二年	二十六年八箇月	十八年八箇月	二十年十一箇月	
	第三年	二十五年八箇月	十九年九箇月	二十二年三箇月	
林學科	第一年	二十二年十箇月	十七年十一箇月	二十一年十箇月	
	第二年	二十五年二箇月	十八年八箇月	二十一年五箇月	
	第三年	二十六年六箇月	二十年一箇月	二十二年八箇月	
養蠶學科	第一年	二十二年九箇月	十七年八箇月	十九年七箇月	

備考 本表ノ平均ハ最高最低ノ平均ニアラスシテ全生徒ノ平均年齢ナリ

第三 在學學生府縣別 (大正九年六月調)

道廳府縣	農學科	林學科	養蠶學科	計
東京府	一	二	一	三
京都府	一	三	一	四

廣島縣	山口縣	和歌山縣	鳥取縣	島根縣	德島縣	愛媛縣	高知縣	福岡縣	大分縣	佐賀縣	熊本縣	宮崎縣
四	五	一	一	二	一	四	一	二	一	五	〇	〇
二	一	一	二	一	一	四	二	九	三	四	五	四
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	四
六	五	二	二	二	一	八	二	三	四	〇	六	八

大阪府	兵庫縣	長崎縣	新潟縣	三重縣	愛知縣	靜岡縣	山梨縣	岐阜縣	長野縣	宮城縣	山形縣	岡山縣
三	二	七	一	一	三	一	一	二	三	一	一	二
一	二	一	五	二	四	一	一	三	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三	四	八	五	三	七	二	一	五	四	一	二	二

鹿兒島縣	二六	二七	四	五九
沖總縣	一	一	一	一
總計	二七	二九	三	六四

第四 入學志願者出身學校種別 (第十二回募集ノ分)

類別	入學志願者出身學校種別			
	官公立中學校卒業者	私立中學校卒業者	公立農業學校卒業者	總計
入學志願者	一〇六	二八	二六	一六〇
入學志願者	二五	二二	二六	七三
入學志願者	二六	一一	二二	五九
入學志願者	二五	二二	二六	七三
總計	一六〇	七三	五九	二九二

第五 學生募集人員入學志願者及卒業者學科別 (大正九年九月調)

類別	學生募集人員			
	第一學年	第二學年	第三學年	總計
現	二五	二九	二五	七九
本學年入學志願者	二五	二九	二五	七九
入學者	二五	二九	二五	七九
卒業者	二五	二九	二五	七九

類別	入學志願者			
	農學科	林學科	養蠶學科	總計
入學志願者	二〇	〇	三	二三
入學志願者	一四	三	一	一八
入學志願者	一四	三	一	一八
入學志願者	一四	三	一	一八
總計	二〇	〇	三	二三

第六 入學試驗受験者ニ對スル合格者百分比例 (第十二回募集ノ分)

類別	入學試驗受験者數			
	農學科	林學科	養蠶學科	總計
農學科	二〇	〇	三	二三
林學科	一四	三	一	一八
養蠶學科	一四	三	一	一八
總計	二〇	〇	三	二三

第七 入學志願者、入學者府縣別 (第十二回募集ノ分)

類別	入學志願者			
	農學科	林學科	養蠶學科	總計
入學志願者	二〇	〇	三	二三
入學者	一四	三	一	一八
入學者	一四	三	一	一八
入學者	一四	三	一	一八
總計	二〇	〇	三	二三

廣	岐	岡	鳥	朽	宮	和	山	石	長	奈	滋	山
島	阜	山	取	木	城	歌	形	川	野	良	賀	梨
縣	縣	縣	縣	縣	縣	山	縣	縣	縣	縣	縣	縣
四	四	二	三	二	二	一	二	二	二	二	一	一
一	三	一	三	一	一	二	一	一	二	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五	八	二	六	二	三	三	二	二	四	三	二	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

靜	富	福	茨	神	愛	三	新	長	兵	大	京	東
岡	山	井	城	奈	知	重	瀉	崎	庫	阪	都	京
縣	縣	縣	縣	川	縣	縣	縣	縣	縣	府	府	府
四	一	一	四	二	七	二	八	五	五	四	一	一
二	一	二	一	一	六	一	二	一	三	一	三	五
一	一	一	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一
六	一	三	四	二	一	二	一	六	八	四	三	六
一	一	一	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

沖繩縣	鹿兒島縣	宮崎縣	熊本縣	佐賀縣	大分縣	福岡縣	高知縣	愛媛縣	香川縣	德島縣	山口縣	島根縣
一	二五	五	七	〇	三	二五	一	五	四	二	五	二
一	三	七	七	六	三	五	二	七	一	一	七	一
一	八	四	一	二	五	三	一	一	一	一	一	一
一	五	二	五	八	三	三	三	三	五	二	三	三
一	六	五	三	三	一	九	一	一	一	一	一	二
一	〇	二	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一
一	四	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	二〇	二	六	六	三	二	一	一	一	一	一	二

總計 一八五 二五 二九 三九 三八 二九 三三 八〇

第八 入學志願者出身學校別ノ一、中學校ノ部 (第十二回募集ノ分)

類別	入學志願者				入學者			
	農學科	林學科	養蠶學科	計	農學科	林學科	養蠶學科	計
廣島高等師範學校附屬中學校	一	一	一	一	一	一	一	一
東京府麻布中學校	一	一	一	一	一	一	一	一
東京府私立正則中學校	一	一	一	一	一	一	一	一
東京府私立海城中學校	一	一	一	一	一	一	一	一
東京府京北中學校	一	一	一	一	一	一	一	一
東京府私立郁文館中學校	一	一	一	一	一	一	一	一
京都府私立第二中學校	一	一	一	一	一	一	一	一
京都府私立立命館中學校	一	一	一	一	一	一	一	一
大阪府立富田林中學校	二	一	一	二	一	一	一	二
大阪府立堺中學校	一	一	一	一	一	一	一	一

愛知縣立第三中學校	愛知縣立第五中學校	愛知縣私立名古屋中學校	三重縣立富田中學校	福井縣立福井中學校	新潟縣立卷中學校	新潟縣立佐渡中學校	新潟縣立新發田中學校	新潟縣立村松中學校	新潟縣立三條中學校	宮城縣私立東北中學校	富山縣立魚津中學校	島根縣立濱田中學校
二	一	一	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一
一	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

愛知縣立第二中學校	愛知縣立第一中學校	靜岡縣立掛川中學校	靜岡縣立沼津中學校	神奈川縣立小田原中學校	福岡縣立安積中學校	茨城縣立下妻中學校	茨城縣立土浦中學校	長崎縣私立鎮西學院	長崎縣立大村中學校	長崎縣立島原中學校	大阪府私立桃山中學校	大阪府私立上宮中學校
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

熊本縣立八代中學校	三	一	一	一	五	一	一	二	一	二
熊本縣立玉名中學校	二	一	一	一	二	一	一	一	一	一
熊本縣立熊本中學校	一	二	一	一	二	一	一	一	一	一
熊本縣立天草中學校	二	一	一	一	二	一	一	一	一	一
熊本縣立中學濟々營	一	二	一	一	二	一	一	一	一	一
熊本縣立鹿本中學校	三	一	一	一	四	一	一	一	一	一
熊本縣私立九州學院	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
熊本縣私立鎮西中學校	一	一	一	一	二	一	一	一	一	一
宮崎縣立宮崎中學校	二	一	一	一	二	一	一	一	一	一
宮崎縣立都城中學校	四	一	三	一	七	一	一	一	一	一
鹿兒島縣立第一鹿兒島中學校	三	四	一	一	八	二	二	一	一	三
鹿兒島縣立第二鹿兒島中學校	八	三	二	一	三	二	二	一	一	五
鹿兒島縣立川內中學校	二	一	一	一	三	一	一	一	一	一

鹿兒島縣立加治木中學校	二	一	一	一	四	一	一	一	一	一
鹿兒島縣立川邊中學校	四	七	一	一	三	一	一	一	一	一
鹿兒島縣立志布志中學校	二	一	一	一	三	一	一	一	一	一
沖繩縣立第二中學校	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
臺灣總督府臺南中學校	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	二四	五	六	三	二八	三	九	五	五	一

第九 入學志願者出身學校別ノ二、農業學校ノ部 (第十二回募集ノ分)

類別	入學志願者計			農學科入學者計		
	農學科	林學科	養蠶學科	農學科	林學科	養蠶學科
東京府立農林學校	一	二	一	一	一	一
京都府立農林學校	一	一	一	一	一	一
大阪府立農學校	三	一	一	一	一	一
神奈川縣立農業學校	一	一	一	一	一	一
兵庫縣立農學校	一	一	一	一	一	一

長崎縣立農學校	新潟縣立加茂農林學校	愛知縣立農林學校	朽木縣下都賀郡立朽木農學校	宮城縣立農學校	山形縣立置賜農學校	愛知縣幡豆郡立農蠶學校	靜岡縣立中泉農學校	長野縣立木曾山林學校	長野縣立小縣蠶業學校	福井縣立農林學校	石川縣立農學校	岐阜縣立農林學校
四	一	二	二	一	一	一	三	一	一	一	二	二
一	二	三	一	一	一	一	一	二	一	二	一	一
一	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五	三	七	二	一	一	一	三	二	一	二	二	二
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

廣島縣立西條農學校	滋賀縣立長濱農學校	奈良縣立農林學校	三重縣立農林學校	德島縣立農業學校	鳥取縣立農學校	山口縣立農業學校	島根縣立農林學校	愛媛縣立西條農學校	愛媛縣宇摩郡立農林學校	愛媛縣立宇和農業學校	香川縣立農林學校	高知縣立農林學校
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

福岡縣立福岡農學校	四	一	一	五	一	一	一	一	一
大分縣立農學校	一	一	一	二	二	一	一	一	一
大分縣立農林學校	一	五	二	七	一	一	一	一	一
佐賀縣立佐賀農學校	八	一	一	九	一	一	一	一	一
熊本縣立熊本農業學校	二	一	一	二	一	一	一	一	一
熊本縣立阿蘇農業學校	一	二	一	二	一	一	一	一	一
宮崎縣立高鍋農學校	五	三	一	九	一	一	一	一	一
宮崎縣立宮崎農學校	三	四	一	七	一	一	一	一	一
島兒島縣立鹿屋農學校	四	一	一	六	一	一	一	一	一
鹿兒島縣立大島農學校	一	一	二	二	一	一	一	一	一
計	六二	三九	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二

○卒業生 (イロハ順)

▲研究科修了者

大正五年四月一日修了

死亡

農藝化學 農學得業士 足立彌八
 農業經濟及農政學 農學得業士 堀ノ口市藏

大正六年三月十六日修了

農藝化學 農學得業士 福谷君貞

△農學科第一回 二十六人

明治四十五年七月十一日卒業

福岡縣廳	今泉陸一 埼玉	宮崎縣廳	濱田 靜茨城
朝鮮大邱農業學校	原口良策 長崎	福井縣立農學校	(長谷部) 梅谷村 吉福井
沖繩縣廳	新田元隆 鹿兒島	朝鮮大正朝鮮殖産銀行支店	富山安義 鹿兒島
朝鮮全羅北道全州高等普通學校	川西信藏 奈良	農商務省農務局農産課	片山秀太郎 鳥取
奈良縣生駒郡農業學校	米田義一 奈良	愛媛縣喜多郡役所	高市忠良 愛媛
法隆寺分校	田村丈二 鳥取	三重縣立農事試驗場	田口武之助 埼玉
靜岡縣立藤枝農學校	長友繁雄 宮崎	臺灣臺中州	村上昌敬 熊本
新潟縣農事試驗場	浦野松治 富山	愛知縣渥美郡役所	植田二六 愛知
南洋三五公司			

自營
北海道札幌郡畜産試験場
北海道支場
東京丸ノ内
東亞煙草株式會社
東京市外目黒
農商務省林業試驗場
自營

矢野 規福岡
松田 喜六愛媛
佐々木 靖愛媛
北島 君三宮崎
奇二 健治大阪

鹿兒島高等農林學校
愛媛縣新居郡
仕友別子鑛業所設計部
死亡
シシカガール大會組
誇誤團
死亡

一四八
矢崎 正保山梨
松隈 六郎福岡
酒匂 景紀宮崎
北住福太郎東京
尙 長四郎鹿兒島

△農學科第二回 二十六人
大正二年七月十一日卒業

自營
自營
自營
姫路市立商業學校
東京帝國大學農學部
水産學科教室
朝鮮東洋拓殖會社
元山出張所
臺灣臺中帝國製糖株式會社
宮崎縣北諸郡立農學校

大里 一太郎埼玉
沖本 玉三廣島
(河村)
田口 正敬兵庫
神谷 俊一靜岡
田中 菊藏鳥取
中森 仁吉三重
梅村 定二郎愛知
野崎 正雄鹿兒島

東京丸ノ内
東亞煙草株式會社
南洋三五公司
臺灣鈴木商店臺灣支店
南洋南亞公司
研學中
ササ糖礦株式會社
臺灣東洋製糖株式會社
死亡

沖 信 夫鹿兒島
川上 寅二鹿兒島
川崎 二三鹿兒島
多 田 茂靜岡
辻本 孫三郎三重
村田 久次埼玉
野崎 巖鹿兒島
倉内 末賢鹿兒島

熊本縣廳
在米國
自營
ラサ糖礦株式會社

藤田 通敏山口
遠藤 幸四郎宮城
坂本 友二長崎
北爪 茂雄群馬
搦出 昇愛媛

富山縣立農事試驗場
沖繩縣立農學校
自營

江原 憲助埼玉
齋藤 武一郎德島
座間 味(宗徳)沖繩
三浦 多喜三郎長崎
(平島)
玉置 善三郎三重

△農學科第三回 二十九人
大正三年七月十一日卒業

東京東洋拓殖會社
鹿兒島縣日置郡役所
鹿兒島縣廳
鹿兒島郡役所
自營
死亡
長崎縣立農學校
死亡

入倉 正俊香川
原田 清二鹿兒島
堀ノ口市藏鹿兒島
小畑 菊千代鹿兒島
片倉 久吉宮城
田中 彌達長崎
内 藤 喬島根
上田 勸造福岡

宮崎縣立高鍋農學校
沖繩縣廳
福岡縣立福岡農學校
在米國
泰野專賣支局試驗場
死亡
自營
橫濱市日清製粉株式會社研究所

稻田 土松宮崎
新里 利恒沖繩
大野 昌次郎福岡
緒方 萬次郎福岡
田中 久次郎神奈川
田口 高照鹿兒島
中山 茂生福岡
植月 虎男岡山

大阪アルカリ株式會社 宇都宮秀雄 愛媛
 鹿兒島縣薩摩郡豐業學校 (工藤) 宇治野實記 大分
 在米國 藤井長德 鹿兒島
 山梨縣農事試驗場 藤本義三 栃木
 近藤次郎彦 高知
 死亡 足立彌八 埼玉
 東京市日本橋區 樋口元雄 福岡
 日本絹織紡織株式會社

△農學科第四回 二十六人

大正四年七月十一日卒業

福岡縣立農事試驗場 一富虎之助 福岡
 南洋ホナヘ島民政廳 遠山次男 熊本
 臺灣桃園鈴木製糖所 小野卯一 鹿兒島
 大阪府前大日本染料製造株式會社 鎌田清重 愛媛
 山口縣立農業學校 竹島清哉 高知
 死亡 長澤勝次郎 群馬

岡山縣兒島郡大日本人造肥料株式會社岡山工場
 沖繩縣農事試驗場
 死亡 滿洲旅順關東都督府臨時土地調查部
 在米國 南洋三五公司

久保要助 長崎
 松永高元 鹿兒島
 藤田秀臣 鹿兒島
 幸福三樹夫 鹿兒島
 赤瀬川德森 鹿兒島
 結城文雄 三重

臺灣東洋製糖株式會社 北港製糖所
 鹿兒島縣立第二鹿兒島中學校
 栃木縣立農事試驗場
 臺灣總督府殖產局臺中大葉庄苗養成所
 臺灣臺中帝國製糖株式會社
 朝鮮鐵城公立農業學校

濱田民平 鹿兒島
 大須賀胤一 兵庫
 鴛海文彦 大分
 田中正綱 廣島
 中央常四郎 鹿兒島
 歌野吉甫 長崎

神奈川縣農事試驗場

自營

臺灣總督府殖產局糖務課

東京四ヶ原農事試驗場

臺灣桃園廳中漚街鈴木商店農場

自營

臺灣臺北中央研究所

△農學科第五回 三十三人

大正五年四月一日卒業

池田憲 鹿兒島
 西盛造 鹿兒島
 大村繁 鹿兒島
 渡部親次 島根
 吉田末彦 熊本
 吉國操 鹿兒島

(上野) 杉本重雄 福岡
 山本忠一 福岡

藤田吉左衛門 石川
 兒王靜記 鹿兒島
 小松重哉 山形
 (佐藤) 加藤信一 德島

樋口三雄 東京
 在米國

靜岡縣農事試驗場
 臺北研究所
 鹿兒島化學研究所
 南洋トラツク島軍政廳サイパン民政署
 鹿兒島縣立大島中學校
 兵庫縣廳
 在米國

鎌塚喜久治 長崎
 (松尾) 藤瀬四郎 長崎
 福谷君貞 鳥取
 河野丑之助 鹿兒島
 榎屋兼武 鹿兒島
 下宿口重雄 鹿兒島
 森平吉 大分

佐賀縣廳
 鹿兒島縣伊佐郡立農林學校
 南滿洲鐵道會社
 在米國
 東京府下大日本麥酒株式會社日黑工場
 靜岡縣立農事試驗場

家村守一 鹿兒島
 中馬成介 鹿兒島
 大迫元光 鹿兒島
 吉川正雄 宮崎
 吉永壽夫 福岡
 田原壽一 兵庫

德島縣農事試驗場
東京帝國大學理學部附屬
植物園內藥用植物試驗室
臺灣中帝國製糖株式
會社

自營
熊本縣立農事試驗場
岡山縣倉敷大原獎農會

鹿兒島縣立農事試驗場
宮崎縣南那珂郡農會

死亡
朝鮮京城東洋拓殖株式
會社

朝鮮京城東洋拓殖株式
會社

△農學科第六回 二十四人
大正六年三月六十日卒業

神奈川縣足柄上郡役所
奉天南滿洲製糖株式會
社農務本部

臺灣宜蘭廳農會

臺灣中帝國製糖會社

自營
臺灣嘉義南靖庄東洋製糖
株式會社

宮崎縣立宮崎農學校
在米國

德島縣板野郡立農學學校
熊本縣廳

自營
愛媛縣宇摩郡役所

福井縣武生町北陸電化
株式會社

東京府青樓農學校

波越康平高知

中野健夫鹿兒島

倉田義晴熊本

松元惣太郎鹿兒島

國生義夫鹿兒島

秋月種苞宮崎

笹田祐次郎德島

城正人熊本

森榮一愛媛

杉山一枝山口

鹿兒島高等農林學校

福岡縣廳

德島縣名西農學學校

自營

福岡縣鞍手郡立農學校

朝鮮全羅北道金州種苗所

朝鮮慶尙北道迎日郡浦項
ミツノ農場

南洋ホル子オ野村農園

臺灣大目降殖產局附屬
糖業試驗場

臺灣花蓮港鹽水港製糖
工場

西田孝太郎福岡

織田富士夫福岡
(田橋)

山口荒一德島

田島義太郎三重

中谷欣三大阪

中村不二雄福岡

有馬高雄鹿兒島

湯原重之助島根

平山常吉長崎

鈴木重良宮崎

宮崎縣立宮崎農學校

死亡

鹿兒島高等農林學校

山口縣立農業學校

沖繩縣立農學校

岡山縣農會

臺灣總督府殖產局

東京市代々木明治神宮
造營局工務所林苑課

兵庫縣城崎郡役所

臺灣嘉義新營庄鹽水港
製糖株式會社

太田千代二宮崎

小田原森秀鹿兒島

田尻矩次郎福岡

堤澤身佐賀

中野儀正鹿兒島

小松義正岡山

安藤泰夫東京

水谷駿一東京

森垣武夫兵庫

慶邦美鹿兒島

△農學科第七回 三十一人
大正七年三月十六日卒業

臺灣花蓮港鹽水港製糖
工場

南洋ホル子オ野村農園

臺灣大目降殖產局附屬
糖業試驗場

臺灣桃園廳安平鎮茶樹
栽培試驗場

東京淺草專賣支局

佐賀市深川土地株式會社

石黒清鹿兒島

花田延平福岡

橋口兼英鹿兒島

馬場土田熊本

林壽雄鳥取

吉開森吉福岡

香川縣綾歌郡役所	葉原慶三郎 香川	鹿兒島化學研究所	高橋一磨 愛媛
臺灣總督府研究所	平友恒 鹿兒島	巖手縣立蠶業農校	岡崎靜雄 廣島
愛媛縣立農事試驗場	米倉茂俊 福岡	臺灣總督府研究所	吉川保治 東京
米國キエバ島	田中秀男 鹿兒島	愛知縣立農蠶學校	中里巴真次 長野
埼玉縣警察部	(永井) 竹之下實治 鹿兒島	朝鮮總督府內務部	野口與市 福岡
南洋ポリテテ護謨園	窪田一夫 岡山	自營	古和文男 島根
朝鮮江原道春川公立農業學校	小矢野忠雄 鳥取	鹿兒島縣立鹿屋農學校	有馬三郎 鹿兒島
大阪アルカキ會社	北原豊熊 鹿兒島	自營	清島繁人 熊本
自營	木村好吉 山形	橫濱植物檢査所	木村季雄 三重
愛媛縣立松山農業學校	(芝) 三好吉重 愛媛	東京四ヶ原農事試驗場	下宿口秀雄 鹿兒島
臺灣製糖帝國製糖株式會社	日野嘉助 愛媛		盛岡雅夫 廣島
鹿兒島化學研究所	森田隆一 福岡		瀬口敏磨 宮崎

大正七年五月六日卒業

一年志願兵

△農學科第八回 三十二人

山田 校長崎

大正八年三月十五日卒業

第一部

鹿兒島高等農林學校	伊藤耕太郎 福岡	池田覺雄 山口
臺灣臺中大南庄苗圃育成所	石田巖長 崎	飯田剛熊 本
一年志願兵	垣田捷福 岡	吉鹿榮 福岡
朝鮮京城殖産銀行	田口清太郎 福岡	竹内虎太 山口
一年志願兵	坪内作之丞 鹿兒島	内藤克俊 廣島
北海道札幌拓殖銀行	中間榮吉 鹿兒島	(那田) 田口實滋 買
臺灣臺南廳後里庄高地蔗苗育成所	前田進 鹿兒島	佐竹進 熊本
鹿兒島高等農林學校	光保正信 廣島	北御門德雄 長崎
自營	柴戶德三郎 福岡	三澤正武 廣島
東京市外日本人造肥料株式會社	板井盛衛 大分	林茂樹 鹿兒島
大阪府廳	落合彦二 鹿兒島	川口清志 鹿兒島
一年志願兵	仲田義憲 鹿兒島	小林明茨 城

第二部

大阪府廳前大日本染料製造株式會社
一年志願兵

臺灣臺南臺灣製糖株式會社
後壁林農場

臺灣總督府研究所

古賀藤次郎 佐賀

一年志願兵

一五六
駒方正治 鹿兒島

第三部

鹿兒島縣立農事試驗場

飯島祐次郎 栃木

米國研學

田中教義 和歌山

鹿兒島縣立農事試驗場

原田文吾 福岡
屋代弘孝 栃木
森川良雄 群馬

島根縣立農林學校

平松芳市 愛媛

△農學科第九回 三十五人

大正九年三月十四日卒業

第一部

佐賀縣立農學校

今井孝熊 本

滿洲奉天製糖會社

石神堅 鹿兒島

臺灣製糖株式會社

東郷不二男 鹿兒島

小島謹 千葉

岡村孝一 新潟

臺灣臺南農會山坎脚在育

鎌田豐水 鹿兒島

臺灣總督府

横山壯介 鹿兒島

福岡縣嘉穂郡立農學校

石井三十郎 佐賀

東京四ヶ原農事試驗場

林種義 福岡

北海道拓殖銀行

富江榮廣 鹿兒島

東京大林區署

岡武夫 福岡

滿洲奉天製糖會社

渡邊春三 福岡

宮崎縣東諸郡立農學校

柏木克邪 鹿兒島

吉田義衛 宮崎

一年志願兵

高田新作 岡山

中谷秀俊 鹿兒島

上原盛造 鹿兒島

馬原忠毅 熊本

郷英之助 岐阜

佐村滿 山口

南洋サイパン島

園田實美 鹿兒島

川邊幹一 福岡

田中房一 佐賀

桑原忠八 福岡

溝口強 佐賀

鹿兒島縣立鹿屋農學校

吉永教一 佐賀

臺灣肥料株式會社

筒井諒庸 三重

東京市外大島町ラサ島

福島丈夫 兵庫

東京四ヶ原農事試驗場

清水隆一 福岡

△林學科第一回 二十一人

明治四十五年七月十一日卒業

大分縣中津小林區署

井上止熊 本

岡山縣勝田農林學校

濱田三四郎 鳥取

農商務省山林局

橋口職 鹿兒島

東京麴町區高田商會

徳田忠一 鹿兒島

鹿兒島縣掛倉郡役所

大村 清 一 岡山

岐阜縣船津小林區署

小野 隆 義 鹿兒島

臺灣總督府

川崎 末五郎 京都

宮崎縣小林小林區署

高木 祐 吉 鹿兒島

鹿兒島縣屋久島小林區署

玉 利 長 助 鹿兒島

東京麹町區古川合名會社

塚田 庫 三 群馬

農商務省山林局

波多 野源 治 山口

朝鮮總督府山林課

西口 龜 作 熊本

自營

桑山 正 治 宮崎

朝鮮平安北道厚昌郡木昌製紙會社

工 藤 亮 兵庫

滋賀縣廳

松 尾 榮 佐 賀

鹿兒島大林區署

赤松 眞 志 雄 鹿兒島

大阪大林區署

荒木 淵 平 愛媛

臺灣新竹廳

齊 藤 忠 雄 熊本

死亡

坂本 慶 治 兵庫

臺灣嘉義廳

志 垣 則 繼 熊本

大分縣白杵小林區署

白石 英 夫 福岡

臺灣嘉義廳

志 垣 則 繼 熊本

△林學科第二回 二十六人

大正二年七月十一日卒業

香川縣立農林學校

今 雪 眞 一 香川

福島縣米島郡役所

原 田 淳 二 佐 賀

大分縣森小林區署

丹 羽 岩 槌 廣 島

北海道苫小牧王子製紙工場

豐 平 金 助 鹿兒島

高知縣立農林學校

岡 積 眞 人 鹿兒島

富山縣廳

大 上 兵 作 富 山

自營

奧野 正 平 宮崎

自營

的 場 寅 男 熊本

山梨縣廳

大 西 福 作 大 分

臺灣製糖株式會社

東 原 定 吉 栃 木

福岡縣立田川農林學校

長 井 利 晴 鹿兒島

臺灣製糖株式會社花蓮港出張所

中 間 榮 二 鹿兒島

宮崎縣福島小林區署

野間 口 兼 義 鹿兒島

高知市外旭村民業經營

楠 瀬 速 雄 高 知

臺灣製糖株式會社

松 尾 武 吉 山 口

東京大林區署

松 田 重 三 郎 三 重

大分縣立日田農林學校

相 澤 武 雄 新 瀧

鹿兒島大林區署

益 山 兼 一 鹿兒島

滿洲吉林省城內富寧造紙有限公司

高 良 齋 鹿兒島

南洋群島組△團

照 屋 全 昌 沖 繩

沖繩縣立農學校

有 村 季 廣 鹿兒島

臺灣製糖株式會社花蓮港出張所

青 木 敏 之 助 福 岡

死亡

木下 伴 一 郎 三 重

長崎縣廳

肝 村 榮 介 鹿兒島

鹿兒島大林區署

重 廣 二 鹿兒島

北海道小樽區北濱町三井物產小樽支店

森 田 登 美 男 埼 玉

△林學科第三回 二十九人

大正三年七月十一日卒業

三菱礦業株式會社宮崎縣妻出張所

伊 牟 田 經 雄 鹿兒島

熊本縣八代小林區署

池 田 繁 鹿兒島

死亡

原 田 一 郎 熊本

朝鮮慶尙南道廳

原 田 初 造 山 口

死亡

裕 洋 一 和 歌 山

朝鮮總督府山林課

岡 田 信 三 郎 廣 島

鹿兒島大林區署

奧 利 夫 鹿兒島

朝鮮總督府山林課

大 園 勉 鹿兒島

兵庫縣廳

朝鮮平安北道中江鐵局氣付
鴨綠江探木公司朝兒山分局

熊本縣人吉小林區署

東京宮内省帝室林野管理局

臺灣總督府林野整理局

兵庫縣山崎小林區署

北海道廳

東京大林區署

長野縣大町小林區署

鹿兒島縣大島々廳

農商務省山林局

福井縣廳

大草 公一 山口

川原 榮太郎 鹿兒島

竹内 則介 鹿兒島

山田 修平 新潟

山口 光弘 岐阜

山岸 亮 福井

丸野 友多郎 鹿兒島

木暮 平三郎 群馬

安藤 得美 大分

岸 勇馬 岡山

森 禎彦 鹿兒島

岩 下純夫 宮崎

馬場 憲 鹿兒島

鹿兒島大林區署

滿洲長春豐材公司
大倉組經營

熊本縣久米官行作業所

神戸市仲町川崎總本店

臺灣總督府營林局

大阪大林區署

高知大林區署

長野縣下伊那郡王子製紙
株式會社下栗伐木所

宮崎縣高鍋小林區署

一六〇

川原 清文 鹿兒島

勝田 秀雄 熊本

潮見 芳輔 岡山

山田 八代 岐阜

山口 一二 宮崎

山下 新二 鹿兒島

舟木 直四郎 京都

寺園 經吉 鹿兒島

菊池 正男 茨城

平山 敬三 鹿兒島

家永 時彦 長崎

長谷川 禮造 岐阜

△林學科第四回 二十四人

大正四年七月十一日卒業

南洋ホルチ島野村農園

南朝鮮鐵道株式會社

宮崎縣宮崎小林區署

秋田大林區署

鹿兒島縣山野小林區署

自營

シンガポール大倉組護謨園

鹿兒島縣廳

秋田縣廳

茨城縣多賀郡日立鐵山

新名 岩一 宮崎

落合 和平 鹿兒島

高橋 福次郎 新潟

長島 朝吉 埼玉

上野 重吉 熊本

山本 綠 熊本

福丸 正雄 宮崎

鯨坂 繁雄 鹿兒島

佐々木 靜次郎 巖手

重松 良英 福岡

市橋 清彦 鹿兒島

磯村 憲一 福岡

德永 幸次郎 宮崎

鹿兒島縣廳

死 亡

長崎縣長崎小林區署

鹿兒島縣鹿屋小林區署

自營

朝鮮全羅南道廳

高知縣長澤小林區署

南洋マリアナ群島サイパン
南洋殖産會社

廣島縣廳

熊本縣熊本小林區署

馬來半島スレニバン市
馬來護謨公司

南朝鮮鐵道株式會社

臺灣製糖株式會社花蓮港
里玉監理所詰所

帖佐 豐治 鹿兒島

奥田 憲之 熊本

曾原 銀二 宮崎

植田 重季 高知

野口 主衛門 鹿兒島

安田 清次郎 熊本

榎園 清藏 鹿兒島

荒木 銃郎 熊本

三浦 善一 宮崎

東 清之助 宮崎

市川 裕山口

高橋 久志 熊本

德光 宣之 大分

大分縣竹田町鶴崎製材所

熊本縣益城郡役所

北海道釧路町
矢富士製紙會社

△林學科第五回 二十四人

大正五年四月一日卒業

熊本縣廳

死 亡

長崎縣長崎小林區署

熊本縣廳	自營	熊本縣廳	長崎縣廳	鹿兒島縣立鹿屋農學校	香川縣廳	鹿兒島縣內ノ浦小林區署	靜岡縣田方郡帝國林野管理局天城出張所	愛媛縣廳	京都府京都小林區署	大分縣日田小林區署	大阪縣廳	島根縣日原小林區署	高知大林區署	大阪大林區署	宮崎縣加久藤小林區署	福島縣平小林區署	島根縣川木小林區署	滿洲安東縣鴨綠江製材有限公司	滿洲奉天三井木廠	熊本大林區署	朝鮮總督府山林課	宮內省帝室林野管理局	鹿兒島大林區署	研學中	南朝鮮鐵道株式會社	死亡	朝鮮忠清北道廳	宮崎縣綾村小林區署	鹿兒島高等農林學校	千葉縣廳	北海道廳	熊本縣立阿蘇農業學校	福岡縣福岡小林區署	宮崎縣廳	東洋木材防腐株式會社	大阪工場	宮崎縣廳	金光義雄 鹿兒島	吉永七右衛門 滋賀	竹下 巖 鹿兒島	中島義夫 佐賀	野口盛夫 福岡	山下經晴 高知	松下善吉 島根	古莊 孜 熊本	日高松樹 鹿兒島	年見秀親 宮崎	四本堯治 鹿兒島	吉田浩夫 長崎	彌野重遠 宮崎	永松守雄 大分	野溝六朗 大分	山崎泰義 鹿兒島	(松井) 南 時 次 熊本	小向井榮吉 鹿兒島	寺師貞美 鹿兒島	佐藤賢策 靜岡
------	----	------	------	------------	------	-------------	--------------------	------	-----------	-----------	------	-----------	--------	--------	------------	----------	-----------	----------------	----------	--------	----------	------------	---------	-----	-----------	----	---------	-----------	-----------	------	------	------------	-----------	------	------------	------	------	----------	-----------	----------	---------	---------	---------	---------	---------	----------	---------	----------	---------	---------	---------	---------	----------	---------------	-----------	----------	---------

△林學科第六回 二十三人

大正六年三月十六日卒業

京都帝國大學	大阪大林區署	福岡縣立田川農學校	朝鮮京畿道楊州郡山林課楊州出張所	研學中	朝鮮黃海道廳	朝鮮總督府山林課	廣島縣三次小林區署	永井照雄 廣島	上野實意 鹿兒島	草場直次 福岡	八木千代三 鹿兒島	松川 榮 熊本	江頭虎雄 佐賀	最勝寺速治 鹿兒島	水口通文 愛媛	高知大林區署	大阪大林區署	宮崎縣加久藤小林區署	福島縣平小林區署	島根縣川木小林區署	滿洲安東縣鴨綠江製材有限公司	滿洲奉天三井木廠	熊本大林區署	朝鮮總督府山林課	宮內省帝室林野管理局	鹿兒島大林區署	研學中	永松守雄 大分	野溝六朗 大分	山崎泰義 鹿兒島	(松井) 南 時 次 熊本	小向井榮吉 鹿兒島	寺師貞美 鹿兒島	佐藤賢策 靜岡
--------	--------	-----------	------------------	-----	--------	----------	-----------	---------	----------	---------	-----------	---------	---------	-----------	---------	--------	--------	------------	----------	-----------	----------------	----------	--------	----------	------------	---------	-----	---------	---------	----------	---------------	-----------	----------	---------

△林學科第七回 二十三人

大正七年三月十六日卒業

愛媛縣廳	朝鮮忠清南道安眠島山林課出張所	愛知縣廳	鹿兒島縣廳	香川縣高松小林區署	岩城眞彦 鹿兒島	岩元國雄 鹿兒島	加藤俊治 愛知	田中平次 鹿兒島	(上田) 伊丹勝二 大分	熊本大林區署	朝鮮總督府山林課	宮內省帝室林野管理局	鹿兒島大林區署	研學中	岩下 峻 鹿兒島	早瀬利康 福岡	谷村暉男 鹿兒島	村尾重德 鹿兒島	野木 勇 京都
------	-----------------	------	-------	-----------	----------	----------	---------	----------	--------------	--------	----------	------------	---------	-----	----------	---------	----------	----------	---------

南洋南興△會社 能美 猛山口 農務省山林局 山上正義 鹿兒島
 大分縣竹田小林區署 山下兼政 鹿兒島 鹿兒島縣廳 山本貞藏 鹿兒島
 和歌山縣吉野郡上市北村 石(古川)川 臺奈真 石川縣大聖寺小林區署 古田好生 岐阜
 林業聖和歌山製材所 河野光 雄宮崎 青森大林區署 兒玉均一 鹿兒島
 南洋ホル子島野村農園 西郷廣 恭 鹿兒島 南米 北里達道 熊本
 東洋木材防備株式會社 大阪工場 宮原秀二 鹿兒島 朝鮮江原道廳 瀬戸山綱政 宮崎
 鹿兒島縣熊毛郡深川林業事務所 關 嘉三二 鹿兒島

△林學科第八回 二十五人

大正八年三月十五日卒業

一年志願兵 伊集院兼好 鹿兒島 山形縣舟形小林區署 五十川 哲福 井
 朝鮮總督府山林課江原道 井上 朴 鹿兒島 臺灣總督府營林局 壹岐 高見 鹿兒島
 江陵出張所 鳥井義忠 熊本 高知大林區署 大古殿利盛 鹿兒島
 高知縣馬路小林區署 大西偉太郎 福岡 靜岡縣安部郡東草紙科株式會社 井川 正藏 鹿兒島
 秋田大林區署 甲斐田 巽 福岡 會社井川山林事務所 川崎 正藏 鹿兒島
 一年志願兵 竹之内 胖 鹿兒島 研學中 中島 清二 鹿兒島
 安東縣滿鮮坑木株式會社

鹿兒島縣廳

中村 金三 鹿兒島

死亡

登 龍之助 鹿兒島

帝室林野管理局

家 高甚一 長野

鹿兒島大林區署

丸山 政彰 鹿兒島

長野縣西筑摩郡出張所

益滿 政一郎 鹿兒島

朝鮮忠清南道廳

古江 靜哉 鹿兒島

長崎縣立農學校

寺尾 正恭 愛媛

福島縣福島小林區署

佐多 一至 鹿兒島

研學中

三輪 爲一 山口

死亡

水原文太郎 香川

鹿兒島縣山野小林區署

城 武重 宮崎

福岡縣廳

進 定平 福岡

一年志願兵

森 泰福 岡

△林學科第九回

大正九年三月十四日卒業

二十五人

青森大林區署 伊東 明宮崎 青森大林區署 伊地知純義 鹿兒島
 朝鮮平安北道江界郡 馬場 兼俊 鹿兒島 熊本大林區署 服部 謙吉 宮崎
 高山鎮營林廠出張所 丹羽 治郎 愛知 研學中 大岩 一枝 東京
 青森大林區署 田淵 傳藏 鹿兒島 臺灣總督府殖產局 中村 武英 東京
 臺灣總督府營林局 中村 吉藏 鹿兒島 朝鮮新義州營林廠 中野 喜作 愛知
 臺灣嘉義廳阿里山出張所 成 富 篤佐 賀 鹿兒島大林區署 村山 申 鹿兒島
 鹿兒島大林區署 臺灣製糖株式會社

東京大林區署
臺灣製腦株式會社
朝鮮新義州營林廠
北海道小樽區三井物產支店
研學中
長崎縣廳
鹿兒島大林區署

△選科修了者

農學科

明治四十五年七月十一日修了

死亡

大正二年七月十一日修了
中華民國 念良 謨 浙江省
中華民國 陶嗣 侃 四川省
中華民國 于 鑛 四川省

和歌山縣立農林學校
北海道小樽區三井物產支店
東京深川區鐵道省
經理局木材防腐工場
熊本縣多良木小林區署
熊本大林區署
臺灣製腦株式會社

植村良次 滋賀
松元淳三 鹿兒島
寺田忠夫 鹿兒島
木原邦雄 鹿兒島
久恒真大分
鈴木一宮崎

中華民國浙江杭州城外
笕橋省立農學校
劉子 民 湖南省

大正四年七月十一日修了

朝鮮開城郡松都高等普通
學校 元洪九 朝鮮平
安北道

大正五年四月一日修了

梅宗時 中華民國
廣東省

大正六年三月十六日修了

中華民國雲南省立
甲種農業學校 曹觀斗 中華民國
雲南省

大正七年三月十六日修了

死亡 張子仁 中華民國
雲南省

大正八年三月十五日修了

中華民國江蘇省南昌農業
專門學校 董瑞 中華民國
浙江省

大正九年三月十四日修了

何先恩 中華民國
四川省

陳方濟 中華民國
浙江省

林學科

明治四十五年七月十一日修了

自營 吉田清吾 鹿兒島

中華民國廣東省新寧筋杭
堡華氏光大高等小學校 葉孟寅 中華民國
廣東省

中華民國江蘇省清江浦
第三農業學校 包容 中華民國
浙江省

中華民國天津農林試驗場

姚 懋

敏 中華民國直隸省

大正二年七月十一日修了

區

銓 中華民國廣東省

大正三年七月十一日修了

張 福

達 中華民國廣東省

大正四年七月十一日修了

會 濟

寬 中華民國四川省

魏 宗

邁 中華民國山東省

大正七年三月十六日修了

溫

良 中華民國四川省

中華民國四川省農林學堂

徐

葦 中華民國四川省

羅

門 中華民國廣東省

揚

輔 中華民國四川省

清

附 錄

○鹿兒島高等農林學校校友會規則

第一條 本會ハ鹿兒島高等學校校友會ト稱ス

第二條 本會ノ目的ハ會員ノ親睦ヲ厚クシ心身ノ修養ヲ圖リ以テ本校ノ校風ヲ發揚スルニアリ

第三條 本會會員ヲ別チテ左ノ四種トス

一、通常會員 本校在學生

一、特別會員 本校卒業生

一、贊助會員 本校職員及縁故アルモノ

一、名譽會員 會長ノ推舉ニヨルモノ

第四條 本會ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ諸部ヲ置ク

一、集會部 一、講演部

一、研究部 一、編輯部

一、武術部 一、ボール部

一、角力部

本會ニ消費組合ヲ設ク組合ノ定款及其ノ規則ハ別ニ之ヲ定ム

第五條 各部ハ必要ニ應シテ細則ヲ定ムルモノトス

各部ノ細則ハ會長ノ認可ヲ受クルモノトス

第六條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一名 本校校長ヲ推舉ス

副會長 一名 教授ノ中ヨリ會長之ヲ委囑ス

部長 七名 在校贊助會員中ヨリ會長之ヲ委囑ス

副部長 若干名 各部ニ於テ必要ト認ムルトキハ會長之ヲ委囑ス

理事 二名 本校書記中ヨリ會長之ヲ委囑ス

幹事 若干名 各部ニ於テ委員中ヨリ之ヲ互選シ内二名ヲ主任トス

委員 若干名 通常會員ヨリ之ヲ選舉ス

級總代 六名 各學級ニ於テ各一名ヲ選舉ス

第七條 本會役員ノ任務ハ左ノ如ク定ム

會長 一切ノ會務ヲ總理ス

副會長 會長ヲ補佐シ時宜ニヨリ會長ヲ代理ス

部長 部務ヲ掌理ス

副部長 部長ヲ補佐シ部長事故アルキハ之ヲ代理ス

理事 本會ノ會計及庶務ニ關スル事務ヲ分掌ス

主任幹事 副會長ヲ補佐シテ會計及庶務ニ關スル事務ヲ掌理ス

幹事 部長或ハ副部長ヲ補佐シテ部務ヲ掌ル

委員 部長ノ指揮ヲ受ケ其部ノ事務ヲ處理ス

級總代 學生生徒ヲ代表シテ評議ニ參與ス及ヒ事務ヲ補佐ス

第八條 委員ハ二部以上ヲ兼スルコトヲ得ス

第九條 委員及級總代ノ任期ハ一ケ年トシ委員ハ十一月級總代ハ四月之ヲ改選スルモノトス

第十條 總會ハ役員全部及左ノ代議員ヲ以テ組織シ副會長之ヲ司ル

一、通常會員中ヨリ三十名(各級ヨリ五名ヅ、選出)

一、贊助會員中ヨリ五名

一、必要アルトキハ特別會員中ヨリ若干名

會員ハ總會ニ出席シテ意見ヲ述ブルコトヲ得

第十一條 總會ハ毎年一月之ヲ開ク但シ副會長カ必要ト認メタルトキハ臨時ニ之ヲ開クコトアル

會員ハ相當ノ賛成者ヲ得テ臨時總會ノ召集ヲ請求スルコトヲ得

第十二條 決議ノ事項ハ會長ノ認可ヲ經テ効力ヲ生ズルモノトス

第十三條 會長ノ認可ヲ經タル決議事項ハ便宜之ヲ報告シ且ツ本會雜誌ニ掲載スルモノトス

第十四條 副會長部長副部长及幹事ヲ以テ協議會ヲ組織シ事務ノ打合ヲナス

協議會ハ隨時ニ之ヲ開キ副會長之ヲ掌ル本會役員ハ協議會ニ出席シテ意見ヲ述ブルコトヲ得

第十五條 總會ハ役員及ビ代議員總數ノ三分ノ二以上出席スルニアラサレハ之ヲ開クコトヲ得ス

第十六條 總會ノ議決ハ出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ定ム

若シ賛否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第十七條 本會ノ經費ハ會費其他ノ收入ヲ以テ之ヲ支辨ス

第十八條 通常會員ノ會費ハ一ケ年金四圓五拾錢トシ壹圓五拾錢宛授業料ト同時ニ納ムヘキモノトス

新ニ入會セル普通會員ハ入會金トシテ金壹圓ヲ納ムルモノトス

在校贊助會員ハ毎月月俸百分ノ一ヲ出金スルモノトス

第十九條 通常會員ノ會費ノ内三分ノ一ニ相當スル金額一人一ケ年金壹圓五拾錢ヲ特別資金トシテ

毎年整理シ置キ其中ヨリ特別會員ニ對スル校友會報配送其ノ他ノ費用ヲ普通收支豫算ニ編入シテ支出スルモノトス

第二十條 本會ノ會計年度ハ毎年一月ニ始リ十二月ニ終ル

第二十一條 本會ノ豫算ハ各部ヨリ提出セル概算書ニ基キテ主任幹事之ヲ調製シ協議會及會長ノ審

査ヲ經テ總會ニ於テ之ヲ決ス

各部ノ概算書ハ其部ノ委員之ヲ調製シ毎年十二月中ニ之ヲ提出スルモノトス

第二十二條 入會金ハ其ノ二分ノ一ヲ基本金トシ貯蓄シ其ノ二分ノ一ヲ特別積立金ニ編入スルモノトス

トス

第二十三條 毎年度ノ收支計算ハ總會ノ決議ヲ經テ本會雜誌ニ掲載スルモノトス

第二十四條 總テ收入金ハ之ヲ確實ナル銀行ニ預ケ置クモノトス

第二十五條 本則ヲ變更セントスルトキハ總會ノ決議ヲ經テ會長ノ認可ヲ經ルヲ要ス

大正十年二月十日印刷
大正十年二月十五日發行

鹿兒島高等農林學校

印刷人 佐々木伊四郎
鹿兒島市金生町三十七番地

印刷所 佐々木龍勢堂
鹿兒島市金生町三十七番地

291
30